Office・事務局（問い合せ先）

Section　部門		E-Mail	Tel
General Affairs	総務課	sgs-soumu@gr.tama.ac.jp	0466-82-4141
Academic Affairs	教務課	sgs-kyomu@gr.tama.ac.jp	0466-21-7738
Student Affairs	学生課	shonan-gakusei@gr.tama.ac.jp	0466-21-7722
	保健室		0466-21-7720
Library Services	図書館	sgs-lib@gr.tama.ac.jp	0466-83-7929
Media Services	教務課メディアサービス	sgs-mss@gr.tama.ac.jp	0466-83-7931
Business Promotion Office	事業推進室	sgs-pro@gr.tama.ac.jp	0466-82-3331
Career Services	キャリア支援課	placement-sgs@gr.tama.ac.jp	0466-83-7937
Center for International Relations	国際交流センター事務課	international@gr.tama.ac.jp	0466-21-7731
Admissions	入試課	nyushi-shonan@gr.tama.ac.jp	0466-83-7911

TAMA UNIVERSITY
多摩大学

TAMA UNIVERSITY　https://www.tama.ac.jp
2023 年 4 月 1 日発行　多摩大学湘南キャンパス事務局
〒 252-0805　神奈川県藤沢市円行 802 番地
TEL：0466-82-4141（代）

2023-2024 Student Handbook

TAMA UNIVERSITY　School of Global Studies

2023-2024
Student Handbook

TAMA UNIVERSITY
School of Global Studies

2023-2024　学生ハンドブック

湘南キャンパス正面

学部長あいさつ

1. 挨拶

グローバルスタディーズ学部（以下：「SGS（School of Global Studies）」）へようこそ。皆さんの将来はここが出発点です。SGSは平成19（2007）年4月に創設されました。本年3月に13期生が卒業し、17年目を迎えます。

多摩大学は1989年創立の大学です。平成という年号と共にスタートした多摩大学の建学の理念は、国際性・学際性・実際性の3つでした。SGSもその精神のもと、学際性・実際性を尊重しつつ、国際的に活躍する人材を育てるために設立されました。

SGSのミッション（使命・存在理由）は、
『グローバルな視野を持ち、様々な問題について自らの頭で考え、解決する人材を育てる』
というものです。

皆さんを待つ社会にはグローバルな問題を解決できる人材を育て提供し、学生の皆さんにはグローバルな舞台で活躍してもらうために支援します、という意味です。

今では、地域的な問題であっても一晩で国際問題にまで発展することは多々あります。インターネット、スマートホン、テクノロジーの急速な発展によって、問題が起こっている地域に行かずともそれについて聞き、見る、知ることができます。その逆に、外で起こっていることによって私たちも影響されます。SGSで学んだ皆さんは、外へ出て、色々なことに挑戦し、そうした壁を乗り越え、世の中に貢献するよう期待しております。SGS教職員は、学生の皆さんのため全力を尽くします。

2. SGSのキャンパスライフを楽しむには

4年間のキャンパスライフを楽しむために、まずは体調管理を心掛け、とりわけ4－5月のゴールデンウィーク以降から7月末までは注意しましょう。

信頼できる友人を多く作ることによって、キャンパスライフはさらに充実することでしょう。そのためには、常に明るく大きな声で挨拶をすること。笑顔を絶やさないようにすることも心掛け、助け合いの精神を忘れずに、他者との関わりから自信を付け、イベントに参加し、前向きになりましょう。4年間のキャンパスライフを、人生で最も楽しい4年間にしてください。

最後に、皆さんマナーを守りましょう。駐車場、教室内や廊下では静かに。キャンパス外でも近所迷惑になりそうなことは止めましょう。

3. SGSにおける学習

（1）英語によるコミュニケーション力の向上

まず、英語によるコミュニケーション力の向上がSGSでの第一歩です。初級レベルの英語科目から、既に培った英語力をさらに向上させる科目まであります。上達の鍵は落ち着いて、着実に取り組むことです。

(2) 世界への扉

SGSには、海外研修、短期・長期の留学を支援する Study Abroad、海外でのインターンシップを支援する Internship Abroad という制度があります。こうした制度を活用し、是非海外で学ぶ経験を作ってください。また留学生との交流、湘南地域での国際親善行事への参加等を通して、国際交流を深めてください。

(3)キャリア教育、特別専修プログラム

多摩大学は実学、即ち、実際の社会に役立つ学問を学んでもらうことを大切にしています。

SGSのキャリア形成論、インターンシップ等はキャリア教育として大きな評価を得ています。また昨年度、特定の職種への就職に向けた Career Honors Program (特別専修プログラム)という履修プログラムも新設されました。

(4) ゼミナール制度

2014年より3年～4年生主体のゼミナール制度が導入されました。これはゼミ担当教員の専門分野の知識の指導を受け、社会の仕組みを修得しながら成長するシステムです。また連絡事項の伝達、きめ細かな指導、就職に関するアドバイスなど様々なメリットがあります。

(5) 地域への貢献

グローバルスタディーズの基本は世界を知ることですが、地元を知ることも重要です。SGSは学生がグローバルな視野を持ちつつ地元地域にも貢献する、「グローカル」(グローバル＋ローカル)な人材となるよう支援します。藤沢市はじめ湘南地域の各方面と連携した活動にも積極的に参加してください。

(6) 課外活動

4年間の大学生活を満喫するためには、課外活動を積極的に取りいれてください。サークル活動、地域貢献活動、ボランティア活動、学園祭運営など、学生時代にしかできない活動です。こうした課外活動で仲良くなった先輩、そして後輩などは後に一生の友人になることもあり、人の輪を大切にし、仲間を作るスキルは将来必ず役立ちます。また、参加したいサークルがないようでしたら、友人を誘い合い、是非ともサークルを作ってください。これが手作り大学・学部の良さです。

SGSはまだ若い学部ですので、皆さんがSGSを築くことになります。この学部の歴史をより強固なものにするため、一役買ってくださることを期待しております。アクティブに、チャレンジ精神旺盛に、近い将来SGSに在籍したことに誇りを持てるようになることを願っております。

多摩大学
グローバルスタディーズ学部
学部長　新美　潤

目次

建学の精神・多摩大学の基本理念 1

第 I 部：大学の概要

SGS キャンパス 2

学年暦（2023-2024 Academic Calendar） 3

窓口業務時間・取扱い内容 7

第 II 部：教務について

1. 学士号授与の基本的な考え方及び教育課程編成・実施

ディプロマ・ポリシー 9

カリキュラム・ポリシー 10

2. 授業科目と単位制

（1）セメスター制 12

（2）授業科目 12

（3）単位制 12

3. カリキュラム

（1）令和４(２０２２)年度以降入学生 13

（2）令和３(２０２１)年度以前入学生 14

（3）履修登録単位の上限 15

（4）メジャー（コース）登録 15

4. 履修登録

（1）履修登録とは 15

（2）履修科目の決定 16

（3）登録方法 16

（4）履修登録上の注意 16

（5）履修登録・確認・削除の流れ 17

（6）履修についての相談 17

（7）学修支援室 18

（8）オフィスアワーとは 18

5. 授業

（1）授業時間 18

（2）授業におけるマナー 19

（3）授業の欠席について 19

（4）休講 22

6. 試験

（1）試験の種類 23

（2）学期末試験（定期試験） 24

（3）追試験 24

7. 不正行為

（1）不正行為についての処分 25

（2）不正行為に該当する行為の例 25

8. 成績

（1）成績評価 25

（2）GPA 26

（3）GPA の活用 27

（4）成績発表 27

（5）成績評価に関する問合せ 27

9. 卒業

（1）卒業 28

（2）卒業見込証明書の発行 28

（3）再試験 28

（4）早期卒業 29

10. TOEIC について

（1）学内での TOEIC IP テスト受験 31

（2）公開テスト 31

11. 転学部 32

12. 教職課程 32

カリキュラム 33-40

第 III 部：学生と SGS

1. 学生サービス（学生生活の安定のための支援及び学生生活全般に関する学生の意見・要望の受付）

（1）学生証 41

（2）情報の伝達・連絡等 42

（3）各種証明書の発行 43

（4）各種願書（届出） 44

（5）通学のルール 45

（6）通学定期券と学割証（学生旅客運賃割引証） 46

（7）大学施設の利用 47

（8）奨学金・学費減免制度 48

（9）その他のサービス 51

（10）課外活動 51

（11）個人情報の取扱いについて 52

（12）障害のある学生への支援 53

（13）ピアサポート 53

（14）Suggestion Box 53

（15）多摩大学ハラスメント防止の目的 54

（16）学生生活上での心得 56

2. 保健室
（1）保健室の業務 60
（2）健康保険証について 61
（3）学校医について 61
（4）学生相談室 62
（5）学生保険について 62
（6）AED（自動体外式除細動器）の設置について 63
3. SGS ライブラリー(アクティブ・ラーニングセンター図書館)
（1）場所 64
（2）蔵書・資料 64
（3）開館時間と休館日 64
（4）入退館について 64
（5）図書館サービス 65
（6）MyLibrary について 67
（7）その他のサービス 67
（8）館内規則と注意事項 67
（9）SGS ライブラリーにおける個人情報取扱いについて 68
4. メディア・サービス
学内サービスの紹介 70
（1）サポートについて 71
（2）情報処理室（W201、W202）の利用 71
（3）機器貸出し 72
（4）ライセンス利用 72
（5）学内ネットワーク 73
（6）メールシステム 73
（7）ファイルシステム（Google ドライブ） 73
（8）多摩大学キャンパスシステム T-NEXT 73
（9）VPN 接続サービス 74
（10）学生用 無料 スキャン・印刷システム 74
（11）2022 年度以降入学生の皆さんへ 75
5. キャリア支援課
（1）場所 76
（2）サービス 76
6. 国際交流センター事務課
（1）留学 77
（2）経済的支援 78
（3）国際交流イベント 78
（4）国際交流スペース 78
（5）肖像権の取り扱いについて 78
7. 事業推進室
（1）経済活動への参加のサポート 79
（2）地域における国際交流活動のサポート 79
（3）I Love 湘南 Project 79
8. 学費等納入について 80
第 IV 部：規程
多摩大学学則（抜粋） 82
多摩大学成績評価規程 89
多摩大学通学に関する規程 90
多摩大学学生懲戒規程 91-93
校舎図面 94
Office・事務局（問い合せ） 裏表紙

建学の精神・多摩大学の基本理念

建学の精神

田村学園は、昭和 12(1937)年 10 月に田村國雄が建学の精神「質実清楚・明朗進取・感謝奉仕」を礎として目黒区下目黒の地に社会に貢献できる女子実業人を養成することを目的として「目黒商業女学校」を設立し、幼稚園及び系列の短期大学と共に女子教育を行ってきた。その後の教育体制を整えるため、高等教育としては、平成元(1989)年に多摩大学を設置し、中等教育は進学ニーズに合わせて男女共学の中高一貫教育への改組等を行い、現在では、多摩大学・大学院、多摩大学目黒中学校・高等学校、多摩大学附属聖ヶ丘中学校・高等学校、目黒幼稚園・大森双葉幼稚園・三宿さくら幼稚園まで、大学・大学院を頂点として幼稚園、中学校・高等学校・大学・大学院の一貫教育としての体制が整っている。

本学園は、その目的を「豊かな個性を伸ばし、新しい時代に活躍できる人材を育成すること」と寄附行為第 3 条で規定し、国際感覚ある、心豊かな人材の育成を目指すことを明記している。

大学の基本理念

建学の精神・学園の目的を踏まえ、平成元(1989)年大学開学時に本学の基本理念を「国際性」、「学際性」、「実際性」の 3 つのキーワードとした。そして、国際化、情報化社会の進展に即応して、世界の中で大きな役割を担い、日本の将来を背負うという自覚に基づいた強い実行力と広い視野を持ち自らを厳しく律することが出来る高い倫理観のある人材を育成することに尽力してきている。

【国際性】 グローバル社会の一員として、積極的な役割を果たす人材を育成する。

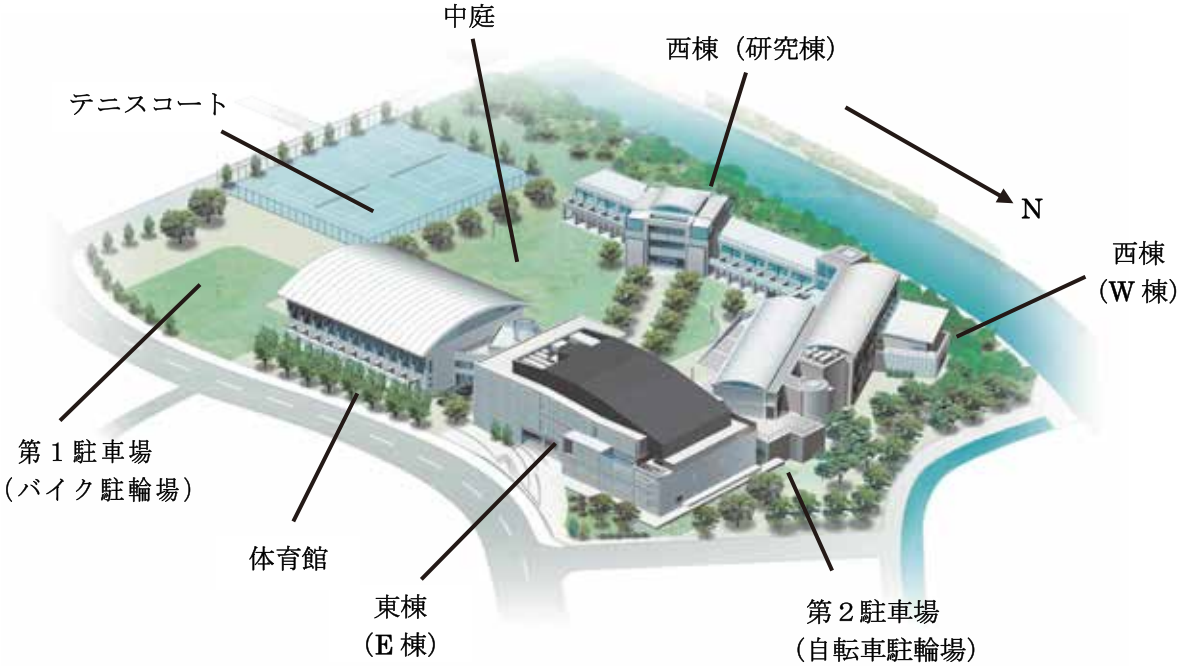
【学際性】 行き過ぎた専門化の弊害を是正するため、学際的な研究・教育への取組を重視する。

【実際性】 大学に対する「象牙の塔」批判を克服すべく、「社会に通用する大学」を標榜する。

さらに、開学 20 周年の平成 21(2009)年を機に、本学の教育理念を、「現代の志塾」と定め、教育・研究・社会貢献の全分野の共通理念とした。

第Ⅰ部：大学の概要

SGS キャンパス



アクセス：小田急江ノ島線・相模鉄道いずみ野線・横浜市営地下鉄「湘南台」駅下車　徒歩 12 分
小田急江ノ島線「六会日大前」駅下車　徒歩 12 分

キャンパス：東棟（E 棟）
- エントランス
- 図書館
- アゴラ（ラウンジ）
- 教室
- 大講堂

：西棟（W 棟）
- 事務局（学生課／国際交流センター事務課／教務課／教務課メディア・サービス／事業推進室）
- 入試課／総務課
- 保健室
- カフェテリア（学生食堂）
- ラウンジ
- キャリア支援課
- 情報処理室（コンピュータールーム）
- 教室

：西棟（研究棟）
- 教員オフィス
- ラウンジ
- 学生相談室

：体育館／テニスコート／中庭
：駐車場／駐輪場

学年暦（ 2023-2024　Academic　Calendar ）

	日	月	火	水	木	金	土
4月							1
							–
	2	3	4	5	6	7	8
		オリエンテーションⅠ・ TOEIC IPテスト 第3回プレエントリー開始	オリエンテーションⅡ 第3回プレエントリー 終了・結果発表	入学式	① 第4回プレエントリー開始	① 第4回プレエントリー 終了・結果発表	①
	9	10	11	12	13	14	15
		①	①	①	②	②	②
	16	17	18	19	20	21	22
		②	②	②	③	③ 履修登録確認 （登録・削除）期間終了	③
	23	24	25	26	27	28	29
		③	③	③	④	④	④ 昭和の日
	30						

	日	月	火	水	木	金	土
5月		1	2	3	4	5	6
		–	–	憲法記念日	みどりの日	こどもの日	–
	7	8	9	10	11	12	13
		④	④	④	⑤	⑤	⑤
	14	15	16	17	18	19	20
		⑥	⑥	⑤ 履修中止期間開始	⑥	⑥	⑥
	21	22	23	24	25	26	27
		⑥	⑥ 履修中止期間終了	⑥	⑦	⑦	⑦
	28	29	30	31			
		⑦	⑦	⑦			

	日	月	火	水	木	金	土
6月					1	2	3
					⑧	⑧	⑧
	4	5	6	7	8	9	10
		⑧	⑧	⑧	⑨	⑨	⑨
	11	12	13	14	15	16	17
		⑨	⑨	⑨	⑩	⑩	⑩
	18	19	20	21	22	23	24
		⑩	⑩	⑩	⑪	⑪	⑪
	25	26	27	28	29	30	
		⑪	⑪	⑪	⑫	⑫	

※数字を〇で囲んである日が講義日です。数字は講義の週を表します。
※ただし、別途補講や講義を実施する場合があります。

学年暦（ 2023-2024　Academic　Calendar ）

	日	月	火	水	木	金	土
7月							1
							⑫
	2	3	4	5	6	7	8
		⑫	⑫	⑫	⑬	⑬	⑬
	9	10	11	12	13	14	15
		⑬	⑬	⑬	⑭	⑭	⑭ TOEIC IPテスト
	16	17	18	19	20	21	22
		⑭ 海の日	⑭	⑭	⑮	⑮	⑮
	23	24	25	26	27	28	29
		⑮	⑮	⑮	学期末試験 I	学期末試験 II	学期末試験 III
	30	31					
		学期末試験Ⅳ					

	日	月	火	水	木	金	土
8月			1	2	3	4	5
			学期末試験 V	学期末試験 VI			
	6	7	8	9	10	11	12
						山の日	
	13	14	15	16	17	18	19
	20	21	22	23	24	25	26
	27	28	29	30	31		

	日	月	火	水	木	金	土
9月						1	2
						履修登録確認 （登録・削除）期間開始 第1回プレエントリー開始	
	3	4	5	6	7	8	9
		第1回プレエントリー 終了・結果発表		第2回プレエントリー開始			
	10	11	12	13	14	15	16
		第2回プレエントリー 終了・結果発表	–	オリエンテーション I 第3回プレエントリー開始	オリエンテーション II	入学式/卒業式 第3回プレエントリー 終了・結果発表	–
	17	18	19	20	21	22	23
		① 敬老の日	①	①	①	①	① 秋分の日
	24	25	26	27	28	29	30
		②	②	②	②	②	②

※数字を〇で囲んである日が講義日です。数字は講義の週を表します。
※ただし、別途補講や講義を実施する場合があります。

学年暦（ 2023-2024　Academic　Calendar ）

	日	月	火	水	木	金	土
10月	1	2	3	4	5	6	7
		③	③	③	③	③ 履修登録確認 （登録・削除）期間終了	③
	8	9	10	11	12	13	14
		④ スポーツの日	④	④	④	④	④ TOEIC IPテスト
	15	16	17	18	19	20	21
		⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤
	23	23	24	25	26	27	28
		⑥ 履修中止期間開始	⑥	⑥	⑥	⑥ 履修中止期間終了	⑥
	29	30	31				
		⑦	⑦				

	日	月	火	水	木	金	土
11月				1	2	3	4
				⑦	⑦	文化の日	⑦
	5	6	7	8	9	10	11
		⑧	⑧	⑧	⑧	SGSフェスタ準備日	SGSフェスタⅠ
	12	13	14	15	16	17	18
	SGSフェスタⅡ	SGSフェスタ片付け日	–	⑨	⑨	⑦	⑧
	19	20	21	22	23	24	25
		⑨	⑨	–	勤労感謝の日	⑧	⑨
	26	27	28	29	30		
		⑩	⑩	⑩	⑩		

	日	月	火	水	木	金	土
12月						1	2
						⑨	⑩ TOEIC IPテスト
	3	4	5	6	7	8	9
		⑪	⑪	⑪	⑪	⑩	⑪
	10	11	12	13	14	15	16
		⑫	⑫	⑫	⑫	⑪	⑫
	17	18	19	20	21	22	23
		⑬	⑬	⑬	⑬	⑫	⑬
	24	25	26	27	28	29	30
	31						

※数字を〇で囲んである日が講義日です。数字は講義の週を表します。
※ただし、別途補講や講義を実施する場合があります。

学年暦（ 2023-2024 Academic　Calendar ）

	日	月	火	水	木	金	土
1月		1	2	3	4	5	6
		元旦				⑬	⑭
	7	8	9	10	11	12	13
		成人の日	⑭	⑭	⑭	⑭	大学入学共通テスト
	14	15	16	17	18	19	20
	大学入学共通テスト	⑭	⑮	⑮	⑮	⑮	⑮ TOEIC IPテスト
	21	22	23	24	25	26	27
		⑮	学期末試験 I	学期末試験 II	学期末試験 III	学期末試験 IV	学期末試験 V
	28	29	30	31			
		学期末試験 VI					

	日	月	火	水	木	金	土
2月					1	2	3
	4	5	6	7	8	9	10
	11	12	13	14	15	16	17
	建国記念日	振替休日					
	18	19	20	21	22	23	24
						天皇誕生日	
	25	26	27	28	29		

	日	月	火	水	木	金	土
3月						1	2
	3	4	5	6	7	8	9
	10	11	12	13	14	15	16
	17	18	19	20	21	22	23
				春分の日	卒業式		
	24	25	26	27	28	29	30
	31						

※数字を〇で囲んである日が講義日です。数字は講義の週を表します。
※ただし、別途補講や講義を実施する場合があります。

窓口業務時間・取扱い内容

<table>
<tr><th>大学事務局・施設</th><th>所在</th><th>取扱業務</th><th>営業時間等</th></tr>
<tr><td>総務課</td><td rowspan="7">W棟１階</td><td>学費（支払い、相談等）
学食、自販機トラブル対応、学内の空調対応等、学内アルバイト手続関連、施設関連全般</td><td rowspan="7">8：50～17：30（平日）
8：50～13：30（土曜日）
※土曜日の窓口は開いておりますが、受けられないサービスがある場合があります
※長期休暇（夏休み・春休み）中の土曜日は原則事務室閉室とします</td></tr>
<tr><td>教務課</td><td>授業、カリキュラム、履修、定期試験、教職、休講、TOEIC、教科書購入等
学修支援室申込対応、
オフィスアワー対応、空き教室使用申込、CHP（特別専修プログラム）</td></tr>
<tr><td>学生課</td><td>学生証再発行、各種証明書発行、各種変更手続き（住所・電話・保証人等）、休退学窓口、奨学金対応、学内施設使用申込、自転車・ロッカー・備品・鍵の貸し出し、落とし物対応、学生会・サークル・学園祭関連対応、学生生活全般、課外活動全般</td></tr>
<tr><td>学生課（保健室）</td><td>学生・教職員の健康管理、傷病者対応、学生相談室窓口、
災害障害保険対応、健康診断、
ＡＥＤ管理</td></tr>
<tr><td>国際交流センター事務課</td><td>海外留学関連全般、海外留学奨学金、留学生対応、国際交流イベント等</td></tr>
<tr><td>事業推進室</td><td>地域活動サポート、国際交流活動イベント参加等</td></tr>
<tr><td>キャリア支援課</td><td>W棟２階</td><td>進路相談、就職支援、国内インターンシップ、キャリア支援講座</td><td>8：50～17：30（平日のみ）</td></tr>
</table>

入試課	W棟１階	学生募集、入学試験、母校訪問、オープンキャンパス対応	8：50～17：30（平日のみ）
教務課メディア・サービス		情報処理室の管理、ネットワーク・PC・ICT サポート	
図書館	Ｅ棟１階	図書、資料管理、貸出、所蔵資料コピーサービス	8：50～18：00（平日） 8：50～14：00（土曜日学期中のみ）
学生相談室	研究棟 205	学生相談、サポート	11：30～17：00（月・火・木曜日）
学修支援室	研究棟 108	英語力向上（TOEIC）	12:30～17:30（月・火・木・金曜日） 9:00～12:00、13:00～17:00（水曜日）
教職支援室	研究棟 106	教職サポート	8：50～20：00（平日） 8：50～16：30（土曜日） ※教職課程履修者のみ利用可能
CHP ルーム	研究棟 109	CHP 参加学生の学修スペース	8：50～20：00（平日） 8：50～16：30（土曜日） ※CHP 参加学生のみ利用可能
情報処理室 （Ｗ２０１・Ｗ２０２）	W棟２階	コンピューター教室 ※Ｗ２０１はラーニングコモンズを兼ねる	8：50～20：00（平日） 8：50～16：30（土曜日） ※一般は講義時間外使用可
ラウンジ（アゴラ含む）	Ｅ棟１階	フリースペース、飲食可、コピー機	8：00～20：30（平日） 8：00～20：30（土曜日）
カフェテリア	W棟１階	食堂、各種自販機、印刷機	11：30～14：30（平日のみ）
一般教室の利用	Ｅ棟、W棟	教務課にて要予約	9：00～20：30（平日） 9：00～20：30（土曜日） ※一般は講義時間外使用可
体育館/ テニスコート（一般利用）		学生課にて要予約	9：00～16：10（平日） 9：00～20：30（土曜日）
体育館/ テニスコート（サークル）		サークル活動日使用可	16：20～20：30（平日） 9：00～20：30（土曜日）
更衣室	体育館２階	授業での使用、サークル活動日使用可	9：00～20：30（月～土曜日）

※休業期間中は変更が生じる場合があります。（事前に掲示・T-NEXT 等にて通知します）

第 II 部：教務について

教務課では、カリキュラム、時間割、履修科目の登録、成績と試験結果、履修科目の単位数と卒業要件といった履修に関連する事項を主に取り扱っています。履修に関することで質問や不明な点がありましたら、教務課へお問い合わせください。

1. 学士号授与の基本的な考え方及び教育課程編成・実施

〔ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与に関する方針）〕

1　育成する人材

本学は「現代の志塾」を教育理念とし、グローバル化、情報化社会の進展に即応して、世界の中で大きな役割を担うことで日本の将来を背負うという自覚に基づいた強い実行力と、それぞれの地域社会の可能性に対しての広い視野を持ち、自らを厳しく律することができる高い倫理観を備えた「志」の高い「多摩グローカル人材（多摩・湘南のローカリティを究めることにより、グローバルに目を開く“グローカリティ”という思想を持つ多摩・湘南地域の活性化をリードするグローバル人材）」を育成する。

グローバルスタディーズ学部では、「多摩グローカル人材」の具体像として、文化・社会・経済・多文化交流などに関する学術と応用を教育研究し、語学力を活用したコミュニケーション能力とグローバルな問題を解決できる能力を持ち、国際基準の知識とこれを支える教養をもとにグローバルな舞台で活躍できる人材を育成する。

2　学位授与方針

グローバルスタディーズ学部の教育課程においては、以下の学修成果目標を達成し「志」を実現できる力すなわち「学士力」を備え、学則に定める単位数などの卒業要件を満たした者に卒業を認定し、学位を授与する。

（学修成果目標）

（1）知識と理解【グローカル社会に対する理解】

基礎的な学力を養い、湘南地域や日本の文化・歴史・風土を学び、日本とは何かを説明するための専門的知識を修得する。また、日本とは異なる文化や習慣・価値観について、専門的知識を体系的に修得するだけではなく、これらを理解し受け入れることができる。

(2) 思考と判断【考え抜く力】

現状を分析して、グローバルな課題を明らかにできる課題発見力、課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する計画力、課題に対して新たな価値や解決方法を生み出せる創造力を修得する。

(3) 関心と意欲【社会の発展に貢献する力】

物事に積極的に取り組む主体性や目的に向かって周囲の人を動かしていける巻き込み力、失敗を恐れずに粘り強く行動していける実行力を身につけ、グローバルな舞台で活躍するとともに、国際社会の発展に貢献できるようになる。

(4) 表現と技能【役割分担により組織目標の達成に貢献する力】

日本語だけではなく、グローバルな共通語としての英語によるコミュニケーション能力を修得し、情報や知識を複眼的、論理的に分析し表現できるようになる。

(5) 高い志【環境対応能力と先進性】

大学卒業後も自律・自立して学習できる生涯学習力と、グローバルな課題解決の一端を担い、地球社会の未来に貢献しようとする姿勢を身につけ、自らを律しながら湘南地域からグローバルな舞台まで活躍し、地球社会の未来に貢献できるようになる。

〔カリキュラム・ポリシー(教育課程の編成方針)〕

グローバルスタディーズ学部では、「志」の高い「多摩グローカル」人材を育成するため、ディプロマポリシーで掲げた5つの教育目標に求められる体系的な教育課程を、以下のカリキュラムを通じて実現する。

講義の成績は、一般講義科目に関してはシラバスに記載された到達目標への達成度により絶対評価で評価する。ゼミナール科目に関しては、ディプロマポリシーで掲げた5つの学習成果目標を評価の視点として、ゼミ活動によりどれだけ成長できたのかを総合的に判断し評価する。

(1) 初年次教育

初年次においては、2年次以降の主体的な学びの基礎となる、英語によるコミュニケーション能力の、聞く、話す、読む、書くという4つの要素のバランスのよい修得を可能とするよう「英語集中教育」を全員必修としている。これらの科目では、習熟度別によるクラス編成を行い、少人数クラスで、学生一人一人が自主的かつ積極的に参加することを奨励する。

(2) 基礎教育科目

グローカル社会に対する理解と考え抜く力を養うために、「基礎教育科目」として幅広い分野の科目を展開する。学生はこれらの科目の中から、それぞれの関心に基づいて講義を選択することができる。

「選択必修」は、湘南地域だけでなく、グローバルな舞台で活躍するために必要とされる知識やコミュニケーション能力などの基礎的な内容を修得することを目的とする科目である。これらの科目は、グローバルスタディーズ学部での学修の基礎となる。

「共通一般」は、豊かな人格形成の基礎となる教養と、国際社会に関する基礎的な理解を得ることを目的とする科目で構成されている。学生はこれらの科目を履修することで、グローバル社会における時代認識と、生きる力を身につける。

「多摩グローカル人材」に要求される異文化理解のためには、日本とは異なる文化や習慣・価値観を学修・体験することが重要である。そのために、外国語科目や「英語上級」科目に加えて、留学科目を展開している。

(3) 専門教育科目

2年次以降は、「ホスピタリティ・マネジメントコース」と、「国際教養コース」の2コースに分かれ、それぞれの専門科目を学修する。

「ホスピタリティ・マネジメントコース」は、学際的な観光学と異文化・自文化理解を主軸とし、学際的な観光学や、ホスピタリティ／サービス産業の実務を学修する科目を展開すると共に、異文化・自文化を広く・深く学修するための地域研究に関する科目を展開している。

「国際教養コース」は、グローバルな共通語である英語に対する理解と、グローバルな課題解決の一端を担うための考え抜く力や技能を主軸とし、幅広い分野の科目を展開している。

3年次からは学生一人一人の関心に基づき、2年間に渡って学修する専門分野となる「ゼミナール」を選択する。「ゼミナール」では、少人数教育を基本とし、アクティブラーニングの手法を活用して、専門知識だけでなく、コミュニケーション能力や課題解決力などを養う。

(4) 教職課程

グローバルな共通語である英語によるコミュニケーション能力を修得し、グローバル社会に貢献する 1 つのあり方として、地球社会の未来を担う人材の育成という「志」を実現することが出来るように、中学校および高等学校の英語科教員免許状を取得するための教職課程を設置し、「教職に関する科目」を展開している。

2. 授業科目と単位制

(1)セメスター制

1年を春学期と秋学期の2学期に分けて授業を行います。そして、本学では1学期毎に授業が完結するセメスター制を導入し、半期に集中して授業を行うことにより学習効果を高めています。

(2)授業科目

授業科目は次のいずれかに指定されています。

必修科目:必ず修得しなければならない科目

この科目の単位が未修得の場合は、単に卒業要件単位数を修得していても、卒業することができません。

選択必修及び選択科目:特定されている科目の中から一定の単位数を必修とする科目

この科目も、必修科目と同じく未修得の場合は、単に卒業要件総単位数を修得していても、卒業することができません。

自由選択科目:特定されている科目の中から自由に選んで履修できる科目

[開講形態]

授業の開講形態には、以下の2つがあります。

- 週1回1時限で完結するもの(授業回数:原則15回)
- 2時限にわたって、行われるもの(授業回数:原則30回)
  - 授業の効果をあげるため、同一曜日に連続した時限(例えば火曜日1・2時限連続など)で行われる場合
  - 異なる曜日(例えば、月曜日3時限目と木曜日4時限目の組み合わせなど)で行われる場合
- 学年暦とは別のスケジュールを定めて開講するもの(春・夏期集中講義等)

(3)単位制

科目の履修には単位制が採用されています。

[単位制とは]

科目毎に一定の基準により単位数が決められていて、その科目を履修し、試験等に合格して単位を修得し、その修得した単位数が卒業の要件として定められた基準を満たした場合に、卒業が認められる制度です。

［授業時間と単位］

単位数は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準としています。また、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、おおむね15時間から45時間までの範囲の授業をもって1単位を計算しています。

［単位の認定］

履修登録を行い、その授業科目を履修し、同科目のシラバスに記載の到達目標と評価方法の基準に基づき、合格（60点以上）をおさめることにより、単位が与えられます。

ただし、その授業科目が開講されている期間の学期末まで在学している必要があります。

3. カリキュラム

(1) 令和4(2022)年度以降入学生

進級要件

・2年時への進級 … 要件なし

・3年次への進級 … 2年次終了時点で卒業要件に算入される科目を40単位以上修得及び通算 GPA が1.0以上

・4年次への進級 … 要件なし

卒業要件

<table>
<tr><th>科目群</th><th colspan="2">科目区分</th><th>必修</th><th>選択必修</th><th>選択</th><th>自由選択</th></tr>
<tr><td rowspan="4">基礎教育科目群</td><td rowspan="2">英語集中教育科目(AEP)</td><td>１年次英語</td><td>１２</td><td>－</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>初・中・上級英語
学外（国外）実習科目</td><td>－</td><td>１０</td><td>－</td><td rowspan="4">１０</td></tr>
<tr><td rowspan="2">共通科目</td><td>コア</td><td>－</td><td>8</td><td>－</td></tr>
<tr><td>一般
(学外(国内)実習科目、キャリア科目含む)</td><td>－</td><td>－</td><td>２８※1</td></tr>
<tr><td colspan="3">専門教育科目群</td><td>－</td><td>－</td><td>５６※2※3</td></tr>
<tr><td colspan="3">小計</td><td>１２</td><td>１８</td><td>８４</td><td>１０</td></tr>
<tr><td colspan="3">合計</td><td colspan="4">１２４</td></tr>
</table>

※1：他学部履修した場合、２４単位を上限に基礎教育科目群・共通科目・一般・選択区分の単位として認定する。

※2：ゼミナール科目群の科目は、メジャー登録したコースの選択科目に算入される。

※3：メジャー登録したコースから、最低限３６単位修得しなければならない。なお、コースは２年次進級前に確定する。

(2)令和3(2021)年度以前入学生

進級要件

・2年次への進級 … 要件なし

・3年次への進級 … 要件なし

・4年次への進級 … 要件なし

卒業要件

<table>
<tr><th>科目群</th><th colspan="2">科目区分</th><th>必修</th><th>選択必修</th><th>選択</th><th>その他</th></tr>
<tr><td rowspan="5">基礎教育科目</td><td rowspan="2">語学</td><td>英語集中教育</td><td>16</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>TOEIC 演習</td><td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">共通科目</td><td>選択必修</td><td></td><td>8</td><td></td><td rowspan="6">10</td></tr>
<tr><td>選択</td><td></td><td></td><td>３２※1※2</td></tr>
<tr><td colspan="2">計</td><td colspan="3">58</td></tr>
<tr><td rowspan="3">専門教育科目</td><td colspan="2">所属区分</td><td colspan="2"></td><td rowspan="2">５６※3</td></tr>
<tr><td colspan="2">所属しない区分</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td colspan="2">計</td><td colspan="3">56</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">合計</td><td colspan="4">124</td></tr>
</table>

※1 指定された科目を他学部履修した場合、24単位を限度に基礎教育科目・共通科目選択区分の単位として認めることができる。

※2 「上級英語」または「留学科目」から最低限4単位修得しなければならない。

※3 メジャー登録した分野から最低限36単位修得しなければならない。

◎一定の認定基準を満たしている英語能力の高い学生は、英語集中教育(AEP)及び TOEIC 演習の必修単位数(18単位)の一部を、卒業要件単位数として算入することができる。

(3) 履修登録単位の上限

履修登録では、下表の通り、登録できる単位数に上限があります。

これは、過度な科目登録による理解度の低下を防ぐためです。定められた上限の範囲内で、一つひとつの科目の理解をより深めてください。

令和4(2022)年度以降入学生

学年	１年次	２年次	３年次	４年次
上限単位数	２２単位	２４単位	２４単位	２６単位

(1) 前学期の GPA が２．８以上の場合は、各学期２６単位まで履修登録することができます。なお、前々学期に GPA２．８以上を修得しても、前学期に留学・休学等で GPA が２．８未満もしくはなしの場合は、履修上限の弾力化は適用しません。

(2) 履修上限外科目：Discover World （Study Abroad）、Discover Asia（海外研修）、Discover Japan（地域研修）、国内インターンシップ概論、国内インターンシップ実習、Internship Abroad、集中講義科目及び教職に関する科目等は上限単位に含まれません。

令和3(2021)年度以前入学生

学年	１年次	２年次	３年次	４年次
上限単位数	２２単位	２４単位	２４単位	２６単位

(1) 履修上限外科目：Study Abroad、国内インターンシップ概論、国内インターンシップ実習 I/II、Internship Abroad、集中講義科目(美術論)及び教職に関する科目等は上限単位に含まれません。

(4) メジャー(コース)登録

2年次進級前に、所属コースとして「ホスピタリティ・マネジメントコース」、あるいは「国際教養コース」のどちらかを選択します。メジャー登録・変更については別途連絡します。

4. 履修登録

(1) 履修登録とは

履修登録とは、授業を受けて単位を修得するために、毎学期の始めに、各自の履修計画に基づき、シラバスやその学期の時間割表等から履修科目を決定して、履修科目の登録をする手続きをいいます。履修登録を怠ったり、登録漏れや間違いがあったりした場合は、たとえ授業に出席し試験を受けたとしても単位は修得できません。従って、この手続きは、最も重要な手続きであることを認識してください。

(2)履修科目の決定

カリキュラム(科目編成)表、時間割、講義概要(シラバス)及び個人的な関心を含むその他の事項を検討し、履修を希望する科目を注意深く選んでください。但し、必要に応じて履修定員や、履修するための前提条件などが設定されている科目があります。よくシラバスを注意して読んでください。なお、履修定員を設けている科目は、その学期開始前等にプレエントリーによる抽選が行われます。

(3)登録方法

T-NEXT 上から科目を登録・確認する方法により行います。

なお、システムの利用にあたっては、多摩大学共通アカウント・共通パスワードが必要です。

(4)履修登録上の注意

・プレエントリー、履修登録・確認は、パソコン教室のパソコン及び個人で保有しているパソコン等から行ってください。

・プレエントリー・履修登録期間中（特に最終日）は学内のパソコン及び学内ネットワークの利用が混雑したり、パソコンの動作が遅くなったりすることが予想されます。プレエントリー・履修登録にあたってはあらかじめ科目を決定した上で、充分に時間的な余裕を持って行ってください。いかなる理由であっても、履修登録ができなければ、単位の修得ができません。

・履修登録に当たっての詳細な注意事項は別途指示します。

(5)履修登録・確認・削除の流れ

履修計画を立てる

・前学期の成績結果、時間割、シラバス、学生ハンドブック等から、履修する科目を決定してください。

・履修について、また、卒業要件で不明なこと、確認したいことがあれば教務課窓口まで気軽に相談に来てください。

↓

授業開始
履修登録確認（登録・削除）期間

・授業開始

春学期:4月6日(木)

秋学期:9月18日(月)

・履修登録確認(登録・削除)期間

春学期:3月22日(水)から4月21日(金)

秋学期:9月1日(金)から10月6日(金)

・履修登録にはプレエントリー科目とそれ以外の科目があります。プレエントリーはT-NEXTの「抽選希望登録」メニューから行います。抽選希望登録の方法は、オリエンテーションやT-NEXT等でご案内いたします。

↓

履修中止期間

・履修中止期間

春学期:5月17日(水)から5月23日(火)

秋学期:10月23日(月)から10月27日(金)

集中講義:別途連絡いたします。

・履修中止期間は、履修削除が可能です。単位修得が困難だと判断した科目があれば、期間内にT-NEXTにて削除してください。

履修削除した科目を復活させることは原則できません。但し、履修を削除した科目を、次学期以降に改めて履修することは可能です。

(6)履修についての相談

グローバルスタディーズ学部の教育方針、カリキュラムその他の関連事項の詳細については、オリエンテーションで説明します。もちろん、アドバイスを求めたり質問したりするために教務課窓口を

訪ねてもかまいません。また、下記「(8)オフィスアワーとは」で説明しているオフィスアワーについても利用してください。

(7)学修支援室

主に、「英語力をつけたい」、「TOEICの点数を上げたい」という人向けに学修支援室を用意しています。基本的に学期中の月曜から金曜に開室しています。
夏休み、春休み中は特別勉強会を開催することがあります。
予約方法等は教務課の掲示を参照してください。

(8)オフィスアワーとは

正課の授業とは別に学生と教員のコミュニケーションを密接にする場として設けた時間帯のことです。あらかじめ設定された時間帯に専任の教員が研究室で待機し、学生からの質問や相談(履修、学生生活、キャリアの展望、その他)を受けやすくするための制度です。
なお、非常勤の先生方は基本的に担当授業のある日しか来学しませんので、質問や相談がある場合は担当授業の開始前、終了後の教室や講師室を訪ねるか、メールにて連絡をとるようにしてください。
オフィスアワー及び非常勤教員の連絡先メールアドレスは、学期開始前に T-NEXT 等で連絡します。

5. 授業

(1)授業時間

授業時間は1時限90分で行います。

時　限	時　刻
1時限	9時00分　から　10時30分
2時限	10時40分　から　12時10分
昼休み	12時10分　から　13時00分
3時限	13時00分　から　14時30分
4時限	14時40分　から　16時10分
5時限	16時20分　から　17時50分
6時限	18時00分　から　19時30分

(2)授業におけるマナー

本学部は、学生の皆さんが安心して学修できるよう、快適で安全な環境づくりを心がけています。学生の皆さんが、快適で楽しいキャンパスライフを送ることができるよう、下記のとおり授業におけるマナーを定めました。

授業におけるマナー向上について、ご協力をお願い致します。

なお、下記マナーを守らない場合、授業担当教員によっては、欠席扱いとなることがあります。

① 体調管理

- 体調を整え、受講してください。
- 受講中、体調不良の場合は、授業担当教員に申し出てください。
- 受講中、居眠りは控えてください。

② 教室への入室及び退出

- 遅刻はしないでください。
- 授業担当教員の許可なく、途中退出(一時退出含む)をしないでください。

③ 出 席

- 出席に関する不正行為はやめましょう。
- 不正行為の例

・出席をとる際、出席していない者に代わって出席をよそおって返事等を行うこと。

・出席していない者の学生証を用いて、出席採取のためのカードリーダーにタッチすること。

④ 私 語

授業中は控えてください。

⑤ 携帯電話・スマートフォン端末、パソコン、イヤホン等の使用

- 授業担当教員の指示・許可を得て、授業のために使用する場合を除き、これらの機器の使用を禁止します。
- 携帯電話・スマートフォン端末は、授業中電源を切るか、マナーモードに設定してください。

⑥ 飲 食

原則できませんが、授業担当教員の指示に従ってください。

⑦ ゴミの放置

授業中や休み時間に出たゴミは、教室に放置せずゴミ箱へ入れ、教室美化に努めましょう。

(3)授業の欠席について

授業の性質に基づいて担当教員が欠席(遅刻)の扱いを定めていますので、シラバスや担当教員の説明をよく確認してください。

・ 原則として、欠席回数が15回のうち3回以上(週 1 コマ授業の場合)、あるいは30回のうち6

回以上（週2コマ授業の場合）になると単位認定はされません。

- 遅刻や早退により授業を受けない時間が30分以上になる場合は欠席として扱います。
- 遅刻あるいは早退した場合は、2回で欠席扱いとなります。
- 履修登録期間の授業も出席回数に含まれます。
- 欠席した場合は理由を科目ごとに担当教員に伝えて、指示を仰いでください（事前に欠席がわかっている場合は、e-mail 等で連絡をしてください）。
- 学生の欠席について、事務局から担当教員に連絡することはありません。

〔公欠について〕

下記に示す場合は公欠扱いとなりますので、教務課まで問い合わせてください。公欠が認められた欠席については、欠席数に算入されませんが、出席になるということではありません。

① ［忌引き］親族（二親等以内、または配偶者）の死亡に伴う行事（通夜、葬儀、告別式）に参列する場合、教務課へ申し出て、指示に従い手続きをする。
（注）忌引きの対象には、四十九日等の法事・法要は含みません。

② 学校保健安全法に定める、学校において予防すべき伝染病罹患により欠席した場合、保健室へ申し出て、指示に従い手続きをする。

③ 学校保健安全法に定める、学校において予防すべき伝染病罹患の疑いにより医者（医療機関）から出校停止の指示を受けた場合、保健室へ申し出て、指示に従い手続きをする。

④ 裁判員制度により、裁判員候補者として呼出しを受けた場合、または裁判員に選任された場合、教務課へ申し出て、指示に従い手続きをする。
（②、③については、医師からの出校停止期間を公欠扱いとします）

公欠扱いとなった授業については、授業担当教員の指示に従ってください（課題やレポート等により、授業担当教員が当該授業に相当する学習を課すものとします）。

〔忌引きにより公欠扱いとなる期間〕

下記に示す期間とします。葬儀のため遠隔の地に赴く場合には、往復に要する日数を加えた日数とします。特別な事情がある場合は起算日に関わらず、葬儀等が行われた日を含む下記期間とすることが可能です。

- 一親等の場合は、死亡した日から起算して連続7日（休日含む）の範囲内
- 二親等の場合は、死亡した日から起算して連続3日（休日含む）の範囲内
- 配偶者の場合は、死亡した日から起算して連続7日（休日含む）の範囲内

〔学校保健安全法（施行規則第19条）に定める、学校において予防すべき感染症〕

第1種	エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱、急性灰白髄炎、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群（病原体がベータコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る）、中東呼吸器症候群（病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る）、特定鳥インフルエンザ（感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（平成十年法律第百十四号）第六条第三項第六号に規定する特定鳥インフルエンザをいう）、指定感染症、新感染症
第2種	インフルエンザ（特定鳥インフルエンザ、及び新型インフルエンザ等感染症を除く）、百日咳、麻疹、流行性耳下腺炎、風疹、水痘、咽頭結膜熱、結核、髄膜炎菌性髄膜炎
第3種	コレラ、細菌性赤痢、腸管出血性大腸菌感染症、腸チフス、パラチフス、流行性角結膜炎、急性出血性結膜炎、その他の感染症（※） ※ 「その他の感染症」とは、感染症胃腸炎（ノロウイルス、ロタウイルス、アデノウイルス感染症など）、サルモネラ感染症（腸チフス、パラチフスを除く）、カンピロバクター感染症、マイコプラズマ感染症、インフルエンザ菌感染症、肺炎球菌感染症、溶連菌感染症（主にA型群溶血性レンサ球菌感染症、伝染性紅斑（りんご病）、RSウイルス感染症、EBウイルス感染症、単純ヘルペスウイルス感染症、帯状疱疹、手足口病、ヘルパンギーナ、A型肝炎、B型肝炎、伝染性膿痂疹（とびひ）、伝染性軟属腫（水いぼ）、アタマジラミ症、疥癬、カンジタ感染症、白癬特にトンズランス感染症を指す。 「その他の感染症」については、医師の診断書が提出された時点で、学校において予防すべき伝染病に相当するかを大学が判断する。

※新型コロナウィルス感染症に関する取扱いについてはこちらのサイトをご確認ください。

https://www.tama.ac.jp/student/sgs/007.html

〔欠席届について〕

交通機関の遅延、交通事故、教職課程に関する実習、就職活動等は公欠扱いとはなりません。ただし、教職課程に関する実習、就職活動に対しては、「欠席届」を提出することで配慮の対象となる場合があります。

欠席届が提出された場合でも、「欠席」が「出席」に変わることはなく、成績評価にあたって配慮するかどうかは各授業担当教員の判断によります（欠席届の提出が授業担当教員による成績評価における配慮を確約するものではありません）。

問い合わせ先：教職課程に関する実習は「教務課」
　　就職活動は「キャリア支援課」

公欠扱い、及び欠席届を提出した回を含め、いかなる理由であっても、授業に出席していない回数が1授業科目あたり3分の1を超える場合（※）は単位認定されません。
（※）15回のうち6回以上、あるいは30回のうち11回以上

〔欠席に関する手続き期限〕

欠席することがわかった時点で教務課へ申し出て、手続きをしてください。必要書類の提出期限は、「欠席の最終日翌日から5授業日(※)以内」、または「期末試験開始前日」の早い方となります。期限を過ぎたものについては取り扱いができません。また、発行された書類はコピー後、速やかに担当教員へ提出してください。

（※)授業日：　土・日、及び授業のない祝日を除いた日

(4)休講

特別な理由による臨時の全学休講の場合は、ホームページ、e-mail、掲示等により伝達します。

授業の進度による事情で必要のある場合、あるいは教員の止むを得ない事情で授業が行えなかった場合には、補講が行われます。この場合、直接担当教員が指示する他、T-NEXT や掲示にて連絡します。

事前の告知がなく、30分待っても授業が行われない場合は、教務課で確認してください。

〔自然災害及び交通機関のストライキによる授業の取扱〕

①午前中休校となる場合

・午前6時の時点で神奈川県東部に気象警報（※）が発令され、小田急江ノ島線、相鉄線全線、横浜市営地下鉄全線、JR東海道線（東京～小田原間）のいずれかが運休している場合。

・午前6時の時点で、小田急江ノ島線、相鉄線全線、横浜市営地下鉄全線、JR東海道線(東京～小田原間)のいずれかでストライキが行われて運休している場合。

②午後より授業を行う場合

・午前9時59分までに神奈川県東部の気象警報(※)が解除され、小田急江ノ島線、相鉄線 全線、横浜市営地下鉄全線、JR東海道線(東京～小田原間)のすべてで運行を再開した場合。

・午前9時59分までにストライキが解除され、運行を再開した場合。

③午後も休校となる場合

・午前10時の時点で引き続き、神奈川県東部に気象警報(※)が発令され、小田急江ノ島線、相鉄線全線、横浜市営地下鉄全線、JR東海道線(東京～小田原間)のいずれかが運休している場合。

・午前10時の時点でストライキが行われて運休している場合。

(※) 上記気象警報とは、以下のことを示します。

①暴風雪警報

②同時に大雨警報、洪水警報及び暴風警報の3警報

③大雪警報

のいずれかが出された場合。

☆警報が出る前や、授業開始後に緊急事態が発生する場合等、状況に応じて臨時に休講とする場合の連絡は、ホームページ、e-mail、掲示や校内放送、等にて行います。
期末試験期間中の対応についても同様とします。

〔大規模地震発生による警戒宣言が発令された場合の授業の取扱〕

大規模な地震の発生が予想されるときは、大規模地震対策特別措置法により「地震防災対策強化地域判定会」(以下、「判定会」とする)が召集され、状況によって「警戒宣言」が発せられます。その場合の授業の取り扱いは次のようになります。

(ア)「判定会」が召集されたことが、ラジオ・テレビ等で報道された時点で休講

(イ)警戒宣言が解除されたり、「判定会」が解散されたりした際の授業再開については、交通機関が不通になった場合に準じます。

6. 試験

(1)試験の種類

通常、期末試験をもって授業の履修を終えます。ただし、授業ごとに成績の評価の仕方が異なります。授業によってはレポートで期末試験に替える場合もあります。また中間試験あるいは小テストを行ったり、平常点で評価したりする場合もあります。それぞれのシラバスをよく読み、授業で確認してください。

(2) 学期末試験（定期試験）

一定の期間と時間割を定めて、春学期学期末試験と秋学期学期末試験の2回実施されます。試験の時間割は、通常の授業曜日、時限、教室と異なることがあり、土曜日の午後であっても、試験が組まれることがあります。学期末試験を受けるためには、学生証が必要です。

〔座席指定〕

試験には着席する位置が指定されている場合があります。

この場合は当該試験開始前に、教室の入口に学籍番号で着席位置が記された座席区分表が貼り出されますので、決められた位置に着席しなくてはなりません。

(3) 追試験

学期末試験を次の理由により受験できなかった場合、願い出て許可されれば追試験を受験することができます。

①病気又は負傷（診断書要）

※加療期間等の記載内容から当日受験できないことが読みとれる医療機関の診断書等に限る。

②交通機関の遅延（交通機関の遅延証明書要）

③卒業後の進路に関する試験（あらかじめキャリア支援課の指導を受け、所定の手続きが必要）

④裁判員候補者として呼出しを受けた場合または裁判員に選任された場合（公的証明書要）

⑤不慮の事故又は災害（公的証明書要）

⑥親族等の死亡又は葬儀（公的証明書又は葬儀日程のわかるものが必要。）

⑦その他、本学が特にやむを得ないと認めた場合（教務課の指定する証明書が必要）

〔追試験の対象科目〕

追試験の対象となるのは、学期末試験期間内に行われた科目のみです。

〔受験手続〕

追試験を希望する場合は、当該科目の試験当日を含む3日以内（ただし、日曜日、祝日は除く。）に e-mail 等で教務課に連絡をしてください。教務課の指示に従って、「追試験願」に所定事項を記入し、各種証明書を添え追試験受験前までに提出してください（期間の過ぎた申請は、一切受け付けられません)。

追試験を受験できなかった場合、再度の追試験は行いません。また、追試験を願い出ながら自分の都合で受験しない場合は、以後追試験の願い出を受理しないことがあります。

〔試験時期〕

春学期追試験は8月（予定）、秋学期追試験は2月（予定）に行います。

7. 不正行為

(1) 不正行為についての処分

授業中及び試験中に不正行為をした者は、当該科目が不合格になるだけでなく事実確認の上「多摩大学グローバルスタディーズ学部履修細則」により、原則当該学期の履修単位全てが不合格となります。加えて、「多摩大学学則」により懲戒（停学等）処分も課されます。絶対にやめましょう。

(2) 不正行為に該当する行為の例

試験及び授業内のレポート・課題等における以下の行為等。

①書籍やインターネットからの盗作（コピー&ペースト）

②試験中の持ち込み資料の貸し借り

③試験中の答案の持ち出し

④許可された資料等以外の参照や使用

⑤他人の資料を流用（貸し出した側も罪となる場合があります）

⑥レポート・課題を教員の許可なく友人と共同作業し提出する行為

⑦代理（替え玉）受験

⑧不正行為への加担

8. 成績

(1) 成績評価

成績評価は、授業の教育目標に対する学修者の到達度を見るものであり、シラバスに記載されている各授業の到達目標及び評価方法に基づき行われます。

具体的には、授業形態に応じた適切な評価方法、定期試験及び小テスト、課題レポート、発表及び討論、授業への参加態度、予習復習などの自主的学修態度、出欠席の状況等、多様な要素を総合的に考慮して判定します。

それぞれの授業によってその到達目標と評価方法が異なりますので、シラバスでよく確認をしましょう。

<table>
<tr><th></th><th colspan="4">一般講義科目</th><th colspan="3">ゼミナール科目</th></tr>
<tr><th>点数</th><th>評価</th><th>評点
(GP)</th><th>評価基準</th><th>配分基準</th><th>評価</th><th>評点
(GP)</th><th>配分
基準</th></tr>
<tr><td>100-
90</td><td>A+</td><td>4.0</td><td>基本的な目標を充分に達成し、きわめて優秀な成果をおさめている。</td><td rowspan="2">合格者の 0－35%の範囲（履修者数ではありません。）
※ 35%を越えて A+と A の成績の者がいる場合は、規定にかかわらず付与することができます。</td><td rowspan="4">P</td><td rowspan="4">4.0</td><td rowspan="4">制限なし</td></tr>
<tr><td>89-
80</td><td>A</td><td>3.0</td><td>基本的な目標を充分に達成している。</td></tr>
<tr><td>79-
70</td><td>B</td><td>2.0</td><td>基本的な目標を達成している。</td><td rowspan="2">制限なし</td></tr>
<tr><td>69-
60</td><td>C</td><td>1.0</td><td>基本的な目標を最低限度達成している。</td></tr>
<tr><td>59 以下</td><td>F</td><td>0.0</td><td>出席状況が不良、または、基本的な目標を達成していないので再履修が必要である。</td><td>制限なし</td><td>F</td><td>0.0</td><td>制限なし</td></tr>
<tr><td>認定</td><td>N</td><td>－</td><td>他学部、他大学などで修得した単位は GP には換算されない。</td><td></td><td>N</td><td>－</td><td></td></tr>
</table>

★ A+、A、B、Cは合格で、Fは不合格です。

★ ゼミナール科目はP（合格）、F（不合格）の２段階で判定します。

★ 不正行為が認定された場合は、原則当該学期の履修単位全てを不合格とします。

(2) GPA

GPA とは、米国の大学で一般的に行われている成績評価方法で、学生一人ひとりの履修科目の成績の平均を数値化し、客観的に測定するためのものです。GPA により、学生は学習効果を自分自身で把握することができるため、個人の能力や意欲に合わせて主体的かつ充実した履修を行い、学習効果をあげることができます。GPA 制度のもとでは、学生は一度登録した科目は責任を持って確実に履修することが求められます。

学期ごとに、履修した各科目の成績に点数（Grade Point）を与え、このGPにその科目の単位数を乗じ、その合計を、履修科目の単位数の合計で割って算出します。但し、履修を中止した科目、認定科目は、算出対象から除きます。

GPA は、科目全体における学生の理解度と進歩を評価するための一般的な方法として使用されています。本学部では教育の国際化に対応し、よりきめ細かな成績評価を行うため GPA を導入しています。

$$\text{GPA}=\frac{(\text{科目のグレードポイント}\times\text{単位数})\text{の和}}{\text{履修科目の単位数の和}}$$

例えば、下表のような評価を得た場合、GPA は次のように算出します。

科目名	単位数	成績評価	GP(グレードポイント)
Listening & Speaking(FYS) I	2単位	A^{+}	4
Reading & Writing(FYS) I	2単位	A	3
日本の法律	4単位	A	3
資格試験対策講座(TOEIC) I	2単位	B	2
経営学入門	4単位	B	2
キャリア開発論	4単位	C	1
心理学入門	2単位	F	0

$$\text{GPA}=\frac{(4\times2)+(3\times2)+(3\times4)+(2\times2)+(2\times4)+(1\times4)+(0\times2)}{(2\times4)+(4\times3)}=\frac{42}{20}$$

GPA は、2.1 となります。

最高点は、4.00 です。

(3) GPA の活用

GPA は、GPA が高い数値の学業成績優秀者を対象にした海外留学奨学金、成績優秀者奨学金等の各種奨学金選考や、早期卒業希望者、卒業時成績優秀者表彰の選考などに使用されます。また、GPA が低い数値の学生に対しては在籍年数、修得単位数なども考慮の上、退学を勧告する場合があります(多摩大学成績評価規程第 5 条)。

(4) 成績発表

成績及び GPA は、T-NEXT 上で確認できます。

春学期成績発表予定時期･･･8月中旬頃

秋学期成績発表予定時期･･･2月中旬頃

(5) 成績評価に関する問合せ

当該学期の成績評価について確認をしたい場合は、別途案内する期間内に教務課に申し出てください。

9. 卒業

(1) 卒業

①卒業のためには、4年以上在学（2、3年次編入学生を除く。）して所定の科目を履修し、規定する単位数以上を修得しなければなりません。

※休学した期間は在学期間に含まれません。従って、休学すると卒業が遅れることになります。

②卒業の認定は、年2回、3月と9月に行います。

(2) 卒業見込証明書の発行

卒業見込証明書は就職活動で必要となる証明書で、発行にあたっては以下の条件をすべて満たしていることが必要となります。

［令和3（2021)年度以前入学生］

3年次終了時点で以下の条件を満たすこと

①基礎教育科目の必修単位及び選択必修単位のうち以下の24単位を修得済みのこと

英語集中教育(AEP)：16単位、共通科目選択必修：8単位

②上記①を含め、100単位以上修得済みのこと

［令和4（2022)年度以降入学生］

①4年次生であること

②在学期間が3年以上であること

③基礎教育科目群の必修単位及び選択必修単位のうち以下の30単位を修得済みのこと

英語集中教育(AEP)必修：12単位、英語集中教育科目(AEP)選択必修：10単位

共通科目選択必修：8単位

④上記③を含め、100単位以上修得済みのこと

(3) 再試験

再試験は、卒業年次の単位修得により、卒業要件単位が一定範囲で不足する者に対し最終学期に履修している科目について実施します。

〔受験の条件〕

再試験を受験するためには次の条件をすべて満たしていなければなりません。

①卒業要件を満たすに必要な単位数が12単位以内であること

②担当教員が再試験受験を許可すること

③履修登録済みであること

〔再試験料〕

再試験を受ける場合は1科目につき2,000円の再試験料が必要です。

なお、一旦納入した再試験料は、事由の如何に関わらず返還しません。

〔受験手続〕

教務課で交付する「再試験願」に所定事項を記入し、再試験料（2,000円×受験科目数分）を添え、成績発表日に申請してください。（期間の過ぎた申請は、一切受け付けられません。）

〔成績評価〕

再試験の成績評価は、C(合格)またはF(不合格)となります。

(4) 早期卒業

本学部では、特別優秀な学生を対象に、卒業までの4年在籍期間を短縮して「4年未満3年間以上の在学」での卒業を認める「早期卒業制度」を導入しています。（ただし、編入生は除きます。）

この早期卒業制度は、定められた卒業要件を満たしたうえで、学業成績など優れた成果を挙げた学生に対し3年（6学期）若しくは3.5年（7学期）の在学で卒業を認める制度で、意欲ある優秀な人材が早期に大学を卒業して日本や海外の大学院へ進学する、あるいは海外の企業、及び外資系の企業などで活躍するなど、自己の能力及び適性をさらに伸ばすことのできる機会を提供することを目的としています。（通常は4年の在学を必要としますので、卒業要件単位数を満たしただけでは、早期卒業はできません。）

〔申請資格〕

早期卒業希望者は2年次修了時において、以下のすべての要件を満たしていること。

科目区分	令和3（2021）年度以前入学生	令和4（2022）年度以降入学生
基礎科目の必修科目	18単位	12単位
基礎科目英語集中教育の選択必修科目	－	10単位以上
基礎科目共通科目の選択必修科目	8単位以上	8単位以上
基礎科目の選択科目	28単位以上	28単位以上
専門科目	28単位以上	28単位以上
計	82単位以上	86単位以上

・GPA、TOEIC、TOEFL(iBT)のポイント・点数が以下のとおりであること。

GPA 3.5以上 ＋ TOEIC 800点以上 あるいは TOEFL(iBT)90点以上

・3年次よりゼミナールに所属すること。

・在学中、修学態度・人格とも優秀で他の模範となるもので、2名の専任教員より推薦され、推薦状

を得ていること(うち、1名は所属するゼミナール担当教員)。

・早期卒業の意志及び理由が明確であること。

〔資格審査〕

・希望者は3年次春学期(秋季入学生は秋学期)の履修登録期間内に教務課に申請書及び2名の専任教員からの推薦状を提出してください。

・審査(書類・面接)のうえ、申請資格の条件を満たしているかどうかを決定します。

〔卒業認定〕

卒業予定時に次の要件を満たした者について、早期卒業を認めます。

・3年または3年半在学して所定の科目を履修し、規定する卒業要件単位数以上を修得していること。

(休学した期間は在学期間に含まれません。従って、休学すると卒業が遅れることになります。)

・GPA、TOEIC、TOEFL(iBT)のポイント・点数が以下のとおりであること。

GPA 3.6以上、 TOEIC 850点以上 又は TOEFL(iBT)96点以上

10. TOEIC について

(1) 学内での TOEIC IP テスト受験

・春季入学生

学年	実施日(予定)				
	4月3日	7月15日	10月14日	12月2日	1月20日
1年生	◎	◎	○	○	◎
2年生	○	◎	○	○	◎
3年生	○	○	○	◎	○
4年生	○	○	○	◎	○

・秋季入学生

学年	実施日(予定)				
	10月14日	12月2日	1月20日	4月	7月
1年生	◎	○	◎	◎	◎
2年生	○	○	◎	○	◎
3年生	○	◎	○	○	○
4年生	○	◎	○	○	○

◎:必須受験。受験料は大学が負担します。

○:任意受験。1,500円の受験料がかかります。

(2) 公開テスト

公開テスト(年9回開催)の受験は学生の任意です。(受験料は個人負担)

公開テストのスコアも公式スコアとして扱います。取得した学生は Official Score Certificate(公式認定証)を教務課に届け出てください。登録スコアとなります。

公開テストの日程、試験の詳細については、公式 TOEIC サイトを参照してください。
https://www.iibc-global.org/info/important/imp_34.html

なお、単位の認定等にかかわる受験を行う場合は、その科目のシラバス(留意点)についてご確認ください。

11. 転学部

〔出願資格〕

転学部を志願できる者は、1・2年生となります。

〔出願手続〕

教務課で交付する「転学部願」及び必要書類に所定事項を記入し、11月末日までに教務課に提出してください。

〔転学部の時期〕

転学部の時期は4月1日となります。

☆転学部についての詳細は、教務課に問い合わせてください。

12. 教職課程

卒業時に教員の免許状を取得したい学生は、教職課程を履修して必要な単位を修得してください。

〔取得可能な免許状〕

中学校教諭一種免許状（英語）

高等学校教諭一種免許状（英語）

小学校教諭一種免許状　※

小学校教諭二種免許状　※

※星槎大学共生科学部との教育業務提携により、通信制課程において取得を目指すことができます。この課程を履修できるのは、2020年度以降入学生となり、「中学校教諭一種免許状　英語」「高等学校教諭一種免許状　英語」を取得することが必須条件となります。

☆教職課程履修を希望する学生は、必ず、説明会に参加してください。

☆教育実習費、介護等体験の費用などが別途かかります。また、教育実習及び介護等体験における交通費及び実習先でかかる必要経費は、自己負担となります。

Curriculum 2022年度以降入学生用

Level 科目群	Division 科目区分		Course Opening 開講有無	Course Title (Japanese) 科目名	Course Title (English) 科目名(英字)	Year 年次	Instructor 担当教員名	Semester 学期	Required 必修	Restricted Elective 選択必修	Elective 選択	Note 備考
Foundational Courses / 基礎教育科目	English Program / 英語集中教育科目(AEP)	Requirement / 1年次英語		Listening & Speaking (FYS) I	Listening & Speaking (FYS) I	1	See timetable	Spring	2			教職必修
				Listening & Speaking (FYS) I (Retake)	Listening & Speaking (FYS) I (Retake)	1＋	See timetable	Spring・Fall	2			
				Listening & Speaking (FYS) II	Listening & Speaking (FYS) II	1	See timetable	Fall	2			教職必修
				Listening & Speaking (FYS) II (Retake)	Listening & Speaking (FYS) II (Retake)	1＋	See timetable	Spring・Fall	2			
				Reading & Writing (FYS) I	Reading & Writing (FYS) I	1	See timetable	Spring	2			教職必修
				Reading & Writing (FYS) I (Retake)	Reading & Writing (FYS) I (Retake)	1＋	See timetable	Spring・Fall	2			
				Reading & Writing (FYS) II	Reading & Writing (FYS) II	1	See timetable	Fall	2			教職必修
				Reading & Writing (FYS) II (Retake)	Reading & Writing (FYS) II (Retake)	1＋	See timetable	Spring・Fall	2			
				資格試験対策演習 (TOEIC) I	Qualification Exam Preparation Exercise (TOEIC) I	1	See timetable	Spring	2			
				資格試験対策演習 (TOEIC) I (Retake)	Qualification Exam Preparation Exercise (TOEIC) I (Retake)	1＋	See timetable	Spring・Fall	2			
				資格試験対策演習 (TOEIC) II	Qualification Exam Preparation Exercise (TOEIC) II	1	See timetable	Fall	2			
				資格試験対策演習 (TOEIC) II (Retake)	Qualification Exam Preparation Exercise (TOEIC) II (Retake)	1＋	See timetable	Spring・Fall	2			
		Elective / 初・中・上級英語 学外(国外)実習科目		Academic Reading Skills	Academic Reading Skills	2	垂井	Spring・Fall		2		教職選択
				Academic Writing Skills	Academic Writing Skills	2	フラワーズ	Spring・Fall		2		教職選択
				Discover Asia (海外研修) I	Discover Asia (Training Abroad) I	1＋	李	Fall		2		
				Discover Asia (海外研修) II	Discover Asia (Training Abroad) II	1＋	李	Fall		2		
				Discover Asia (海外研修) III	Discover Asia (Training Abroad) III	1＋	李	Fall		2		
				Discover World (Study Abroad) I	Discover World (Study Abroad) I	1＋	李	Spring・Fall		2		教職選択
				Discover World (Study Abroad) II	Discover World (Study Abroad) II	1＋	李	Spring・Fall		2		教職選択
				Discover World (Study Abroad) III	Discover World (Study Abroad) III	1＋	李	Spring・Fall		2		
				Discover World (Study Abroad) IV	Discover World (Study Abroad) IV	1＋	李	Spring・Fall		2		
				Discover World (Study Abroad) V	Discover World (Study Abroad) V	1＋	李	Spring・Fall		2		
				Discover World (Study Abroad) VI	Discover World (Study Abroad) VI	1＋	李	Spring・Fall		4		教職選択
				Discover World (Study Abroad) VII	Discover World (Study Abroad) VII	1＋	李	Spring・Fall		4		
				Discover World (Study Abroad) VIII	Discover World (Study Abroad) VIII	1＋	李	Spring・Fall		4		
				English Discussion Skills	English Discussion Skills	2＋	垂井	Spring・Fall		2		
				English Presentation Skills	English Presentation Skills	2＋	フラワーズ	Spring・Fall		2		
				English Reading for Global Business I	English Reading for Global Business I	2＋	吉田	Spring		2		
				English Reading for Global Business II	English Reading for Global Business II	2＋	吉田	Fall		2		
				Intermediate Listening & Speaking I	Intermediate Listening & Speaking I	2＋	See timetable	Spring		1		
				Intermediate Listening & Speaking II	Intermediate Listening & Speaking II	2＋	See timetable	Fall		1		
				Intermediate Reading & Writing I	Intermediate Reading & Writing I	2＋	See timetable	Spring		1		
				Intermediate Reading & Writing II	Intermediate Reading & Writing II	2＋	See timetable	Fall		1		
			2024年度開講予定	Internship Abroad	Internship Abroad	3＋	―	―		4		
				Listening & Speaking III	Listening & Speaking III	2＋	See timetable	Spring		1		
				Listening & Speaking IV	Listening & Speaking IV	2＋	See timetable	Fall		1		
			2024年度開講予定	Listening & Speaking V	Listening & Speaking V	3＋	―	―		1		
			2024年度開講予定	Listening & Speaking VI	Listening & Speaking VI	3＋	―	―		1		
				Reading & Writing III	Reading & Writing III	2＋	See timetable	Spring		1		
				Reading & Writing IV	Reading & Writing IV	2＋	See timetable	Fall		1		
			2024年度開講予定	Reading & Writing V	Reading & Writing V	3＋	―	―		1		
			2024年度開講予定	Reading & Writing VI	Reading & Writing VI	3＋	―	―		1		
				TOEIC対策講座 (上級) I	TOEIC Preparation Course (Advanced) I	2＋	西井、大林	Spring・Fall		2		
				TOEIC対策講座 (上級) II	TOEIC Preparation Course (Advanced) II	2＋	西井	Fall		2		
				Travel and Tourism Workplace English I	Travel and Tourism Workplace English I	2＋	油木田	Spring		2		
				Travel and Tourism Workplace English II	Travel and Tourism Workplace English II	2＋	油木田	Fall		2		
				資格試験対策演習 (TOEIC) III	Qualification Exam Preparation Exercise (TOEIC) III	2＋	See timetable	Spring		1		
				資格試験対策演習 (TOEIC) IV	Qualification Exam Preparation Exercise (TOEIC) IV	2＋	See timetable	Fall		1		
				留学準備英語 (IELTS) I	Study Abroad Preparation English (IELTS) I	2＋	吉田	Spring		2		
				留学準備英語 (IELTS) II	Study Abroad Preparation English (IELTS) II	2＋	吉田	Fall		2		
				留学準備英語 (TOEFL) I	Study Abroad Preparation English (TOEFL) I	2＋	吉田	Spring		2		
				留学準備英語 (TOEFL) II	Study Abroad Preparation English (TOEFL) II	2＋	吉田	Fall		2		
	General Lectures / 共通科目	Core Lectures / コア		学長監修リレー講座 I	Relay Course Supervised by the President I	1＋	今村	Spring		2		
				学長監修リレー講座 II	Relay Course Supervised by the President II	1＋	今村	Fall		2		
				グローバリゼーション学入門	Introduction to Globalization Studies	1＋	クルナザロバ	Spring・Fall		2		
				環境保全入門	Introduction to Environmental Protection	1＋	橋詰	Spring・Fall		2		
				経済学入門	Introduction to Economics	1＋	渡邊(泰)、西井	Spring・Fall		2		
				国際理解入門	Introduction to Global Understanding	1＋	トマール	Spring・Fall		2		
				社会学入門	Introduction to Sociology	1＋	桐谷	Spring・Fall		2		
				情報科学入門	Introduction to Information Science	1＋	張	Spring・Fall		2		
				心理学入門	Introduction to Psychology	1＋	ジョイス	Spring・Fall		2		
				哲学入門	Introduction to Philosophy	1＋	立田	Spring・Fall		2		
				日本学入門	Japanese Culture and Society	1＋	太田	Spring・Fall		2		
				文化人類学入門	Introduction to Anthropology	1＋	杉下	Spring・Fall		2		

Curriculum 2022年度以降入学生用

Level 科目群	Division 科目区分		Course Opening 開講有無	Course Title (Japanese) 科目名	Course Title (English) 科目名(英字)	Year 年次	Instructor 担当教員名	Semester 学期	Required 必修	Restricted Elective 選択必修	Elective 選択	Note 備考
Foundational Courses / 基礎教育科目	General Lecture / 共通科目	General Elective / 一般（学外(国内)実習科目、キャリア科目含む）		Discover Japan (地域研修) I	Discover Japan (Regional Training) I	1＋	今村	Fall			2	
			非開講	Discover Japan (地域研修) II	Discover Japan (Regional Training) II	1＋	―	―			2	
			非開講	Discover Japan (地域研修) III	Discover Japan (Regional Training) III	1＋	―	―			2	
			非開講	Discover 藤沢・湘南 I	Discover Fujisawa Shonan I	1＋	―	―			2	
				Discover 藤沢・湘南 II	Discover Fujisawa Shonan II	1＋	今村	Fall			2	
			非開講	Discover 藤沢・湘南 III	Discover Fujisawa Shonan III	2＋	―	―			2	
			非開講	Discover 藤沢・湘南 IV	Discover Fujisawa Shonan IV	2＋	―	―			2	
				ヴィジュアルコミュニケーション入門	Introduction to Visual Communication	2＋	ヴァンデルヴェーレ	Fall			4	
				韓国語 I	Korean I	1＋	朴	Spring			2	
				韓国語 II	Korean II	1＋	朴	Fall			2	
			2024年度開講予定	記号論	Semiotics	3＋	―	―			4	
				キャリア・アプローチ	Career Approach	1	キャリア支援課	Fall			2	
				キャリア開発論	Career Development Theory	1＋	竹内	Spring・Fall			4	
				教育心理学	Educational Psychology	1＋	竹内	Fall			2	教職必修
				グローバル・ヒストリー	Global History	1＋	ポリシュチュク	Fall			4	
				グローバルスタディーズのための数学入門	Introduction to Mathmatics for Global Studies	1	数学検定協会	Spring			2	
				経営学入門	Introduction to Management	1＋	芦田	Spring			4	
				国際関係論入門	International Relations	1＋	クルナザロバ	Spring			4	
				国内インターンシップ概論	Introduction to Domestic Internship	2, 3	中澤(文)	Spring・Fall			2	
				国内インターンシップ実習	Domestic Internship Training	2, 3	中澤(文)	Spring・Fall			2	
				こころの科学	Science of Mind	1＋	新屋	Fall			2	
				コンピューター入門	Introduction to Computers	1	浅原	Spring			2	教職必修
				ジェンダー論	Gender Studies	2＋	レイ	Spring			4	
				社会調査入門	Introduction to Social Research	1＋	桐谷	Spring・Fall			2	
				湘南の文学	Shonan Literature	1＋	中澤(弥)	Fall			4	
				消費社会と日本の大衆文化	Japanese Society through	2＋	太田	Fall			4	
				心理学の方法	Psychology Method	2＋	ジョイス	Spring			4	
			2024年度開講予定	進路のための学力アップ講座	Academic Progress For Career	3＋	―	―			2	
				スペイン語 I	Spanish I	1＋	別所	Spring			2	
				スペイン語 II	Spanish II	1＋	別所	Fall			2	
				体育	Physical Education	1＋	TBA	Spring・Fall			2	教職必修
				中国語 I	Chinese I	1＋	呉	Spring			2	
				中国語 II	Chinese II	1＋	呉	Fall			2	
				中国思想史	History of Chinese Thought	2＋	ホノベ	Spring・Fall			2	
				中国文学	Chinese Literature	1＋	ホノベ	Spring			4	
				統計学入門	Introduction to Statistics	1＋	渡邊(泰)	Spring			4	
				日本近現代史	Modern Japanese History	2＋	藤田	Spring			4	
				日本語初級	Japanese Language beginners Course	1＋	北内	Fall			2	
				日本語中級	Japanese Language Intermediate Course	1＋	水口	Spring・Fall			2	
				日本語上級	Japanese Language Upper Course	1＋	北内	Fall			2	
				日本語文章表現法	Japanese Sentence Expression	1	See timetable	Spring			2	
				日本の法律	Japanese Law	1＋	久保田	Spring・Fall			4	教職必修
				日本の歴史	Japanese History	1＋	藤田	Spring・Fall			4	
				日本文学	Japanese Literature	1＋	渡邊(浩)	Spring			4	
				認知心理学	Congnitive Psychology	2＋	ジョイス	Spring			4	
				文化心理学	Cultural Psychology	1＋	ジョイス	Fall			4	
				簿記	Bookkeeping	2＋	加藤(恒)、林	Spring・Fall			4	
			2024年度開講予定	ポストモダニズムと社会	Postmodernism and Society	3＋	―	―			4	
				メディア学入門	Introduction to Media Studies	2＋	大重	Spring・Fall			2	
Major Related Courses / 専門教育科目	Hospitality Management / ホスピタリティ・マネジメント		2024年度開講予定	異文化間コミュニケーション論	Cross-cultural Communication Theory	3＋	―	―			4	教職選択
				おもてなし外国語：英語	Hospitality Foreign Language：English	2＋	今村	Spring・Fall			2	
				おもてなし外国語：韓国語	Hospitality Foreign Language：Korean	2＋	朴	Fall			2	
				おもてなし外国語：中国語	Hospitality Foreign Language：Chinese	2＋	呉	Spring・Fall			2	
				観光学概論 I	Introduction to Tourism I	2＋	李、田中(孝)、韓、堂下	Spring			2	
				観光学概論 II	Introduction to Tourism II	2＋	李、田中(孝)、韓、堂下	Fall			2	
				観光サービス高度マネジメント I	Tourism Service Advanced Management I	2＋	今村	Spring			2	
				観光サービス高度マネジメント II	Tourism Service Advanced Management II	2＋	今村	Fall			2	
				観光とICT	Tourism and ICT	2＋	未定	Fall			4	

Curriculum 2022年度以降入学生用

Level 科目群	Division 科目区分	Course Opening 開講有無	Course Title (Japanese) 科目名	Course Title (English) 科目名(英字)	Year 年次	Instructor 担当教員名	Semester 学期	Required 必修	Restricted Elective 選択必修	Elective 選択	Note 備考
Major Related Courses / 専門教育科目	Hospitality Management / ホスピタリティ・マネジメント	2024年度開講予定	観光とアート	Tourism and Art	3+	—	—			4	
			観光とウェルネス	Tourism and Wellness	2+	韓	Spring・Fall			4	
			観光と多様性	Tourism and Diversity	2+	田中(孝)	Spring・Fall			4	
			観光と地域マネジメント	Tourism and Community Management	2+	李	Spring・Fall			4	
			観光と地域リソース	Tourism and Local Resources	2+	堂下	Spring			4	
		2024年度開講予定	観光と文化	Tourism and Culture	3+	—	—			4	
		2024年度開講予定	観光の新たな指標	New Indicators of Tourism	3+	—	—			2	
			業界入門：医療・福祉	Introduction to Industry：Medical・Welfare	2+	石川	Spring・Fall			2	
			業界入門：飲食・宿泊	Introduction to Industry：Food and Beverage・Accommodation	2+	山下(由)	Spring・Fall			2	
			業界入門：おもてなしマナー	Introduction to Industry：Hospitality Manners	2+	奥村	Spring・Fall			2	
			業界入門：航空	Introduction to Industry：Aviation	2+	森	Spring・Fall			2	
			業界入門：美容・健康	Introduction to Industry：Beauty・Health	2+	山下(美)	Spring・Fall			2	
			業界入門：旅行	Introduction to Industry：Travel	2+	藤本	Spring・Fall			2	
		2024年度開講予定	グローバル社会とアフリカ	Global Society and Africa	3+	—	—			4	
		2024年度開講予定	グローバル社会とEU	Global Community and EU	3+	—	—			4	
			グローバル社会とイギリス	Global Society and Great Britain	2+	木村(真)	Spring・Fall			4	教職必修
			グローバル社会とオセアニア	Global Society and Oceania	2+	マックフェイル	Spring・Fall			4	教職選択
			グローバル社会と韓国	Global Society and South Korea	2+	韓	Spring・Fall			4	
			グローバル社会と現代中国	Global Society and Modern China	2+	李	Spring			4	
			グローバル社会と中華圏	Global Society and Greater China	2+	田中(孝)	Spring・Fall			4	
		2024年度開講予定	グローバル社会と中東	Global Society and Middle East	3+	—	—			4	
		2024年度開講予定	グローバル社会と中南米	Global Society and Latin America	3+	—	—			4	
			グローバル社会と東南アジア	Global Society and Southeast Asia	2+	加藤(久)	Fall			4	
			グローバル社会と日本	Global Society and Japan	2+	堂下	Spring・Fall			4	
			グローバル社会と北米	Global Society and North America	2+	深松	Spring・Fall			4	教職必修
		2024年度開講予定	グローバル社会と南アジア	Global Society and South Asia	3+	—	—			4	
		2024年度開講予定	コミュニケーション	Communication	3+	—	—			4	
			世界遺産Ⅰ	World Heritage Ⅰ	2+	鈴木	Spring・Fall			2	
			世界遺産Ⅱ	World Heritage Ⅱ	2+	鈴木	Spring・Fall			2	
		2024年度開講予定	世界の宗教	World Religions	3+	—	—			4	
			調査法入門：質的	Introduction to Suvey Methods：Qualitative	2+	堂下	Fall			4	
		2024年度開講予定	通訳概論	Introduction to Interpretation	3+	—	—			4	
			日本の多様性	Diversity of Japan	2+	杉下	Fall			4	
			日本の文化・精神性	Japanese Culture・Spirituality	2+	雨宮	Spring			4	
			藤沢とヘリテージ	Fujisawa and Heritage	2+	藤田	Spring・Fall			2	
			文化実践：いけばな	Cultural Practice：Ikebana	2+	長田	Spring・Fall			2	
			ホスピタリティ・マネジメント特別講義Ⅰ：広島	Special Lectures for Hospitality Management Ⅱ：Nagasaki	2+	桐谷	Spring			2	
			ホスピタリティ・マネジメント特別講義Ⅱ：長崎	Special Lectures for Hospitality Management Ⅰ：Hiroshima	2+	桐谷	Fall			2	
		2024年度開講予定	翻訳概論	Introduction to Translation	3+	—	—			4	
Major Related Courses / 専門教育科目	International Studies / 国際教養	2024年度開講予定	意味論・語用論	Semantics and Pragmatics	3+	—	—			2	教職選択
			英語学Ⅰ	English Linguistics Ⅰ	2+	山田(大)	Spring			4	教職必修
			英語学Ⅱ	English Linguistics Ⅱ	2+	山田(大)	Fall			4	教職必修
			英文会計基礎	Fundamental Accounting in English	2+	ホノベ	Spring			4	
			英米文学Ⅰ	English and American Literature Ⅰ	2+	田中(ち)	Spring			4	教職必修
			英米文学Ⅱ	English and American Literature Ⅱ	2+	田中(ち)	Fall			4	教職必修
		2024年度開講予定	英米文学演習	Exercise of English and American Literature	3+	—	—			2	教職選択
			AI・ゲーム・デジタル産業	AI,Game and Digital Industry	2+	張	Spring			4	
			環境政策	Environment Policy	2+	橋詰	Spring			4	
			業界入門：IT・通信	Introduction to Industry：IT・Communication	2+	TBA	Spring・Fall			2	
			業界入門：地元産業・金融	Introduction to Industry：Local industry・Finance	2+	袖山	Spring・Fall			2	
			業界入門：物流・B to B	Introduction to Industry：Logistics・B to B	2+	木村(富)	Spring・Fall			2	
			金融論	Theory of Finance	2+	ホノベ	Spring			4	
			グラフィックス・Webデザイン	Graphics and Web Design	2+	菊池(司)	Fall			4	
			グローバル化と消費文化	Globalization and Consumer Culture	2+	太田	Spring			4	
		2024年度開講予定	経営戦略論	Strategic Management	3+	—	—			4	
			言語心理学	Psycholinguistics	2+	ジョイス	Fall			4	
		2024年度開講予定	国際会計論	International Accounting	3+	—	—			4	
			国際関係論	International Relations Theory	2+	クルナザロバ	Fall			4	
		非開講	国際教養コース概要講座	Outline Course for International Studies	2+	—	—			2	
			国際教養特別講義Ⅰ：SDGsと開発学	Special Lectures for International Studies Ⅰ：SDGs and Development Studies	2+	橋詰	Fall			2	
			国際教養特別講義Ⅳ：SDGsと企業	Special Lectures for International Studies Ⅳ：SDGs and Companies	2+	石田	Spring			2	

Curriculum 2022年度以降入学生用

Level 科目群	Division 科目区分	Course Opening 開講有無	Course Title (Japanese) 科目名	Course Title (English) 科目名(英字)	Year 年次	Instructor 担当教員名	Semester 学期	Required 必修	Restricted Elective 選択必修	Elective 選択	Note 備考
Major Related Courses / 専門教育科目	International Studies / 国際教養		国際教養特別講義Ⅱ:ジャーナリズムと社会	Special Lectures for International Studies Ⅱ: Journalism and Society	2+	未定	Fall			2	
			国際教養特別講義Ⅲ:ファッションビジネス論	Special Lectures for International Studies Ⅲ: Fashion Business Theory	2+	TBA	Fall			2	
		2024年度開講予定	国際協力	International Cooperation	3+	—	—			4	
		2024年度開講予定	国際経営論	International Management	3+	—	—			4	
			国際経済学	International Economics	2+	渡邊(泰)	Spring・Fall			4	
			国際社会と人権	International Society and Human Rights	2+	クルナザロバ	Spring			4	
			国際政治学	International Politics	2+	新美	Spring・Fall			4	
		非開講	国際法と国際機関	International Law and Organizations	2+	—	—			—	
		2024年度開講予定	資源と環境	Resource and Environment	3+	—	—			—	
		2024年度開講予定	社会言語学	Sociolinguistics	3+	—	—			2	教職選択
			情報処理Ⅰ	Information Processing Ⅰ	2+	張、浅原	Spring・Fall			4	
			情報処理Ⅱ	Information Processing Ⅱ	2+	張、浅原	Spring・Fall			4	
		2024年度開講予定	世界の時事問題	World Current Affairs	3+	—	—			4	
		2024年度開講予定	多文化共生論	Multiculturalism	3+	—	—			4	
			調査法入門:量的	Introduction to Suvey Methods: Quantitative	2+	渡邊(泰)	Fall			4	
			日本語(文法)	Japanese Grammar	2+	北	Fall			2	
			日本語学(音声・音韻)	Japanese Linguistics (Voice・Phoneme)	2+	北	Spring			2	
			日本語学概論	Introduction to Japanese Linguistics Studies	2+	北	Spring			2	
		2024年度開講予定	日本語教育事情	Japanese Language Education Situation	3+	—	—			2	
			日本語史概論	Introduction to Japanese History	2+	北	Fall			2	
		2024年度開講予定	マーケティング論	Theory of Marketing	3+	—	—			4	
			マクロ経済学	Macroeconomics	2+	西井	Spring			4	
			ミクロ経済学	Microeconomics	2+	渡邊(泰)	Spring			4	
		2024年度開講予定	リーダーシップ論	Leadership	3+	—	—			4	
		2024年度開講予定	若者文化と日本	Youth Culture and Japan	3+	—	—			4	
	Seminar / ゼミナール科目		CHPチュートリアルⅠ	CHP Tutorial Ⅰ	1+	新美、太田、堂下、山田(大)	Fall			2	
			CHPチュートリアルⅡ	CHP Tutorial Ⅱ	2+	新美、太田、堂下、山田(大)	Spring			2	
			CHPチュートリアルⅢ	CHP Tutorial Ⅲ	2+	新美、太田、堂下、山田(大)	Fall			2	
			Introduction to SGS	Introduction to SGS	1	今村	Fall			2	
			インターゼミⅠ	Inter Seminars Ⅰ	1+	今村、横谷、山田(知)	Fall			2	
			インターゼミⅡ	Inter Seminars Ⅱ	2+	今村、横谷、山田(知)	Spring			2	
			インターゼミⅢ	Inter Seminars Ⅲ	2+	今村、横谷、山田(知)	Fall			2	
		2024年度開講予定	インターゼミⅣ	Inter Seminars Ⅳ	3+	—	—			2	
		2024年度開講予定	インターゼミⅤ	Inter Seminars Ⅴ	3+	—	—			2	
		2025年度開講予定	インターゼミⅥ	Inter Seminars Ⅵ	4	—	—			2	
		2025年度開講予定	インターゼミⅦ	Inter Seminars Ⅶ	4	—	—			2	
		2024年度開講予定	教員力向上講座Ⅰ	Teacher Skill Improvement Course Ⅰ	3+	—	—			2	
		2024年度開講予定	教員力向上講座Ⅱ	Teacher Skill Improvement Course Ⅱ	3+	—	—			2	
		2025年度開講予定	教員力向上講座Ⅲ	Teacher Skill Improvement Course Ⅲ	4	—	—			2	
		2025年度開講予定	卒業論文	Graduation Thesis	4	—	—			4	
			プレゼミⅠ	Pre-Seminar Ⅰ	1	See timetable	Spring			2	
			プレゼミⅡ	Pre-Seminar Ⅱ	1	See timetable	Fall			2	
		2024年度開講予定	ホームゼミⅠ	Seminar Ⅰ	3	—	—			2	
		2024年度開講予定	ホームゼミⅡ	Seminar Ⅱ	3	—	—			2	
		2025年度開講予定	ホームゼミⅢ	Seminar Ⅲ	4	—	—			2	
		2025年度開講予定	ホームゼミⅣ	Seminar Ⅳ	4	—	—			2	
	Teacher's License Program / 教職課程科目	2024年度開講予定	英語科教育法Ⅰ	Teaching Method on English Education Ⅰ	3+	—	—			4	卒業要件外
		2024年度開講予定	英語科教育法Ⅱ	Teaching Method on English Education Ⅱ	3+	—	—			4	卒業要件外
		2024年度開講予定	介護等体験実習事前事後指導	The pre/post guidance for experience training	3+	—	—			1	卒業要件外
			教育課程総論	Curriculum	2+	菊池(弘)	Spring			2	卒業要件外
			教育原理	Educational Principle	1+	山田(知)	Fall			2	卒業要件外
		2025年度開講予定	教育実習Ⅰ	Student Teaching Ⅰ	4	—	—			3	卒業要件外
		2025年度開講予定	教育実習Ⅱ	Student Teaching Ⅱ	4	—	—			2	卒業要件外
			教育制度論	Educational System	2+	山田(知)	Fall			2	卒業要件外
		2024年度開講予定	教育相談	Educational Counseling	3+	—	—			2	卒業要件外
			教育方法(ICTを活用した教育の理論及び方法含む)	Teaching Method Including the Information and Communication Technology	2+	竹内	Spring			2	卒業要件外
			教職概論	Teaching Profession	1+	山田(知)	Spring			2	卒業要件外
		2025年度開講予定	教職実践演習(中・高)	Teaching Practice (junior high school / high school)	4	—	—			2	卒業要件外
			生徒指導・進路指導論	Student Direction	1+	山田(知)	Fall			2	卒業要件外
		2024年度開講予定	総合的な学習の時間の指導法	Teaching Method on Periods of Integrated Studies	3+	—	—			1	卒業要件外
		2024年度開講予定	道徳教育論	Study of Ethics Education	3+	—	—			2	卒業要件外
			特別活動	Extracurricular activity	2+	関根	Spring			2	卒業要件外
		2024年度開講予定	特別支援	Special Needs Education	3+	—	—			2	卒業要件外
	Japanese Teacher Certification / 日本語教員養成課程科目	2025年度開講予定	日本語教育実習	Student Teaching of Japanese Language	4	—	—			2	
		2025年度開講予定	日本語教育実習指導Ⅰ	Guidance for Student Teaching of Japanese Language Ⅰ	4	—	—			2	
		2025年度開講予定	日本語教育実習指導Ⅱ	Guidance for Student Teaching of Japanese Language Ⅱ	4	—	—			2	
		2024年度開講予定	日本語教育法	Teaching Method on Japanese Education	3+	—	—			2	

Curriculum 2021年度以前入学生用

Level 科目群	Division 科目区分		Course Opening 開講有無	Course Title (Japanese) 科目名	Course Title (English) 科目名(英字)	Year 年次	Instructor 担当教員名	Semester 学期	Required 必修	Restricted Elective 選択必修	Elective 選択	Note 備考
Foundational Courses / 基礎教育科目	English Program / 語学			Grammar and Writing I (Retake)	Grammar and Writing I (Retake)	1+	See timetable	Spring・Fall	2			
				Grammar and Writing II (Retake)	Grammar and Writing II (Retake)	1+	See timetable	Spring・Fall	2			
				Listening and Pronunciation I (Retake)	Listening and Pronunciation I (Retake)	1+	See timetable	Spring・Fall	2			
				Listening and Pronunciation II (Retake)	Listening and Pronunciation II (Retake)	1+	See timetable	Spring・Fall	2			教職必修
				Reading I (Retake)	Reading I (Retake)	1+	See timetable	Spring・Fall	2			
				Reading II (Retake)	Reading II (Retake)	1+	See timetable	Spring・Fall	2			教職必修
				Speaking I (Retake)	Speaking I (Retake)	1+	See timetable	Spring・Fall	2			教職必修
				Speaking II (Retake)	Speaking II (Retake)	1+	See timetable	Spring・Fall	2			教職必修
				TOEIC演習	TOEIC Preparation	2+	See timetable	Spring・Fall	2			
	General Lectures / 共通科目	Core / 選択必修		グローバルスタディーズ入門	Introduction to Globalization Studies	1+	クルナザロバ	Spring・Fall		2		
				環境保全入門	Introduction to Environmental Protection	1+	橋詰	Spring・Fall		2		
				経済学入門	Introduction to Economics	1+	渡邊(泰)、西井	Spring・Fall		2		
				国際理解入門	Introduction to Global Understanding	1+	トマール	Spring・Fall		2		
				情報化社会とグローバル化	Introduction to Globalization Studies	1+	張	Spring・Fall		2		
				心理学入門	Introduction to Psychology	1+	ジョイス	Spring・Fall		2		
				哲学入門	Introduction to Philosophy	1+	立田	Spring・Fall		2		
				日本学入門	Japanese Culture and Society	1+	太田	Spring・Fall		2		
			非開講	文化グローバリゼーション入門	Introduction to Cultural Globalization	1+	ー	ー		2		非開講
				文化人類学入門	Introduction to Anthropology	1+	杉下	Spring・Fall		2		
				メディア学入門	Introduction to Media Studies	1+	大重	Spring・Fall		2		
		Advanced English / 上級英語		Business Communication in English I	Business Communication in English I	2+	イングリッシュ	Spring			4	
				Business Communication in English II	Business Communication in English II	2+	イングリッシュ	Fall			4	
				Communicative English for Global Citizenship I	Communicative English for Global Citizenship I	2+	ケニー	Spring			4	
				Communicative English for Global Citizenship II	Communicative English for Global Citizenship II	2+	ケニー	Fall			4	
			非開講	English Media and Culture I	English Media and Culture I	2+	ー	ー			ー	非開講
			非開講	English Media and Culture II	English Media and Culture II	2+	ー	ー			ー	非開講
				Global Issues: Wealth and Poverty I	Global Issues: Wealth and Poverty I	2+	イングリッシュ	Spring			4	教職選択
				Global Issues: Wealth and Poverty II	Global Issues: Wealth and Poverty II	2+	イングリッシュ	Fall			4	教職選択
				Studies in Environmentalism I	Studies In Environmentalism I	2+	橋詰	Spring			4	
				Studies in Environmentalism II	Studies In Environmentalism II	2+	橋詰	Fall			4	
			非開講	Studies in Global Events: World-views & Policy I	Studies in Global Events: World-views and Policy I	2+	ー	ー			ー	非開講
			非開講	Studies in Global Events: World-views & Policy II	Studies in Global Events: World-views and Policy II	2+	ー	ー			ー	非開講
			非開講	Volunteerism: A Historical Survey of NGOs I	Volunteerism: A Historical Survey of NGOs I	2+	ー	ー			ー	非開講
			非開講	Volunteerism: A Historical Survey of NGOs II	Volunteerism: A Historical Survey of NGOs II	2+	ー	ー			ー	非開講
				英語試験対策講座 I	Test Preparation I	2+	西井、大林	Spring・Fall			2	
				英語試験対策講座 II	Test Preparation II	2+	西井	Fall			2	
			非開講	英語試験対策講座 III	Test Preparation III	2+	ー	ー			ー	非開講
		Study Abroad / 留学科目		Internship Abroad	Internship Abroad	3+	太田	Spring・Fall			4	
				Study Abroad I – V	Study Abroad I – V	1+	李	Spring・Fall			2	教職選択
				Study Abroad VI – VIII	Study Abroad VI – VIII	1+	李	Spring・Fall			4	
		General Elective / 共通一般		ヴィジュアルコミュニケーション入門	Introduction to Visual Communication	2+	ヴァンデルヴェーレ	Fall			ー	
			非開講	英語学基礎	English Linguistics Basic	1+	ー	ー			ー	非開講
				英文会計基礎	Fundamental Accounting in English	2+	ホノベ	Spring			4	
			非開講	科学の歴史	History of Science	1+	ー	ー			ー	非開講
			非開講	学習心理学	Psychology of Learning	1+	ー	ー			ー	非開講
			非開講	記号論入門	Introduction to Semiotics	2+	ー	ー			ー	非開講
				キャリア形成論	Career Development Theory	1+	竹内	Spring			4	
				教育心理学	Educational Psychology	1+	竹内	Fall			2	教職必修
			非開講	共通科目特別講義 I	Special Lectures for Foundational Courses I	1+	ー	ー			ー	非開講
				共通科目特別講義 II	Special Lectures for Foundational Courses II	2+	マリノフ	Spring			4	グローバル企業とキャリアデザイン
			非開講	共通科目特別講義 III	Special Lectures for Foundational Courses III	1+	ー	ー			ー	非開講
			非開講	共通科目特別講義 IV	Special Lectures for Foundational Courses IV	1+	ー	ー			ー	非開講
			非開講	共通科目特別講義 V	Special Lectures for Foundational Courses V	1+	ー	ー			ー	非開講

Curriculum 2021年度以前入学生用

Level 科目群	Division 科目区分		Course Opening 開講有無	Course Title (Japanese) 科目名	Course Title (English) 科目名(英字)	Year 年次	Instructor 担当教員名	Semester 学期	Required 必修	Restricted Elective 選択必修	Elective 選択	Note 備考
Foundational Courses / 基礎教育科目	General Lectures / 共通科目	General Elective / 共通一般	非開講	共通科目特別講義 VI	Special Lectures for Foundational Course VI	1+	—	—			—	非開講
			非開講	共通科目特別講義 VII	Special Lectures for Foundational Course VII	1+	—	—			—	非開講
				共通科目特別講義 VIII	Special Lectures for Foundational Course VIII	3	キャリア支援課	Fall			2	進路のための学力アップ講座
			非開講	共通科目特別講義 IX	Special Lectures for General Courses IX	1+	—	—			—	非開講
				グローバルスタディーズのための数学入門	Introduction to Mathmatics for Global Studies	1	数学検定協会	Spring・Fall			2	
				グローバル・ヒストリー	Global History	1+	ポリシュチュク	Fall			4	
				経営学入門	Introduction to Management	1+	芦田	Spring			4	
				国際関係論入門	International Relations	1+	クルナザロバ	Spring			4	
				国内インターンシップ概論	Introduction to Domestic Internship	2, 3	中澤(文)	Spring・Fall			2	
				国内インターンシップ実習 I	Domestic Internship: Practice I	2, 3	中澤(文)	Spring・Fall			2	
			非開講	国内インターンシップ実習 II	Domestic Internship: Practice II	2, 3	—	—			—	非開講
				こころの科学	Science of Mind	1+	新屋	Fall			2	
				コンピューター入門	Introduction to Computers	1	—	—			—	教職必修
				ジェンダー論	Gender Studies	2+	レイ	Spring			4	
			非開講	社会科学のための統計学	Social Science Statistics	2+	—	—			—	
				湘南の文学	Shonan Literature	1+	中澤(弥)	Fall			4	
			非開講	職業理解とキャリア	Career Design	1+	—	—			—	非開講
				体育	Physical Education	1+	TBA	Spring・Fall			2	教職必修
				中国文学	Chinese Literature	1+	ホノベ	Fall			4	
				統計学入門	Introduction to Statistics	1+	渡邊(泰)	Spring			4	
				日本語文章表現法	Japanese Sentence Expression	1	—	—			—	非開講
				日本の法律	Japanese Law	1+	久保田	Spring・Fall			4	教職必修
				日本文学	Japanese Literature	1+	渡邊(浩)	Spring			4	
				日本の歴史	Japanese History	1+	藤田	Spring・Fall			4	
				文化心理学	Cultural Psychology	1+	ジョイス	Fall			4	
		Foreign Language / 外国語		韓国語 I	Korean I	1+	朴	Spring			2	
				韓国語 II	Korean II	1+	朴	Fall			2	
				スペイン語 I	Spanish I	1+	別所	Spring			2	
				スペイン語 II	Spanish II	1+	別所	Fall			2	
				中国語 I	Chinese I	1+	呉	Spring			2	
				中国語 II	Chinese II	1+	呉	Fall			2	
			非開講	中国語 III	Chinese III	1+	—	—			—	非開講
		Japanese / 日本語科目		日本語初級	Japanese Language beginners Course	1+	北内	Fall			2	
				日本語中級	Japanese Language Intermediate Course	1+	水口	Spring・Fall			2	
				日本語上級	Japanese Language Upper Course	1+	北内	Fall			2	
Major Related Courses / 専門教育科目	Hospitality Management / ホスピタリティ・マネジメント			Travel and Tourism Workplace English I	Travel and Tourism Workplace English I	2+	油木田	Spring			2	教職選択
				Travel and Tourism Workplace English II	Travel and Tourism Workplace English II	2+	油木田	Fall			2	教職選択
				アジアの宗教	Religions in Asia	3+	立田	Fall			4	
				癒しの文化論	Healing and Culture	2+	韓	Spring・Fall			4	
			非開講	観光 I	Tourism I	2+	—	—			—	非開講
			非開講	観光 II	Tourism II	2+	—	—			—	非開講
				観光 III	Tourism III	3+	田中(孝)	Spring			4	
				観光 IV	Tourism IV	3+	堂下	Spring			4	
				キリスト教の世界観	Christian Views on the World	2+	岩嵜	Spring・Fall			4	
				言語心理学	Psycholinguistics	2+	ジョイス	Fall			4	
				現代観光研究 I	Current Issues in Tourism I	2+	今村	Fall			2	
			非開講	現代観光研究 II	Current Issues in Tourism II	2+	—	—			—	非開講
				コミュニケーション	Communication	3+	萩原	Spring・Fall			4	
				仕事と若者論	Japanese Work Environment and Young People	3+	太田	Spring			4	
				質的調査方法論	Qualitative Research Methods	2+	堂下	Fall			4	
				消費社会と日本の大衆文化	Japanese Society through Its Popular Culture	3+	太田	Fall			4	
				消費主義の比較文化論	Consumption in Cross-cultural Perspective	3+	太田	Spring			—	
			非開講	身体とアイデンティティ	Body and Identity	2+	—	—			—	非開講

Curriculum 2021年度以前入学生用

Level 科目群	Division 科目区分	Course Opening 開講有無	Course Title (Japanese) 科目名	Course Title (English) 科目名(英字)	Year 年次	Instructor 担当教員名	Semester 学期	Required 必修	Restricted Elective 選択必修	Elective 選択	Note 備考
Major Related Courses / 専門教育科目	Hospitality Management / ホスピタリティ・マネジメント		地球社会とアジア I	Global Community and Asia I	2+	田中(孝)	Spring・Fall			4	
			地球社会とアジア II	Global Community and Asia II	2+	韓	Spring・Fall			4	
			地球社会とアジア III	Global Community and Asia III	3+	太田	Fall			4	
			地球社会とアフリカ I	Global Community and Africa I	3+	杉下	Spring			4	
		非開講	地球社会とアフリカ II	Global Community and Africa II	3+	—	—			—	非開講
			地球社会とアメリカ	Global Community and America	2+	深松	Spring・Fall			4	教職必修
			地球社会とオーストラリア	Global Community and Australia	2+	マックフェイル	Spring・Fall			4	教職必修
			地球社会と中東	Global Community and Middle East	2+	佐藤	Spring			4	
			地球社会と日本	Global Community and Japan	2+	堂下	Spring・Fall			4	
			地球社会とヨーロッパ I	Global Community and Europe I	2+	木村(真)	Spring・Fall			4	
			地球社会とヨーロッパ II	Global Community and Europe II	3+	木村(真)	Spring・Fall			4	
			通訳概論	Introduction to Interpretation	2+	小松原	Fall			4	
			日本人と他者	Japanese and Others	3+	杉下	Fall			4	
			日本の宗教	Religions in Japan	3+	雨宮	Spring			4	
			認知心理学	Congnitive Psychology	2+	ジョイス	Spring			4	
			美術論	Theory of Arts	3+	深松	Spring			4	
			ホスピタリティ・マネジメント I	Hospitality Management I	2+	奥村	Spring・Fall			2	業界入門:おもてなしマナー
			ホスピタリティ・マネジメント II	Hospitality Management II	2+	藤本	Spring・Fall			2	業界入門:旅行
			ホスピタリティ・マネジメント III	Hospitality Management III	2+	森	Spring・Fall			2	業界入門:航空
			ホスピタリティ・マネジメント IV	Hospitality Management IV	2+	山下(由)	Spring・Fall			2	業界入門:飲食・宿泊
			ホスピタリティ・マネジメント特別講義 I	Special Lectures for Hospitality Management I	2+	李	Spring・Fall			4	観光と地域マネジメント
		非開講	ホスピタリティ・マネジメント特別講義 II	Special Lectures for Hospitality Management II	2+	—	—			—	非開講
			ホスピタリティ・マネジメント特別講義 III	Special Lectures for Hospitality Management III	2+	今村	Spring・Fall			2	おもてなし外国語:英語
		非開講	ホスピタリティ・マネジメント特別講義 IV	Special Lectures for Hospitality Management IV	2+	—	—			—	非開講
			ホスピタリティ・マネジメント特別講義 V	Special Lectures for Hospitality Management V	2+	鈴木	Spring・Fall			2	世界遺産 I
			ホスピタリティ・マネジメント特別講義 VI	Special Lectures for Hospitality Management VI	2+	鈴木	Spring・Fall			2	世界遺産 II
			ホスピタリティ・マネジメント特別講義 VII	Special Lectures for Hospitality Management VII	2+	桐谷	Spring			2	ホスピタリティ・マネジメント特別講義 I:広島
			ホスピタリティ・マネジメント特別講義 VIII	Special Lectures for Hospitality Management VIII	2+	桐谷	Fall			2	ホスピタリティ・マネジメント特別講義 II:長崎
		非開講	ホスピタリティ・マネジメント特別講義 IX	Special Lectures for Hospitality Management IX	2+	—	—			—	非開講
			翻訳概論	Introduction to Translation	2+	小松原	Spring			4	
Major Related Courses / 専門教育科目	International Studies / 国際教養		Webデザイン	Web Design	2+	菊池(司)	Fall			4	
		非開講	アフリカの時事問題	Current Issues in Africa	3+	—	—			—	非開講
			英語学 I	English Linguistics I	2+	山田(大)	Spring			4	教職必修
			英語学 II	English Linguistics II	2+	山田(大)	Fall			4	教職必修
			英米文学 I	English and American Literature I	2+	田中(ち)	Spring			4	教職必修
			英米文学 II	English and American Literature II	2+	田中(ち)	Fall			4	教職必修
			エネルギーと環境	Energy and Environment	3+	橋詰	Fall			4	
			環境政策	Environment Policy	2+	橋詰	Spring			4	
			金融論	Theory of Finance	2+	ホノペ	Spring			4	
		未定	経営戦略論	Strategic Management	3+	TBA	Fall			4	未定
			国際会計論	International Accounting	2+	ホノペ	Fall			4	
		非開講	国際関係論:中央アジア	International Relations of Central Asia	2+	—	—			—	非開講
			国際関係論:南・東南アジア	International Relations of South/ Southeast Asia	2+	クルナザロバ	Fall			4	
		非開講	国際教養特別講義 I	Special Lectures for International Studies I	2+	—	—			—	非開講
			国際教養特別講義 II	Special Lectures for International Studies II	2+	新美	Spring・Fall			4	国際政治学
		非開講	国際教養特別講義 III	Special Lectures for International Studies III	2+	—	—			—	非開講
		非開講	国際教養特別講義 IV	Special Lectures for International Studies IV	2+	—	—			—	非開講
			国際協力	International Cooperation	3+	橋詰	Spring			4	
		非開講	国際経営論	International Management	3+	—	—			—	非開講
			国際経済学	International Economics	3+	渡邊(泰)	Spring・Fall			4	
		非開講	国際法と国際機関	International Law and Organizations	2+	—	—			—	非開講
		非開講	資源と環境	Resource and Environment	3+	—	—			—	非開講
			情報処理 I	Information Processing I	2+	張、浅原	Spring・Fall			4	

Curriculum 2021年度以前入学生用

Level 科目群	Division 科目区分	Course Opening 開講有無	Course Title (Japanese) 科目名	Course Title (English) 科目名(英字)	Year 年次	Instructor 担当教員名	Semester 学期	Required 必修	Restricted Elective 選択必修	Elective 選択	Note 備考
Major Related Courses / 専門教育科目	International Studies / 国際教養		情報処理 II	Information Processing II	2+	張、浅原	Spring・Fall			4	
			多国籍企業会計	Accounting for Multinational Firms	2+	—	—			—	
			多文化共生論	Multiculturalism	3+	杉下	Fall			4	
			日本近代史	History of Modern Japan	3+	藤田	Spring			4	
			人間安全保障	International Protection of Human Rights	2+	クルナザロバ	Spring			4	
			比較経営論	Comparative Management	3+	マリノフ	Fall			4	
			簿記	Bookkeeping	2+	加藤(恒)、林	Spring・Fall			4	
		非開講	ポストモダニズムと社会	Postmodernism and Society	2+	—	—			—	非開講
			マーケティング論	Theory of Marketing	3+	芦田	Fall			4	
			マクロ経済学	Macroeconomics	2+	西井	Spring			4	
			ミクロ経済学	Microeconomics	2+	渡邊(泰)	Spring			—	
			リーダーシップ論	Leadership	3+	大重	Spring			4	
	Seminar / ゼミナール	非開講	Discover 藤沢・湘南 I	Discover Fujisawa Shonan I	1+	—	—			—	非開講
			Discover 藤沢・湘南 II	Discover Fujisawa Shonan II	1+	今村	Fall			2	
		～	ゼミナール I	Seminar I	3	See timetable	Spring			2	See syllabus
			ゼミナール II	Seminar II	3	See timetable	Fall			2	See syllabus
			ゼミナール III	Seminar III	4	See timetable	Spring			2	See syllabus
			ゼミナール IV	Seminar IV	4	See timetable	Fall			2	See syllabus
			卒業研究	Graduation Research	4	See timetable	Fall			4	
			プロジェクトゼミ I	Project Seminar I	3+	菊池(弘)	Fall			2	教師力向上講座
		非開講	プロジェクトゼミ II	Project Seminars II	2+	—	—			—	非開講
			プロジェクトゼミ III	Project Seminar III	2+	藤田	Spring・Fall			2	藤沢とヘリテージ
			プロジェクトゼミ IV	Project Seminar IV	2+	今村	Spring			2	学長監修リレー講座 I
			プロジェクトゼミ V	Project Seminar V	2+	今村	Fall			2	学長監修リレー講座 II
			プロジェクトゼミ VI	Project Seminar VI	2+	長田	Spring・Fall			2	文化実践：いけばな
		非開講	プロジェクトゼミ VII	Project Seminar VII	2+	—	—			—	非開講
		非開講	プロジェクトゼミナールVIII	Project Seminar VIII	3+	—	—			—	非開講
		非開講	プロジェクトゼミナールIX	Project Seminar IX	3+	—	—			—	非開講
		非開講	プロジェクトゼミナールX	Project Seminar X	3+	—	—			—	非開講
		非開講	プロジェクトゼミナールXI	Project Seminar XI	3+	—	—			—	非開講
		非開講	プロジェクトゼミナールXII	Project Seminar XII	2+	—	—			—	非開講
		非開講	プロジェクトゼミナールXIII	Project Seminar XIII	2+	—	—			—	非開講
			プロジェクトゼミナールXIV	Project Seminar XIV	2+	佐藤	Fall			4	湘南地域を巻き込んだ国際協力とボランティアの実践
			プロジェクトゼミナールXV	Project Seminar XV	3+	—	—			—	非開講
			プロジェクトゼミナールXVI	Project Seminar XVI	3+	—	—			—	非開講
			プロジェクトゼミナールXVII	Project Seminar XVII	4	菊池(弘)	Spring			2	教師力向上講座 II
Teacher's License Program / 教職に関する科目			英語科教育法 I	Teaching Method on English Education I	3+	大場	Spring			4	卒業要件外
			英語科教育法 II	Teaching Method on English Education II	3+	大場	Fall			4	卒業要件外
			介護等体験実習事前事後指導	The pre/post guidance for experience training	3+	山田(知)	Spring			1	卒業要件外
			教職概論	Teaching Profession	1+	山田(知)	Spring			2	卒業要件外
			教育課程総論	Curriculum	2+	菊井(司)	Spring			2	卒業要件外
			教育原理	Educational Principle	1+	山田(知)	Fall			2	卒業要件外
			教育実習 I	Student Teaching I	4	山田(大)、山田(知)	Spring・Fall			3	卒業要件外
			教育実習 II	Student Teaching II	4	山田(大)、山田(知)	Spring・Fall			2	卒業要件外
			教育制度論	Educational System	2+	山田(知)	Fall			2	卒業要件外
			教育相談	Educational Counseling	3+	石島	Fall			2	卒業要件外
			教育方法 (ICTを活用した教育の理論及び方法含む)	Teaching Method Including the Information and Communication Technology	2+	竹内	Spring			2	卒業要件外
			教職実践演習(中・高)	Teaching Practice (junior high school / high school)	4	山田(知)	Fall			2	卒業要件外
			生徒指導・進路指導論	Student Direction	1+	山田(知)	Fall			2	卒業要件外
			総合的な学習の時間の指導法	Teaching Method on Periods of Integrated Studies	3+	根田	Fall			1	卒業要件外
			道徳教育論	Study of Ethics Education	3+	菊池(弘)	Fall			2	卒業要件外
			特別活動	Extracurricular activity	2+	関根	Spring			2	卒業要件外
			特別支援	Special Needs Education	3+	三尾	Spring			2	卒業要件外

第III部：学生とSGS

1. 学生サービス （学生生活の安定のための支援及び学生生活全般に関する学生の意見・要望の受付）

学生課は、学生生活における様々なサポートを行っており、本学におけるサービス、施設、手続についての質問や情報請求の窓口となっています。主に、各種証明書の発行、施設の利用申込み受付、サークル活動及び学園祭運営支援、忘れ物の取扱、日本学生支援機構奨学金の取扱、学生相談室の運営などを行っています。 学生生活で困ったことやわからないことがあれば、学生課窓口まで気軽に相談に来てください。

(1)学生証

学生証は本学学生の身分を証明する重要なものです。請求のあったときにはいつでも提示できるよう、常に携帯してください。

①提示が必要なとき

(ア)試験・授業を受ける時

(イ)証明書の発行申請をする時

(ウ)図書館へ入館する時

(エ)通学定期乗車券・学生割引普通乗車券(学割)を購入する時

(オ)本学教職員・交通機関係員から提示を求められた時

学生証

②学生証の有効期限・再発行について

学生証の有効期限は入学後4年間(5年目以降は1年間)です。学生証を紛失あるいは汚損した場合は、直ちに最寄りの警察に届出て、学生課にて再発行の手続きをしてください。再発行手数料は1，200円です。学生証の再発行には1週間程度要するため、事務局にて仮学生証を発行します。破損、汚損した学生証は再発行した学生証と引き換えに返却してください。

③学生証の返却

卒業、退学等により学籍を離れるときは、直ちに学生課に返却してください。

④その他注意事項

(ア)他人に貸与または譲渡してはいけません。

(イ)紛失や盗難にあった場合は、学生課に届出るとともに、必ず警察に届出てください。

(2)情報の伝達・連絡等

①多摩大学キャンパスシステム(「T-NEXT」)及び掲示板

本学の学生に関連する情報はすべて「T-NEXT」で電子的に掲載され、また、学内の掲示板にも掲載されます。「T-NEXT」より、直接個々の学生に連絡をとったり情報を提供したりすることもあります。責任を持って、「T-NEXT」と学内掲示板を定期的に確認するようにしてください。

②学生専用学内掲示板

学生専用学内掲示板を設置しています。文書、ポスター等の掲示を希望する場合は、学生課に問い合わせてください。

＜掲示に関しての注意事項＞

(ア)学生が告知用として作成する掲示物のサイズは原則A4までとします。掲示する際の注意事項は学生課で確認してください。

(イ)掲示物には担当者名や団体名を明記し、学生課の承認印をもらってください。

(ウ)掲示期間終了後の掲示物は、掲示した担当者や団体が責任を持って剥離してください。
掲示期間については、申請時に学生課で確認してください。

③プラズマスクリーン

東棟1階のアゴラ(ラウンジ)と、西棟1階の国際交流スペース、西棟2階のラウンジに設置されたプラズマスクリーンへの情報公開を希望する場合は、学生課に問い合わせてください。

(3)各種証明書の発行

各種証明書は、事務局で入手できます。発行手数料がかかるもの（1 通につき100円）と、無料で発行するものがあります。発行手数料がかかるものは、事務局にある券売機で「証紙」を購入し、申請用紙に貼り付けてください。

① 証明書の種類と発行手数料

<table>
<tr><th>種　類</th><th>セクション</th><th>手数料（1 通）</th></tr>
<tr><td>成績証明書</td><td rowspan="6">教務課</td><td rowspan="9">100円</td></tr>
<tr><td>成績証明書（英文）</td></tr>
<tr><td>卒業見込証明書</td></tr>
<tr><td>卒業見込証明書（英文）</td></tr>
<tr><td>卒業証明書</td></tr>
<tr><td>卒業証明書（英文）</td></tr>
<tr><td>在学証明書</td><td rowspan="6">学生課</td></tr>
<tr><td>在学証明書（英文）</td></tr>
<tr><td>健康診断証明書</td></tr>
<tr><td>通学証明書</td><td rowspan="2">無　料</td></tr>
<tr><td>学校学生生徒旅客運賃割引証（学割証）</td></tr>
<tr><td>学生証再発行</td><td>1，200円</td></tr>
</table>

② 証明書の申込みについて

＜証明書の申込み方法＞

事務局にある証明書申請用紙に必要事項を記入し、手数料分の証紙を添付のうえ申込んでください。受取りの際は領収書または学生証の提示が必要です。なお、発行日より3ヶ月経過しても受取りが無い場合は廃棄します。

証 明 書 発 行	申　請	受 取・交 付
証明書(和文)の発行	平日17:30までの申請 土曜13:30までの申請	翌日15:00以降 （日曜・祝日除く）
証明書(英文)の発行	平日17:30までの申請 土曜13:30までの申請	申請日より3業務日 （日曜・祝日除く）

※窓口受付時間に変更が生じる場合があります。（事前に掲示・T-NEXT 等にて通知）

(4)各種願書(届出)

①各種変更届

種　類	条　件	必要書類	注 意 事 項
保証人変更届	保証人を変更する場合		新／旧それぞれの保証人が署名・捺印すること
住所・電話番号変更届	本人、保証人の住所・電話番号を変更する場合		1週間以内に T-NEXT より申請すること ※変更内容について確認します

②各種申請書

種　類	条　件	必要書類	注 意 事 項
備品借用願	大学の備品を借用するとき		対象備品は学生課に確認すること
学内・学外活動申請書	サークル等が学内（活動日以外）・学外で活動するとき	イベント等の概要がわかる書類	活動日１週間前までに届出ること
施設利用願	サークル・個人が活動日以外で施設を使用するとき		活動日１週間前までに届出ること
バイク通学許可願	バイク通学を希望するとき	免許証、自賠責保険証書、標識交付証明書の各種コピー及び印鑑、学生証	保証人の署名・捺印が必要 各種証明書の有効期限更新時に、速やかに新しいコピーを提出すること

③学籍異動（P84参照）：(学生課に事前相談が必要)

種　類	条　件	必要書類・その他	注 意 事 項
休学願	病気やその他の理由により履修できない場合	診断書(病気の場合) 休学在籍料の支払い(振込) ・春学期　80，000円 ・秋学期　80，000円 ※母国の徴兵制度により在学中に兵役を余儀なくされて休学をする場合は、休学在籍料を免除する。	年度はじめに限り１年間の休学申請可能 休学期間：春学期(4/1～9/30) 秋学期(10/1～3/31)
復学願	休学者が復学を希望する場合		復学日：春学期(4/1) 秋学期(10/1)
退学願	事情により退学をする場合		退学日：春学期(9/30) 秋学期(3/31)
転学部願	転学部を希望するとき		11月末までに教務課に提出 (P32参照)

(5)通学のルール

①バイク及び自転車通学

バイク及び自転車は、所定の駐車場(バイク:第 1 駐車場、自転車:第 2 駐車場→P2参照)に駐輪してください。安全運転を心掛け、以下の注意事項を守ってください。

＜共通＞

・学内での盗難、破損について大学は一切責任を持ちません。盗難防止対策は、各自で責任を持って行ってください。

・長期(約1ヶ月)にわたり放置されているバイク及び自転車は、廃棄処分としますので充分に注意してください。終夜放置はしないでください。

＜バイク＞

・バイク通学希望者は、必ず登録が必要です。

【登録方法】

- 免許証、自賠責保険証書、標識交付証明書の各種コピー、印鑑を用意
- バイク通学許可願を学生課にて受け取る
- 必要事項(本人、保証人の署名・捺印)を記入し、学生課窓口に提出
- 審査終了後、許可証シールを受けとり、バイクのよく見える場所に貼る

なおシールが確認できないバイク及び未登録のバイクは撤去します(撤去費用は本人負担)。また、提出書類の有効期限が切れた場合は、速やかに更新書類のコピーを学生課に提出してください。

・学内では最徐行(時速15キロ以下)し、無駄な空ふかしや乗回しはやめてください。

・違法改造や改造マフラー車の入構は禁止します。

以上の注意事項が守られない場合は、バイク通学の許可を取消します。また事故に関して大学で加入している保険の適用外とします。

＜自転車＞

・神奈川県では、条例により「自転車損害賠償責任保険」等の加入が義務づけられています。

自転車事故対応の保険に必ず加入してください。通学の許可は不要です。

②自動車通学の禁止

本学では自動車通学を禁止しています。違反した学生は、学則に基づき厳重なる処罰を行います。また事故に関して大学で加入している保険の適用外とします。

※P90の「多摩大学通学に関する規程」をよく確認してください。

③違反行為・迷惑行為

多摩大学通学に関する規程（P90参照）に違反した場合は、多摩大学学生懲戒規程（P91参照）に基づき処罰を行います。

(6)通学定期券と学割証（学生旅客運賃割引証）

①通学定期券の購入

学生課で交付する「通学証明シール」に必要事項及び通学区間（湘南キャンパスの最寄駅から自宅最寄駅を結ぶ最短区間）をペンで記入し、学生証裏面に貼付けのうえ定期券販売窓口で申請してください。

「通学定期乗車券発行控」の欄がいっぱいになった場合や通学期間等を変更した場合は、学生課にて新たな「通学証明シール」の交付を受け、新しいシールを上から貼ってください。

②実習定期券の購入

1ヶ月以上に及ぶ実習期間は実習先までの実習定期券を購入することが可能です。

学生課に問い合わせてください。

③学割証(学生旅客運賃割引証)とは

旅客鉄道株式会社（JR各社）が指定した学校の学生（非正規生は除く）が、旅客鉄道株式会社の営業キロで片道100キロメートルを超える区間を利用する際に、普通乗車運賃が2割引になる制度です。

※他の鉄道会社等は、各社営業規則によりますので、乗車券購入の前に各社窓口へ確認してください。

④学割証の発行が認められる使用目的範囲

使用目的の範囲は、制度の趣旨に鑑み、学割証の発行は、原則として次の目的をもって旅行する必要があると認められる場合に限ります。

(ｱ)休暇、所用による帰省

(ｲ)実験実習並びに通信による教育を行う学校の面接授業及び試験などの正課の教育活動

(ｳ)学校が認めた特別教育活動又は体育・文化に関する正課外の教育活動

(ｴ)就職又は進学上適当と認めた見学又は行事への参加

(ｵ)学校が修学上適当と認めた見学又は行事への参加

(ｶ)傷病の治療その他修学上支障となる問題の処理

(ｷ)保護者の旅行への随行

⑤学割証発行と使用上の注意

(ｱ)有効期限：発行日より３ヶ月間
　　学則に基づき学生の在籍期間内使用に対しての発行
　　最終発行の有効期限は在籍期間終期まで

(ｲ)発 行 数：制限はなし

(ｳ)使用対象：学割証の記名人以外は使用できません。
　　※学割証を不正使用した場合は旅客営業規則第２４条により罰せられます。

(ｴ)団体割引：本学学生と引率者（教職員）合わせて８名以上で構成された団体が旅行する場合、所定の手続きをすれば「学生団体」扱いとなり、乗車券のみ５割引（教職員は３割引）で購入できます。
（窓口は JR の駅、各旅行代理店）
※「団体旅行申込書」（駅または代理店備付）に学長の証明が必要です。

(7)大学施設の利用

①一般教室の使用

課外活動のため一般教室を使用する場合は、講義や学校行事等（試験期間、入試日）で支障がない限り、教務課にて予約のうえ利用できます。
また、多摩大学公認サークルが活動日として定期的に使用する場合は、一般利用より優先されます。

通常学期中の一般教室の利用時間は以下のとおりです。
平日・土曜　9:00～20:30

※休業期間中の使用は、1週間前までに学生課へ施設利用願の申請が必要です。
※休業期間中の施設利用可能日時は、事前に学内掲示・T-NEXT 等にて通知します。
※利用時間は、後片付けを済ませ、施設を退出する時間も含みます。ルールを守れない学生または団体の利用は認めません。

②情報処理室の利用について

学生用に西棟2階の情報処理室2室が開放されています。
※一般教室、情報処理室は授業での利用が優先されます。利用中であっても授業の都合で利用を中止してもらうことがあります。

③体育館/テニスコートの利用について

運動施設は、講義や学校行事等で支障がない限り、以下のとおり開放しています。
多摩大学公認サークルが活動日として定期的に使用する場合は、一般利用より優先されます。

通常学期中の体育館/テニスコートの利用時間は以下のとおりです。

利用施設	月曜－金曜	土曜
体育館/テニスコート（一般利用）	9:00～16:10	9:00～20:30
体育館/テニスコート（サークル）	16:20～20:30	
多目的和室（一般開放）※サークル使用日除く	9:00～20:30	

※休業期間中の使用は、1週間前までに学生課へ施設利用願の申請が必要です。
※休業期間中の施設利用可能日時は、事前に学内掲示・T-NEXT 等にて通知します。
※利用時間は、後片付けを済ませ、施設を退出する時間も含みます。ルールを守れない学生または団体の利用は認めません。

・怪我や床の劣化を防ぐため、必ず専用の靴（体育館は室内履き、テニスコートはスニーカー等）を着用してください。
・使用後は、必ず清掃してください。
・スポーツ用具の一般貸し出しは、学生課にて対応します。無断でサークル所有の備品を使用しないでください。

④その他の施設
上記に記載のない施設の利用は、1週間前までに学生課へ申請が必要です。

(8) 奨学金・学費減免制度

多摩大学では、様々な特色ある奨学金・学費減免制度を設け、学生の皆さんが意欲的に勉学に励み、充実した学生生活を過ごせるよう支援しています。

●種類

＜多摩大学独自の奨学金・学費減免制度＞
成績優秀者奨学金…教務課
海外留学奨学金…国際交流センター事務課
私費外国人留学生授業料減免制度…国際交流センター事務課
被災学生学費減免制度…学生課

＜学外奨学金＞
高等教育の修学支援新制度（授業料減免＋給付奨学金）…学生課
日本学生支援機構（JASSO）奨学金…学生課
その他の奨学金（地方自治体及び民間育英団体等の奨学金）…学生課

＜多摩大学独自の奨学金･学費減免制度＞

●多摩大学成績優秀者奨学金…各学期の成績上位者について奨学金を支給し、努力を讃え励ますことを目的とします。新入生特別給費生は原則対象外とします。

審査方法	・各学期、学年別成績が上位の者から順に候補者を選出する。ただし、当該学期学費未納者は対象外とする。 ・教職に関する授業科目を除く５科目以上の履修者とする。
	【区分１の選定】 ①評定平均が３．２以上であり、かつＴＯＥＩＣの最高点が以下のとおりの者。 １年生　５００点以上 ２年生　５５０点以上 ３年生　６００点以上 ②複数名が対象となった場合は、評定平均最上位の者。 ③評定平均最上位の者が複数名の場合は、ＴＯＥＩＣの最高点が高い者。 ④ＴＯＥＩＣの最高点が同一の場合は、ＴＯＥＩＣの最高点同一者全員を区分１とする。
	【区分２の選定】 各学年とも、評定平均が３．０以上の者とし、区分１と併せて各学期１０名以内とする。 なお、評定平均が同一の場合は、ＴＯＥＩＣの最高点が高い者より選定する。
	※特別給費生として奨学金を支給されている者は、原則対象外とする。
審査基準	学業及び成績が優秀で人物及び健康ともに優れ、他の模範になること。

区分	1	2
奨学生数	各学期に １年次生　１名 ２年次生　１名 ３年次生　１名 （合計：年間６名以内）	各学期に １年次生　１０名 ２年次生　１０名 ３年次生　１０名 （合計：年間６０名以内）
	※区分１及び区分２の合計で各学期各年次生に１０名以内	
支給額	各学期分の授業料相当額	５０，０００円
支給期間	１学期間ごとに現金又は現金振込で支給する。	
備考	区分１の定員を超える人数分については区分２の支給額を加え、均等に配分する。なお、均等に分配できない場合は、小数点を切り捨てる。	

●多摩大学被災学生学費減免制度…被災し、学費の納付が困難な学生を対象に、経済的負担を軽減するための制度です。入学金、授業料等を減免します。

＜学外奨学金＞　※外国籍の方は、在留資格等によっては申込ができない場合があります。

●高等教育の修学支援新制度

収入基準・資産基準及び学業等に係る基準を満たすことにより、授業料減免と併せて日本学生支援機構給付奨学金（原則返還不要の奨学金）が受けられます。

種類	資格	支援方法	進級後の条件
授業料等の減免＋ ①日本学生支援機構給付奨学金 （在学採用：春・秋募集） （家計急変採用：※通年募集） ※事由の発生後３ヵ月以内	住民税非課税世帯及びそれに準ずる世帯で学業成績及び学修意欲の一定の要件を満たす学生	1.授業料減免 2.給付奨学金の支給 （**奨学生本人名義**の普通預金・通常預金口座への**毎月の振込**	毎年家計基準を確認し、必要に応じて支援金額の見直し、また学業成績（GPA・修得単位数・出席率等）に関する判定を行う

●日本学生支援機構（JASSO）奨学金

①日本学生支援機構給付奨学金…国の高等教育修学支援制度の一環として支給

②日本学生支援機構貸与奨学金

【URL: https://www.jasso.go.jp】

種類	対象	貸与方法	貸与期間・利率
第一種奨学金 **無利子**	**特に**優れた学生等で経済的理由により**著しく**修学困難な人	**奨学生本人名義**の普通預金・通常預金口座への**毎月の振込**	標準就業年限(1年生の場合4年間)
第二種奨学金 **有利子**（在学中は無利子）	優れた学生等で経済的理由により修学困難な人（第一種奨学金よりゆるやかな基準）		標準就業年限(1年生の場合4年間) 利率算定方式（①固定式②変動式）を選択
緊急採用（無利子） 応急採用（有利子）	家計の急変（条件あり）で奨学金を緊急に必要とする場合は随時申請可能（ただし、事由が発生したときから1年以内に申請）緊急採用が第一種奨学金（無利子）、応急採用が第二種奨学金（有利子）にあたる		

※第一種貸与奨学金と第二種貸与奨学金の併用貸与及び給付奨学金との併給貸与も可能

※年１回学業成績等による判定（年度末）

〔応募手順〕　**4月及び9月に行われる説明会に必ず出席すること**

学内説明会（4月・9月）**参加必須** → 出願書類の準備・提出・面談 → 申込み（入力）審査 → 採用発表 → 採用手続き

(9)その他のサービス

①遺失物・拾得物の取扱い

・学内での拾得物は学生課に届けてください（落し物展示ケースまたは学生課にて3ヶ月間保管ののち廃棄）。
・持ち主が判明した物は、T-NEXTやメール等でお知らせします。
・拾得物引渡しの際は本人確認を行う場合があります。
・遺失物はまず展示ケースを確認後学生課に問い合わせてください。
・持ち物には名前と学籍番号を書いてください。
・学生証やキャッシュカード等を落とした場合は、悪用される恐れがあるため速やかに警察や銀行、信販会社に届出てください。

②アパート・マンション等の紹介

学生課では、本学学生に対し指定学生寮の紹介やアパート探しについて一般的な情報を提供しています。

③アルバイト・ボランティアの紹介

学生課では、事務局前の掲示板にアルバイト及びボランティア募集の情報を掲出しています。

(10)課外活動

①学生会と学生会執行部

学生会は全学生が参加する組織です。学生会執行部は大学生活に関わることを学生間で民主的に組織し、学生の総意を決議することを目的とし、学生自身がSGSで、より快適な学生生活を送れるよう活動します。学生間の意見をとりまとめ、大学側との意見調整を行うほか、学内外のイベントの企画運営を行います。学生会の中心として執行部に参加することを奨励しています。

②公認サークル

SGSサークルユニオン（以下SCU）に所属するサークルを指します。公認を受けたサークルは、大学内で教室や運動施設を優先的に利用する権利を取得し、補助金の申請も可能です（新設サークルは半年間補助金の受給はありません）。

≪公認サークル設立の流れ≫

・メンバーを４名以上集める
・代表、副代表、会計を決める
・顧問の依頼（専任教職員）
・書類を作成・学生課に提出

→ 学生会全体会で承認 ↴

学生委員会にて承認 ↴

多摩大学公認サークルとして認可

サークルの設立方法等わからないことは学生課に問い合わせてください。

③各種申請書

学生会団体の活動において各種申請書が必要な場合があります（P44参照）。
申請書類は学生課にて入手し、顧問の承認を得たうえで活動日の1週間前までに学生課に届出てください。

④募金、署名活動及び販売、メディア取材等

学内外で募金、署名活動や販売を行おうとする学生または学生団体は、学生課に願い出て、承認を得る必要があります。また外部メディアより取材等を受ける場合も必ず学生課の承認を得てください。

(11)個人情報の取扱いについて

多摩大学では、入学手続やその他大学所定の手続において入手した住所・氏名・電話番号等の個人情報は、学内に「個人情報保護委員会」を設置するとともに、「個人情報の保護に関する規程」に基づいて厳重に管理します。
また、これらの個人情報は本人・保証人への連絡、通知または各種大学関係資料の送付、その他学生指導等大学業務及び卒業生同窓会活動のために使用します。多摩大学「個人情報の保護に関する規程」は本学のホームページに掲載しています。

住所・氏名・電話番号等は悪用されてはならない大切な個人情報です。これらを教えた結果、後日執拗につきまとわれたり、思わぬ深刻な事態に巻き込まれたりすることがあります。自分や友人の個人情報は安易に他人に教えないでください。
多摩大学では学生や保証人の住所・電話番号等の問い合わせがあっても、一切情報開示していません。

情報の開示や訂正等については、学生課に問い合わせてください。

(12)障害のある学生への支援

本学部では、障害がありキャンパスライフに支援を必要とする学生への配慮に努めています。学修面の相談から、学内での学修環境や生活環境全般の相談まで、個々の学生の問題に向き合い、解決・解消にむけて最大限対応していきます。気軽に学生課または保健室に相談してください。

(13)ピアサポート

ピア(peer)という言葉は「仲間」という意味で、学生同士で支援する制度が「ピアサポート(対等な支援)」です。

教職員に聞きに行くほどの問題ではないが、「先輩や友人だったら気楽に質問できる」という学生支援制度の一つです。履修や学修方法、課外活動、人間関係等についての各種相談対応を行い、学業面や生活面で困らないよう支援します。詳細は学生課より掲示板等で通知しますので、積極的に活用してください。自己の可能性を見つけるきっかけ作りをし、キャンパスでともに高めあえる環境作りをめざします。

(14)Suggestion Box

皆さんの学生生活をより良いものにするため、「Suggestion Box」を設置しています。(設置場所:西棟1階入り口横)

学生生活を送るうえで「こうした方がより良くなるのではないか」等の意見や提案、気づいた点があれば、「Suggestion Box」に設置してある所定の用紙に必要事項を記入し、投書してください。

Suggestion Box

(15)多摩大学ハラスメント防止の目的

多摩大学は世界人権宣言を重んじる大学として、学生、教職員などの全構成員が安心して過ごせるキャンパスをめざし、人権侵害のない教育・研究・就労環境を整えます。性、人種、宗教、年齢、性的指向、障碍(しょうがい)等に基づく差別や、地位・立場を利用したあらゆるハラスメントは形態の如何に関わらず許されません。

多摩大学ハラスメント防止委員会は、全てのハラスメントの撲滅をめざします。学生及び教職員、その他全ての大学関係者が、個人が尊重されるハラスメントのない環境の中で日々過ごすことができるよう、全力を尽くします。

安全で快適な環境を作るために、あなたは SGS で何ができますか？

多摩大学では、他者に対する攻撃的な態度の総称をハラスメントと定めています。ひとくちにハラスメントと言っても複雑で多岐にわたっていますので、詳細は入学時に配布されるハラスメントリーフレットを熟読してください。

アドバイザー：

名前	研究室	Email	電話
大場　智美 湘南キャンパス専任教員	102	ohba-t@tama.ac.jp	0466-21-7725
韓　準祐 湘南キャンパス専任教員	206	han@tama.ac.jp	0466-21-7714
鄭　文琪 湘南キャンパス専任職員	事務局	zheng@tama.ac.jp	0466-21-7731
野原　裕介 湘南キャンパス専任職員	事務局	nohara@tama.ac.jp	0466-82-4141

アドバイザーの役割：

アドバイザーは、ハラスメントを報告する際の公式な窓口であり、SGSの多様性を反映させたメンバー構成になっています。アドバイザーは秘密を厳守し、必要に応じてハラスメント防止委員会に報告します。

多摩大学ハラスメント防止委員会の役割：

委員はキャンパスのハラスメント根絶に全力を尽くします。ハラスメントの事例に関して秘密を厳守するとともに、関係者が詮索されないよう保護します。

≪手続き≫

ステップ 1: ハラスメントが起こったらアドバイザーに報告する（被害者がアドバイザーと直接話せない場合は、代わりに信頼できる人を通してアドバイザーに報告することもできる）。

ステップ 2: 必要に応じて、アドバイザーは申し立てのあった事件をハラスメント防止委員会に報告する。

ステップ 3: 申し立てられた事件がハラスメント防止委員会に報告されると、臨時委員会が設立され、目撃者と加害者それぞれから話を聞く機会が設けられる。

ステップ 4: 臨時委員会がハラスメント防止委員会に報告する。

ステップ 5: ハラスメント防止委員会は、専門的且つ客観的な方法で関係者全員から得た情報を調べる。

ステップ 6: ハラスメント防止委員会は、ハラスメントを内部的に解決することに尽力するが、必要があれば、多摩大学ハラスメント防止委員会に報告する。多摩大学ハラスメント防止委員会はその報告を受けて何らかの措置を取る。

※この手続きの過程では、いかなる場合であっても関係者の個人情報等は一切公表されることはありません。また、申し立てられたハラスメントの情報は細部にわたるまで内密に扱われます。

ハラスメントリーフレット

(16)学生生活上での心得

①喫煙のルール

学内の喫煙指定場所以外はすべて禁煙です。歩行喫煙も禁止です。また大学周辺や体育館等の屋内ももちろん禁止です。

違反した学生は、学生委員会の審議結果に従い、指導・処分されます。また、20歳未満による喫煙も同様に指導・処分されます。

※SGSにおけるタバコ類似物の扱いに関して

SGS内においては、20歳未満について、従来のタバコ製品の他、加熱式タバコ、無煙タバコはもとより、スヌース、電子タバコ等(葉タバコを原料としているか否かを問わない)の使用を一切禁止する。20歳以上の者も、これらを使用する場合には喫煙所においてのみ行うこととする。違反した学生は、指導・処分の対象とする。

②飲酒のルール

学内での飲酒は禁止です。違反した学生は、学生委員会の審議結果に従い、指導・処分されます。また、飲酒は20歳以上と法律で定められています。学内外にかかわらず20歳未満の飲酒は禁止されています。

③その他禁止事項

・スケートボード、キックボード、ローラースケート等は安全のため学内及び通学時での使用は禁止です。

・公文書(診断書等)の偽造

※授業を欠席した時に医師の診断書を偽造して提出する、電車の遅延証明書を不正に取得して使用する等の行為は、懲戒の対象となります。

・防火の観点から、学内では火器の使用は原則禁止です(ただし、大学側で安全を確認し、許可したものは除く)。

④マナー

大学生活を快適に送るためには、キャンパスマナーを身につけるのはもちろんのこと、学外でもマナーを遵守することは、社会生活を営むうえで最も基本的なことと言えます。誰もが快適に過ごせる環境になるよう、大学や地域社会の一員としての自覚を持って行動してください。

※以下内容はマナー違反の例です。見られているという認識を持って行動してください。

＜電車内マナー違反＞

・友人同士、大声で騒ぐ(ついつい笑い声や会話の声が大きくなる)

・携帯電話での通話
・携帯電話の着信音をマナーモードにしてない
・優先席付近で、携帯電話の電源をOFFにしない
・ヘッドフォンからの音もれ
・順番を無視する、降りる人を待たずに乗車する
・座席を詰めない、足を投げ出す、足を組んで座る
・ゴミをポイ捨てする、置き去りにする
・ゲーム等に集中するあまり周囲に不快感を与える
・化粧をする
・混雑した車内での飲食、臭気を放つ
・出入口付近にしゃがみ込む
・荷物で席を取る、荷物が周囲の邪魔をする
・性的な記事の掲載された新聞や雑誌を広げる

＜通学マナー違反（駅⇔大学）＞

・大声で騒ぐ、横並びに歩く、車道を歩く
・歩きスマホ
・音楽を聴く、電話やメール等に熱中する
・前方を見ないで歩く
・ゴミをポイ捨てする、置き去りにする
・タバコを吸いながら歩く、タバコをポイ捨てする
・自転車で歩行者の横を猛スピードで追い越す
・スケートボードに乗って通学する

＜学内マナー違反＞

・授業実施中の教室の横を騒いで通る、学内で大声を出して騒ぐ
・帽子をかぶったまま、イヤホンを装着したまま授業に出る
・喫煙所以外で喫煙する
・学内の壁や机等に落書きする
・ゴミ、空き缶、ペットボトル、タバコの吸い殻等をポイ捨てする
・周囲に注意を払わず、キャッチボールやサッカー等を行う
（他人にケガを負わせた、器物を破損した等の場合は自己責任となる）
・授業中に教室でスマホの充電をする

⑤こんなことに注意

日常生活の中には、様々な危険が潜んでいます。被害にあわないよう日頃から細心の注意を払い、生活することが重要です。

＜電話やメールによる詐欺＞

大学関係者などを名乗り、本人・家族等の個人情報を聞きだす等の被害に注意してください。

＜振り込め詐欺＞

日々新しい手口の詐欺が増えています。すぐにお金を払うことのないよう、冷静に対応してください。また、保護者や保証人を標的とした被害が他大学で多く報告されています。普段から保護者・保証人と密に連絡やコミュニケーションをとることが重要です。

さらに近年、割のいいアルバイトとして「受け子」や「出し子」を請け負ったことで詐欺に加担し、大学生が逮捕される事案が頻発しています。安易にお金が稼げるアルバイトに手を出さないよう注意してください。

＜悪質商法・マルチ商法＞

多摩大学では学内での営利活動や学外団体等による勧誘・宣伝活動を無許可で行うことを認めていません。

悪徳商法・マルチ商法等の宣伝、営利目的活動や反社会的活動を行っている団体等の勧誘活動等については特に厳しく対応し、退学を含む懲戒処分の対象となることがあります。

また、勧誘を受けた結果、被害の対象になったりトラブルに巻き込まれたりすることや、気づかないうちに加害者となる場合もあります。

このような勧誘・宣伝等の活動に遭遇したら、絶対に誘いにのらず、直ちに学生課に連絡してください。

＜薬物乱用の厳禁＞

大麻や覚せい剤等の禁止薬物の乱用は、本人の精神と身体に悪影響を及ぼし、さらには友人や家族関係の崩壊にもつながる等、本人だけでなく、社会全体に計り知れない害悪をもたらします。

また、反社会的勢力の一旦を担い、生涯日の当たる場所を歩むことができなくなります。

場所によっては簡単に入手でき、友情の証として等の軽い気持ちで誘われることもありますが、断固たる意思で断ってください。また、友人が薬物に手を出していた場合、すぐに友人関係を解消してください。一線を越えた人間といることは、皆さんにとって「百害あって一利なし」です。

以上のことを頭に入れ、多摩大学の皆さんの良識ある行動を期待します。

<u>薬物を乱用すると</u>

1.脳をおかされて、心も身体もボロボロになる
2.自分の意志では止められなくなる
3.幻覚や妄想が現れ、殺人等の重大犯罪を引き起こす
4.薬物欲しさに、犯罪を犯すようになる
5.反社会的勢力の一員となる
6.友人や家族を失う

＜宗教団体による勧誘＞

巧妙な話術で、学外でのスポーツイベント、音楽サークル等を装って勧誘を行い、会費等を必要以上に徴収する被害が発生しています。外国人による宗教、奉仕活動等の勧誘もあります。まずは自分自身が断る強い意志を持つことが重要です。また、すぐに個人情報を提供することのないようにしましょう。

＜キャッシュレス決済＞

現金を必要としない決済は、たいへん便利な反面、知らず知らずのうちに商品を買い込み、月々の返済が自身の可能範囲を超え、利息が膨らんでしまうことがあります。

安心・安全な利用法をしっかりと心得ておきましょう。

＜学生の SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）利用上の注意＞

近年、SNS利用の際に注意を怠ったがゆえに、たとえ悪意は無かったとしても、加害者となってしまうトラブルが起きています。具体的には、「個人情報の漏えい」「名誉毀損」「プライバシー侵害」「守秘義務違反」等の点で問題になります。SNS上の軽率な行動・発言があなたの人生を台無しにしてしまう可能性があることを理解し、以下のSNSの特性に十分注意して利用しましょう。

SNS の特性

1.SNS は、個人の場ではない。善人のふりをした悪人もいることを忘れない
2.SNS は、他人を非難する場ではない
3.SNS は、自分の行いを懺悔する場ではない
4.SNS は、一度公開したら取り消せない
5.SNS 上の情報は、いずれ流出する
6.SNS での発言の匿名性は、いずれ破られる
7.SNS での不用意な発言は、激しい批判にさらされることもあることを覚悟する

また自分の行動の記録や写真等を不特定多数の人が閲覧できる状態にしておくことは非常に危険であり、ストーカー被害に繋がる可能性があります。日記や写真等はできる限り限定された人にのみ公開する設定にしておきましょう。

※本学では、上記内容を十分理解してもらえるようオリエンテーション等での説明を徹底しています。

≪参考≫

国民生活センター：https://www.kokusen.go.jp/

日本弁護士連合会：https://www.nichibenren.or.jp/

Web110：https://web110.com/

インターネットホットライン連絡協議会：https://www.iajapan.org/hotline/

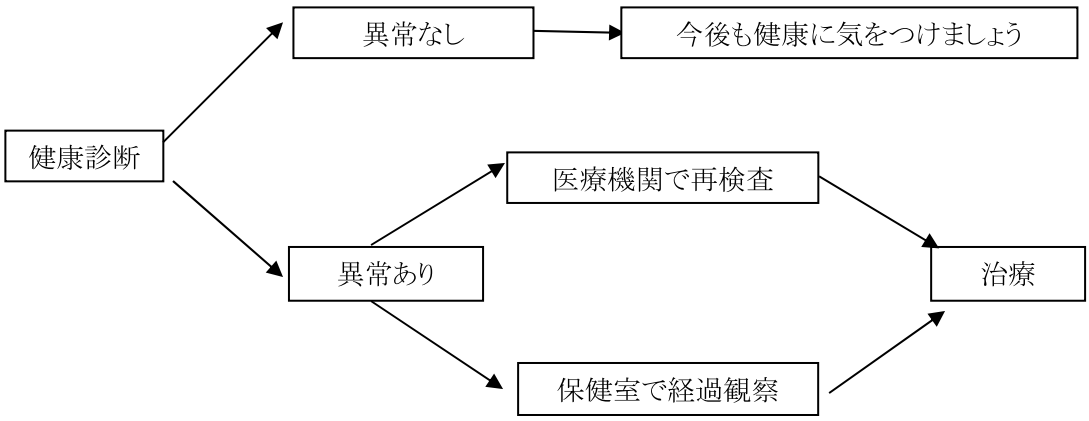
2. 保健室

保健室では、皆さんが心身ともに健康な学生生活を送れるようサポートしています。西棟1階事務局の向かいにありますので、困ったことがありましたら遠慮なく利用してください。

開室時間　　平日　8:50～17:30
保健室直通電話　　TEL:　0466-21-7720

(1)保健室の業務

①学生・教職員の定期健康診断
学校保健安全法に基づき、全学生が定期健康診断を受診する必要があります。定期健康診断は無料で、年に１回4月にキャンパス内で実施します。（秋入学生、留学生は学校医のクリニックで実施します。）
この時に健康診断を受けなかった学生は、かかりつけや近くの医療機関で健康診断を受け、健康診断書の写しを保健室に提出してください。その場合は、健康診断の費用は学生が負担することとなります。
健康診断の結果、再検査が必要とされた場合には必ず速やかに検査を受けてください。また、保健室からの呼び出しには早急に応じるようにしてください。
健康診断を受けていないと、健康診断証明書は発行できませんのでご注意ください。



②傷病者の対応

・ 傷病者(けがや病気、体調不良)に対しての応急的な処置を行ないます。

・ 保健室は風邪薬その他の内服薬を出すことはできません。持病のある人は自分に合った薬を携帯しましょう。また、症状に応じて医療機関へ情報提供を行いますが受診料は自己負担です。健康保険証はいつでも使えるように用意しておきましょう。

・ 5月、6月は保健室の利用者が多い時期です。新学期は自ら気を付けて健康な毎日を送れるよう心がけて下さい。

・ 学校保健安全法に定められた感染症（P21参照）で欠席した場合は、「受診証明書」を提出してください。受診証明書は保健室のホームページからダウンロードするか、事務室で請求してください。

また、診断書の提出も可能ですが登校停止期間の記載が必要です。なお、受診証明書等記載料金は医療機関によって異なります。

③健康相談・悩み相談

「体の不調が続いている」「ここが痛いけど何科を受診したら良い？」「悩みがある」などの様々な相談をお受けします。

④健康診断証明書の発行

就職先やインターン先に提出を求められる場合がありますが、健康診断結果に不備があると発行できませんのでご注意ください。

⑤保健室には身長計・体重計・自動血圧計があり、自由に測定することができます。

(2)健康保険証について

万が一の怪我や病気による受診に備え、健康保険証は常に携帯しておいてください。不携帯で医療機関を受診した場合は、全額自己負担になります。

(3)学校医について

＊校医：村田会湘南台内科クリニック（院長：村田　尚彦）

＜住　　所＞　〒252-0805　神奈川県藤沢市円行991

＜電　　話＞　0466-43-0865

＜診療時間＞　月曜-金曜　9:00～11:30、15:00～18:00

土曜　9:00～13:00

＜休　診　日＞　日曜、祝日

(4)学生相談室

学生相談室では、相談とサポートを行っています。
どんな心配事や悩みでも相談員に内密に相談することができます。

＜カウンセラー＞　川口（かわぐち）　智子（ともこ）　先生(産業カウンセラー)、吉田（よしだ）　芳子（よしこ）　先生(臨床心理士)

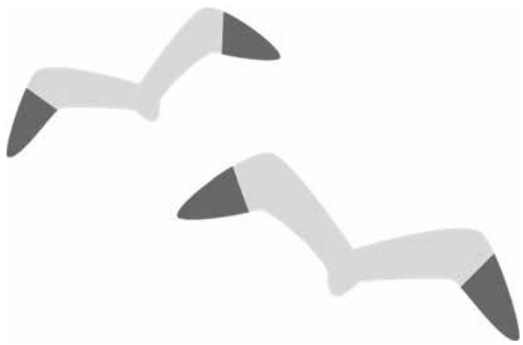
＜相 談 室＞　　西棟 205 （研究棟）

＜時　　間＞　　3回／週 （月曜・火曜・木曜）　11:30～17:00

※開室予定日は掲示にてお知らせします。

＜方　　法＞　　対面・電話・オンライン

＜予　　約＞　　直接保健室に来室するか、電話、ホームページからも行えます。
保健室直通電話:0466-21-7720



(5)学生保険について

① 学生教育研究災害傷害保険

全学生が学生教育研究災害傷害保険に加入します（保険料は大学負担）。各自で加入手続きを行う必要はありません。＜学生教育研究災害傷害保険のしおり＞が1年生の入学時に配付されますので、卒業まで保管して下さい。くれぐれも紛失したりしないよう注意してください。学内外や通学中に災害や事故に遭ったら、保健室または学生課に速やかに報告してください。

保険の内容

大学の講義中、学校行事又は大学に届けた課外活動に参加しているとき、本学と住居との間の通学中、本学と大学に届け出た学校関連活動（講義等又は課外活動）の行われている場所との間の移動中に発生した事故によって学生本人の被ったケガに対し、その治療日数に応じて保険金が支払われます。

②学生傷害総合保険（任意加入保険）

総合的に補償する保険の紹介は下記代理店が対応します。ご希望の場合は、直接代理店までご連絡ください。

＜内容＞　傷害総合補償、被害事故補償、賠償事故補償、育英費用補償
＜取扱代理店＞　三豊企業株式会社
電話番号　：　03-3499-2341
FAX 番号　：　03-3499-2342
（ 月～金　9:00～18:00 ）

(6) AED(自動体外式除細動器)の設置について

本学では AED を設置しています。場所は西棟 1 階食堂から2階へ向かうホールと体育館の玄関ホール。(P.94 図参照) 万が一の場合に備え、設置場所を事前に確認しておきましょう。
※SGS では、年1回救急法の講習会を実施しています

体育館

W棟 1 階

3. SGS ライブラリー
（アクティブ・ラーニングセンター図書館）

https://sgs-lib.tama.ac.jp/

SGS ライブラリーは、SGS のカリキュラムに基づく学修や研究に必要な学術的資料や情報を収集し、提供しています。授業の課題やレポート作成に、図書館を積極的に活用してください。

(1) 場所

SGS ライブラリーは、東棟（E 棟）の 1 階北側にあります。

(2) 蔵書・資料

SGS ライブラリーは和書、洋書を合わせて約 41,000 冊の図書を所蔵しています。SGS の学生は、多摩キャンパスの図書館で所蔵している資料も利用することができます。また、インターネット経由で、キャンパス内のどこからでもアクセス・利用が可能な各種データベース（新聞・雑誌記事など）も充実しています。

(3) 開館時間と休館日

① 開館時間

- 学期中の月曜日から金曜日　8:50～18:00　　土曜日　8:50～14:00
- 開館スケジュールは変更する場合があります。最新の情報はライブラリーのホームページで確認してください。

② 休館日

- 日曜日、国民の祝祭日、夏季・冬季・学年末休業期間中の特定日等。
- 臨時休館日は、その都度掲示、ホームページでお知らせします。

(4) 入退館について

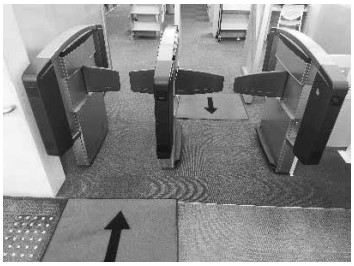
① 利用者カード（学生証）

学生証が SGS ライブラリーの利用証となります。<u>学生証がない場合 SGS ライブラリーの利用はできません。必ず利用者本人の学生証を持参してください。</u>

② 入退館ゲート

入館の際は、入館用ゲートのカードリーダーに学生証を軽くタッチすると、フラッパー（扉）が開きます。1人ずつ入館してください。

退館の際は、退館用ゲートを利用してください。退館には学生証は必要ありません。貸出手続きが済んでいない資料が荷物に紛れていると、ゲート通過時に警告音が鳴るので注意してください。



(5) 図書館サービス

① 館内利用

SGS ライブラリーが所蔵する資料は、館内では自由に閲覧できます。使いたい資料が書架（本棚）のどこに並べてあるか見つけやすい状態に保つため、<u>一度書架から取り出した本は自分で直接書架に戻さずに、必ず館内に設置してあるブックトラック（返却台）に戻してください。</u>

SGS ライブラリーが所蔵している資料は、自宅のパソコンやスマートフォンから、SGS ライブラリーのホームページにある蔵書検索システム（OPAC）にアクセスして検索することができます。

また、館内に設置されている4台のパソコンは、所蔵検索やレポート作成など、自由に利用できます。プリンターも整っているので自学自修に活用してください。

② 所蔵資料のコピー

レファレンス・カウンターの横にコピー機が2台設置されています。図書館の資料をコピーする場合は、左側の図書館資料専用のコピー機を利用し、コピー申請書を提出してください。また、コピーは、著作権法第31条（図書館等の複製）によって定められた範囲内、および国公私立大学図書館協力委員会と日本複写権センターとの合意事項（コピー機前に掲示）に則って行ってください。

右側のコピー機は、プリンター兼コピー機です（プリントは無料、コピーは有料です）。

料金　白黒コピー：1枚10円　カラーコピー：1枚40円　＊）館内では両替はできません。

③　館外貸出

SGS ライブラリー所蔵資料の館外貸出条件は下記表のとおりです。

資料の種類	貸出期間	貸出冊数上限
図書〔和書/洋書〕	2週間	合計10冊まで
CD ブック	2週間	
雑誌	1週間（貸出対象はバックナンバーに限る。最新号は館内利用のみ）	3冊まで
指定図書	貸出不可（館内利用のみ）	
DVD	1週間（一部館内利用のみ）	1巻まで
禁帯出資料	貸出不可（館内利用のみ）	

《貸出・返却の注意事項》

- 自分が借りた資料を友人等に「また貸し」することは禁止されています。また、友人や誰かの代わりに資料を借りることもしないでください。もし「また貸し」された資料に破損、紛失などが発生した場合、弁償金の支払いを含め、全ての責任は SGS ライブラリーから貸出手続きをした本人自身が負うこととなります。

- 返却期限日は、貸出時に渡されたしおり(返却期限票)か、MyLibrary*)で確認してください。

*) *次ページの(6)MyLibrary の項を参照のこと。*

- 貸出の更新は、返却期限日までに図書館ホームページの MyLibrary にアクセスして行う（1回の更新のみ可）か、貸出カウンターに資料を持参のうえ手続きしてください。資料に予約が入っている場合は更新できません。また、雑誌、DVD の更新はカウンターで手続きしてください。

- 貸出中の資料に関しては、MyLibrary から予約を入れることができます。

- 借りた本は必ず返却期限日までに返却するか、更新手続きを行ってください。延滞の資料がある場合は、その資料を返却するまで新たな資料を借りたり、借りている資料の貸出期間を更新したりすることは出来ません。

また、長期にわたる延滞については、下記の罰則を適用します。

1. 再三の督促にもかかわらず資料を返却しない学生については、教員及び各事務課責任者に延滞中の資料タイトルを除く利用情報を開示し、必要な指導を要請します。また、大学内掲示板に氏名を明記した警告を掲示します。

2. 最終学年に在籍の学生で卒業時に未返却資料および未払いの弁償金等がある場合は、延滞図書の返却と未払金全額の支払い完了後に卒業証書をお渡しすることになります。

(6) MyLibrary について

MyLibrary とは、自分の貸出状況の確認や、借りている本の貸出期間の延長、貸出中の本への予約、多摩キャンパス図書館からの本の取り寄せができるオンラインサービスです。MyLibrary には SGS ライブラリーのホームページからログインできます。MyLibrary の詳しい利用方法については、館内で配布している案内を参照してください。

(7) その他のサービス

SGS ライブラリーでは、レファレンスサービス(学修・研究に必要な情報や資料を探すための支援)や、データベースの使い方の説明、所蔵していない資料の取り寄せ、他大学図書館の利用希望の対応など、皆さんの学修・研究を様々な形で支援しているので、遠慮せずに相談してください。

(8) 館内規則と注意事項

① 館内の資料や設備は大切に使用してください。故意の破損、紛失などの場合は、新規購入や交換にかかった経費を負担していただきます。
② 館内でのおしゃべりは慎んでください。グループ・ディスカッションのための利用も控えてください。一人ひとりの利用者が集中して勉強を行える環境を尊重しましょう。
③ 館内に私物を置いたまま席をはずさないでください。館内での私物の紛失や事故に関して、図書館職員は責任を負いません。
④ 館内ではスマートフォンでの通話は厳禁です。必ず電源を切るかマナーモードに切り替えてください。また館内の静寂を保つため、ヘッドフォンからの音漏れにも注意してください。
⑤ 館内での食事・喫煙は、衛生および安全上の理由により、禁止します。
⑥ 飲み物は、ペットボトルや水筒など蓋が閉まる容器に入ったものを認めます。資料や設備を汚さないように注意してください。

(9) SGS ライブラリーにおける個人情報取扱いについて

SGS ライブラリーでは、『多摩大学図書館における個人情報保護方針について』に基づき、ライブラリー利用者の個人情報の取扱いを以下のとおり行います。

多摩大学図書館における個人情報保護方針について

多摩大学図書館では、「多摩大学個人情報保護規程」に基づき、以下のように個人情報を取り扱います。

1.個人情報の種類

多摩大学図書館が取り扱う個人情報には以下のものがあります。

(1)利用者情報

図書館利用者の氏名、所属、連絡先(住所、電話番号・電子メールアドレス等)、生年月日、保証人、利用者 ID 等の特定の個人を識別できる情報

(2) 利用情報(記録)

図書館への入館記録、貸出・返却・予約業務において取得する情報、紹介状発行・複写サービス・レファレンスサービスの申込み及び問い合わせ内容、資料の検索や請求記録、購入希望図書申込書、図書館資料複写申込書などの情報、その他館内施設及び資料の利用申請記録等

(3) 個人情報関係資料

個人情報を一定の規則に従って整理することにより特定の個人情報を検索することができるように体系的に構成されている図書館資料

2.個人情報の利用目的

(1) 図書館サービス提供のため
(2) 図書館が行う各種行事等の案内のため
(3) 図書館の広報活動のため
(4) 未返却図書の延滞督促の掲示や連絡を行うため
(5) 図書館が提供する各種データベースの提供のため
(6) 図書館内部の落とし物に関し、落とし主や拾得者への連絡のため
(7) 図書館資料及び設備管理上必要が生じた連絡を行うため

3.個人情報の取扱いについて

(1) 個人情報の取得方法

大学内学籍情報管理システム及び他部署からの間接的な取得、利用者からの各種申請書・アンケート等からの
取得、大学に所属しない利用者の各種利用願

(2) 利用者情報の保有

利用者情報は多摩大学文書管理規程に基づき、図書館利用有効期限内に限り保有します。ただし、有効期限が
過ぎても図書貸出等債務が終了していない場合は、その債務の終了時まで保有します。

(3) 利用情報の保有

個人を特定できる利用情報は、利用者情報を保有している期間に限り保有します。

4.図書館が取り扱う個人データの第三者提供について

図書館では以下の場合を除き、図書館が取り扱う個人データを、あらかじめ本人の同意を得ないで第三者に提供することはありません。

(1) 図書館サービスを提供するにあたって必要な連絡事項を掲示・公表する場合

(2) 文献複写、図書借用や紹介状の発行など、依頼先図書館に対して、入手を希望する資料名及び氏名、所属等を通知する場合

(3) 利用者に対して返却期限を過ぎた図書の督促を再三行っても返却されない場合に、速やかな返却を要請するために、保証人に対して資料名及び氏名、所属等を通知する場合

(4) 図書館間の相互利用によって図書の貸出を受ける利用者が、返却期限を過ぎた図書の督促を再三行っても返却されない場合に、速やかな返却を要請するために、その利用者の所属機関に対して、資料名及び氏名、所属等を通知する場合

(5) その他、法令に基づく場合、人の生命、身体又は財産の保護のために必要がある場合

5.個人情報の取扱いに関するお問い合わせについて[連絡先]

個人情報について利用者本人から申し出があった場合は、本人確認の上、同情報の開示、訂正及び削除について、
合理的な範囲で速やかに対応いたしますので、下記連絡先にお問い合わせください。

多摩大学グローバルスタディーズ学部
アクティブ・ラーニングセンター(図書館)
〒252-0805 神奈川県藤沢市円行 802
Tel:0466-83-7929
E-mail:sgs-lib@gr.tama.ac.jp

4. メディア・サービス

メディア・サービスでは、情報処理室（W201、W202）の管理・運営、学内で利用する機器に関する対応及びネットワークサービスのサポート等を行っています。

学内サービスの紹介

サービス	サービスの概要
情報処理室（W201、W202）の利用	W棟2F に情報処理室が 2.室（W201、W202）あり、合計80台のデスクトップパソコン(Windows)が利用できます。 また、電子黒板についても自由に使用することができます。
機器貸出し	各種機器の貸出しを行っています。
ライセンス利用	Windows OS、Office 及びウイルス対策ソフトのインストールができます。※1 人 1 ライセンスのみ
学内ネットワーク (SSID：sgsnet)	学内のほぼ全ての場所でネットワーク（無線 LAN）のアクセスが可能です。
Google(メール含む)システム http://gmail.tama.ac.jp/	Google 社のサービス「Google Workspace」を利用した本学専用のメールシステム、Google ファイルシステム(Google ドライブ)を利用できます。メールボックス等クラウド上の容量(ストレージ)は無制限です。
多摩大学キャンパスシステム T-NEXT https://next.tama.ac.jp/uprx/	大学での様々な情報を管理するシステムです。 履修登録及び大学からのお知らせ（休講・授業の資料等）を確認できます。
VPN 接続サービス	学外から学内ネットワークへ接続することができます。
学生用　無料 印刷・スキャンシステム	クラウドオンデマンドプリントの仕組みを利用し、資料のスキャンや印刷ができます。

メディア・サービスのホームページには、本書に記載の学内サービスに関する詳細な内容（動画説明やマニュアル等を含む）を掲載しています。是非ご活用ください。

＜ホームページ QR＞

ホームページ： https://mss-sgs.tama.ac.jp/
もしくは、「SGSメディア・サービス」でご検索ください。

(1) サポートについて

- サポート窓口

  学内サービス等のトラブルが発生した場合は、メディア・サービスにお問い合わせください。

- サポート時間

  月曜日から金曜日　8:50～17:30

  - ➢ 土曜日、日曜日、講義のない国民の祝祭日及び特定日等は除きます。

- サポート内容

  - ◆ 配付パソコン全般のサポート(修理等)**※対象:2021年度以前入学生**
  - ◆ 学内パソコン一般利用に関するサポート
  - ◆ 講義で使用する機器・備品等の貸出し
  - ◆ 多摩大学各種システム利用に関する質問、申請の受付
  - ◆ 多摩大学共通パスワードの再発行
  - ◆ ライセンス利用に関する各種ソフトウェア(Office 等)のインストール
  - ➢ アプリケーションの利用方法や講義に関する質問は、内容によっては対応できない場合があります。

(2) 情報処理室(W201、W202)の利用

- 学期中の利用

  月曜日から金曜日　8:50～20:00

  土曜日　　8:50～16:30

  - ➢ W201は、電子黒板、及びホワイトボード等を自由に使用できるラーニングコモンズです。
  - ➢ 講義中は利用できません。時間割に記載がなくても、臨時に利用する場合があります。
  - ➢ 夏季・冬季休業期間中は、特定日を除いて、上記の時間帯で開室します。日曜日、講義のない国民の祝祭日及び特定日は閉室です。

- 情報処理室利用時の注意事項

  - ➢ 教室内での飲食はできませんが、蓋つきの飲み物(ペットボトル・水筒)は可とします。
  - ➢ パソコンをシャットダウンもしくは再起動すると、パソコン本体(ローカル上)に保存したファイルは削除されますので、ご注意ください。よって、必要なデータは逐次クラウド(インターネット)上等に保存してください。また、クラウド(インターネット)上での操作は記録されます。

(3) 機器貸出し

- 学生には、下記の機器を貸し出します。
  - 当日中（17：00まで）の返却が必要です。
  - 機器の貸出しを希望する場合は、メディア・サービスに学生証を持参してください。

機器	貸出し可能数
・配布パソコンの充電器	10台※対象：2021年度以前入学生
・スマートフォン用充電器	3個※貸出しできない場合は、スマートフォンを預かり充電することができます。
・ヘッドセット	20個
・延長コード	10本
・Web カメラ	6台
・USB メモリ	5個
・外付け Blu-ray(DVD)プレイヤー	2台
・ビデオカメラ、三脚	1セット

(4) ライセンス利用

- 以下のソフトウェアのインストールができます。インストールを希望する場合、メディア・サービスにパソコンを持参してください。

内容	エディション等
OS	◆ Windows 10 Pro ◆ Windows 11 Pro ➢ 1 人 1 ライセンスのみインストールが可能です。
Office	◆ Microsoft Office Professional Plus 2019 ➢ 1 人 1 ライセンスのみインストールが可能です。 ➢ Mac OS へのインストールも可能です。 ➢ 卒業後の利用も可能ですが、卒業後の再インストールは実施しません。
ウイルス対策ソフト	◆ ウィルスバスター コーポレートエディション ➢ アップデートは、学内ネットワーク接続時のみ可能です。

(5) 学内ネットワーク

- 多摩大学では、全教室及び施設（体育館以外）に無線 LAN を整備し、学内のほぼ全ての場所で、ネットワークへのアクセスが可能となっています。
- 学内で利用するノートパソコンに無線 LAN の設定を行うことで、インターネットの参照及びメールの送受信等のサービスが利用できます。なお、配付パソコン(2021年度以前入学生)は設定済みです。
- 学内ネットワーク（Wi-Fi）の設定方法については、メディア・サービスのホームページよりご確認ください。

(6) メールシステム

- 多摩大学では、Web メールアプリケーションとして、Google 社の「Gmail」を用意しています。自宅や外出先でインターネットを接続できる環境であれば、いつでもメールのチェック・送受信を行うことができます。
- 教職員からメールで連絡することがありますので、1 日 1 回は必ず確認してください。
  - 一部 OS 及びブラウザの種類・バージョンに制限があります。
  - ブラウザ使用の際は、Google Chrome の使用を推奨します。

(7) ファイルシステム（Google ドライブ）

- ファイルシステムは、ネットワーク上にデータを保存するシステムです。Google 社のクラウドストレージ「Google ドライブ」を利用した本学専用のネットワーク上にデータを保存できます。
- ストレージサービスの容量は無制限です。
  - ブラウザは、Google Chrome の使用を推奨します。

(8) 多摩大学キャンパスシステム T-NEXT

- T-NEXT とは、大学の様々な情報を管理するシステムです。履修登録及び大学からのお知らせ（休講・授業の資料等）を確認できます。
- 重要なお知らせの掲示がありますので、1 日 1 回は必ず確認してください。自宅や外出先でインターネットを接続できる環境であれば、いつでも T-NEXT を利用できます。

(9) VPN 接続サービス

- VPN 接続サービスを利用すると、学外から学内ネットワークへ接続することができ、学内ネットワークからしか接続できないサイト(図書館システム等)の利用が可能となります。
- VPN 接続の設定方法は、メディア・サービスのホームページよりご確認ください。
  なお、配付パソコン(2021年度以前入学生)は設定済みです。

(10)学生用 無料 スキャン・印刷システム

- クラウドオンデマンドプリントの仕組みを利用し、パソコンやスマートフォンからクラウドサーバーにアップロードしたファイルを、学内に設置しているプリンターで印刷することができます。
- Mac OS のパソコンからも印刷できます。
- 印刷する場合は、パソコン(情報処理室のパソコンや配付パソコン等)で、印刷用のユーザーID とパスワードをクラウドサーバーに入力する必要があります。
- スマートフォンからも、専用のアプリケーションをインストールすることで、印刷が可能です。
  - 私的な印刷は厳禁です。学修上、最低限必要な枚数を印刷してください。
  - プリンター用紙は、逐次補充していますが、用紙不足の際はメディア・サービスまでご連絡願います。
  - コピー機は有料となります。

設置場所	スペック
アゴラ	白黒印刷、スキャン
カフェテリア	カラー印刷
図書館	カラー印刷、コピー(※コピーは有料)
研究棟2階学生ラウンジ	白黒印刷
W 棟2階階段廊下前	白黒印刷

(11)2022 年度以降入学生の皆さんへ

- 2022年度入学生の皆さんより、配布パソコンを廃止し、大学での学修に必要な下記のスペックを満たすパソコンの BYOD(Bring Your Own Device)化(私的デバイスの活用)を進めています。

区分	スペック
形状	・ノート型かつハードウェアキーボードあり
ディスプレイ	・13インチ以上、持ち運び可能
OS	・Windows を推奨
CPU	・Intel Core i5相当以上
メモリ	・8GB 以上
ストレージ	・SSD256GB 以上
バッテリー	・目安駆動時間:8時間以上
その他	・USB ポートあり、Web カメラ搭載、イヤホンマイク対応 ・外部出力:HDMI 対応

- BYOD 化の目的

  BYOD 化の目的は、学生の皆さんが個々に合ったデバイスを学内外で使用することで、学修効果の向上を図ることです。また、パソコンをキャンパスに必携することとします。

  多摩大学では、学内 ICT(情報通信技術)環境の整備を計画的に実施すると同時に、ICT(情報通信技術)に関するサービスの一層の充実を図り、学生の皆さんの学修を支援します。

  - 購入されたパソコンのハード面での故障、不具合(画面が割れている、充電ができない等)については、大学にて対応することはできません。保証内容を含め、ご自身にてご対応願います。
  - ソフト面での不具合(パソコンの起動が遅い、アプリが起動しない等)及び学内サービスに関しては、メディア・サービスまでお気軽にご相談ください。

5. キャリア支援課

キャリア支援課では、学生の皆さんと共に卒業後の進路について考え、就職についてのアドバイスやサポートをおこないます。

(1) 場所

西棟2階にあります。

(2) サービス

キャリア支援課の主なサービスは、下記のとおりです。

- 学生へのキャリアカウンセリング、進路指導
- 雇用状況、就職マーケットについての調査
- キャリア支援講座など就職支援講座の企画、実施、運営
- 求人先の開拓
- 国内インターンシップの企画、実施
- 学内合同企業説明会、業界セミナーの企画、運営

なお、サポート内容の詳細につきましては、各学期の最初のガイダンスにて説明します。

6. 国際交流センター事務課

国際交流センター事務課は、多摩大学の教育理念である「国際性」を更に深化させ、「グローバル社会の一員として積極的な役割を果たす人材を育成する」という教育目標を達成する為、「学内の国際化」、「学生の海外留学の促進」、「湘南地域の国際化への貢献」を主とした業務を行っています。

(1)留学

グローバルスタディーズ学部では、学生の皆さんが留学を通じて段階的な成長が臨めるよう、多様なプログラムを提供しています。留学プログラムに応じて説明会がありますので、出席するようにして下さい。
※ 学費未納の場合、留学プログラムの参加が不可となります。

①海外研修

世界経済を牽引しているアジアで特に発展が目覚ましい地域を中心に、夏季・春季休業期間中に実施する１週間程度のプログラムです。このプログラムには引率教員が同行しますので初めて海外に行く学生にもお薦めです。

≪海外研修プログラム実績例≫

●高雄／台北研修（台湾）●昆明／上海研修（中国）
●シンガポール研修（シンガポール）●ハノイ研修（ベトナム）
●グアム研修（グアム）●済州平和フォーラム研修（韓国）など

②短期留学

様々な地域での１ヶ月前後のプログラムです。申し込む際、語学等の条件が必要な場合もありますので詳細は国際交流センター事務課まで相談して下さい。

≪短期留学実績例≫

●カリフォルニア大学ロサンゼルス校（アメリカ）●ハワイ大学（アメリカ）
●ビクトリア大学（カナダ）●アルゴマ大学（カナダ）
●ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン（イギリス）●マンチェスター大学（イギリス）
●クライストチャーチ工科大学（ニュージーランド）●ロイヤルメルボルン工科大学（オーストラリア）
●クィーンズランド大学（オーストラリア）●グリフィス大学（オーストラリア）

③長期留学

長期留学は３ヶ月以上のプログラムで、大学が提携している海外の大学で学ぶ交換留学と、その他の一般留学に分かれます。お問い合わせ下さい。

交換留学：留学先の授業料は免除されます(一部例外あり)が、多摩大学の授業料は掛かります。
一般留学：留学先、多摩大学両方の授業料が掛かります。
※ 渡航費、滞在費、海外旅行保険代等は、別途各自負担になります。

≪交換留学実績例≫

●ナンヤンポリテクニック（シンガポール）●雲南民族大学（中国）●マカオ大学（中国）
●義守大学（台湾）●真理大学（台湾）●泰日工業大学（タイ）

≪一般留学実績例≫

●ビクトリア大学（オーストラリア）●クィーンズランド大学（オーストラリア）
●クライストチャーチ工科大学（ニュージーランド）●ビクトリア大学（カナダ）
●ブリティッシュ・コロンビア大学（カナダ）●カリフォルニア大学ロサンゼルス校（アメリカ）
●サンディエゴ州立大学（アメリカ）など

(2)経済的支援

大学独自の給付型奨学金や補助金が充実しています。

①海外留学奨学金

奨学金対象者になるには､留学計画書の提出と教員との面接に加えてTOEICのスコアとGPAの条件があります。但し、学費未納者は対象外とします。

②補助金

グローバルスタディーズ学部後援会より、補助金が給付されます。金額に関してはプログラムにより異なります。但し、学費未納者は対象外とします。

(3)国際交流イベント

留学生と交流できるイベントの他、一緒に伝統芸能を観に行くなどのイベントも企画しています。異文化交流ができる貴重な機会ですので、学生の皆さんは是非参加して下さい。

(4)国際交流スペース

国際交流スペースは、在学生と外国人留学生が外国語によるコミュニケーションを通じて交流を図るスペースです。留学や異文化に関心のある学生の皆さんは、ぜひ活用して下さい。
また、国際交流スペースでイベントを開催する際は、国際交流センター事務課に申請して下さい。
利用時間：平日９：００～１７：３０

(5)肖像権の取り扱いについて

国際交流広報活動をより充実させるために、学生の活動風景等を大学のホームページや広報物等にて紹介することが効果的であると考えております。 つきましては、学生の皆さんの肖像、氏名を掲載させて頂きます。掲載に同意できない場合は、国際交流センター事務課まで申し出て下さい。

7. 事業推進室

事業推進室は、藤沢市および湘南地域での地域活動やイベント、また、市区町村・企業・地域住民等との共同プロジェクトやプログラムに、学生のみなさんが参画することをサポートする部署です。

(1) 地域活動への参加のサポート

藤沢市や湘南地域には、みなさんが参加できるイベントや地域貢献活動がたくさんあります。また、多摩大学では、藤沢市、藤沢市観光協会を始めとする市区町村や産業界、地域住民等との共同イベント、プロジェクト等を行っており、希望者は企画段階から参画できます。みなさんが地域活動へ参加しやすいよう、活動の紹介等のサポートをします。

(2) 地域における国際交流活動のサポート

藤沢市や湘南地域では、国際交流イベントも盛んに行われています。みなさんが参加するチャンスもありますので、参加希望者には支援をします。
また、留学生のみなさんが地域住民との交流や地域イベントに参加する際には、国際交流センター事務課と協力して支援します。

(3) I Love 湘南 Project

2018 年 6 月、藤沢市、藤沢市観光協会等との地域連携活動に関心のある学生が教職員と共に地域活動に積極的に取り組んでいくための仕組みとして、「I Love 湘南 Project」が発足しました。現在、このプロジェクトへの学生のみなさんの登録者数は 400 名を超えています。活動の場も寒川町、茅ケ崎市、鎌倉市も含めた地域に拡大しています。
登録者には、「I Love 湘南 Project」の様々な活動についての日程や内容、参加方法のご案内を随時行っています。

©藤沢市

8. 学費等納入について

本学に在籍中は、履修登録の有無にかかわらず、学費その他の納付金を納入期限までに納めなければなりません。納入されない場合は、学則により除籍（※）されることもありますので、注意してください。学費等の納入額・期限は次の表のとおりです。
本学指定銀行本・支店間窓口振込の場合、送付の学費等振込依頼書をご利用いただければ送金手数料は無料となります。ATM・インターネットバンキング利用の際は学籍番号に続けて学生カナ氏名を入力してお振込みください（手数料は有料となります）。

（除籍）
第 28 条　次の各号の一に該当する者は、教授会の議を経て、学長が除籍する。
（４）学費の納付を怠り、催促してもなお納付しない者

〔学費その他納入額〕
・2018年度以前入学者

種類	春学期(秋学期)	秋学期(春学期)	納付年次
入学金	200,000 円		入学初年度のみ
授業料	450,000 円	450,000 円	1～4 年次
施設費	115,000 円	115,000 円	1～4 年次
施設拡充費	50,000 円		入学初年度のみ
図書教材費	30,000 円		1～4 年次
後援会年会費	20,000 円		1～4 年次
同窓会終身会費	20,000 円		入学初年度のみ
合計	885,000 円	565,000 円	

※カッコは秋季入学生

・2019年度以降入学者

種類	春学期(秋学期)	秋学期(春学期)	納付年次
入学金	200,000 円		入学初年度のみ
授業料	450,000 円	450,000 円	1～4 年次
施設費	120,000 円	120,000 円	1～4 年次
施設拡充費	50,000 円		入学初年度のみ
図書教材費	40,000 円		1～4 年次
後援会年会費	20,000 円		1～4 年次
同窓会終身会費	20,000 円		入学初年度のみ
合計	900,000 円	570,000 円	

※カッコは秋季入学生

〔学費等納入期限〕

春学期	4 月末日
秋学期	10 月末日

※新入生(編入生)は入学手続き時

〔学費等振込依頼書の送付について〕

春学期	4 月上旬に保証人に送付します
秋学期	9 月下旬に保証人に送付します

第 IV 部：規程

多摩大学学則（抜粋）

第１章　総則

（目的）
第１条　多摩大学（以下「本学」という。）は、永年に及ぶ産業教育における経験を基盤とし、国際化・情報化時代に即応して、学生に高度な外国語能力と世界に通用する教養・最新の経営知識及び的確な情報処理能力を修得せしめ、国際的ビジネスの場で活躍できる人材の育成を目指すとともに、わが国の産業社会の健全たる発展に寄与する指導的人材を育成することを目的とする。
（自己点検及び評価）
第２条　本学は、その教育研究水準の向上を図り、大学の目的及び社会的使命を達成するため、大学における教育研究活動等の状況について自ら点検及び評価を行う。
２　自己点検及び評価について必要な事項は、別に規程で定める。
（個人情報保護）
第３条　本学は、教育・研究活動等の適正かつ円滑な運営を図り、個人情報の有用性に配慮するため、個人の権利及び利益を保護する。
２　個人情報保護について必要な事項は、別に規程で定める。
（ハラスメントの防止）
第４条　本学は、ハラスメントの防止及びハラスメントに起因する問題が生じた場合に、適切な対応を行うための措置を講じ、学生、教育職員及び事務職員等の快適な環境を作り、教育、研究及び就業の機会と権利を保障する。
２　ハラスメントの防止について必要な事項は、別に規程で定める。

第３章　修業年限、在学年限、学年、学期及び休業日

（修業年限）
第 10 条　本学の修業年限は、４年とする。ただし、第３９条の規定により卒業を認められた者については、この限りでない。
（在学年限）
第 11 条　学生は、８年を超えて在学することができない。
２　編入学、転入学及び再入学の許可を得た者の在学年限は、第２０条第２項に定める。
（学年）
第 12 条　学年は、４月１日に始まり、翌年３月３１日に終る。ただし、秋学期入学生については、１０月１日に始まり、翌年９月３０日に終る。
（学期）
第 13 条　学年を次の２学期に分ける。
（１）春学期　４月１日から　９月３０日まで
（２）秋学期１０月１日から翌年３月３１日まで
（休業日）
第 14 条　授業を行わない日（以下「休業日」という。）は、次のとおりとする。ただし、学長が必要と認めるときは、休業日を変更又は臨時に休業日を定めることができる。
（１）日曜日

（２）国民の祝日に関する法律（昭和２３年法律第１７８号）に規定する休日
（３）本学の開学記念日　１０月２０日
（４）メモリアルデー　　１月１６日
（５）夏季休業　　８月１０日から　　９月２０日まで
（６）冬季休業　　１２月２５日から　翌年１月５日まで
（７）春季休業　　翌年２月１０日から　　３月３１日まで
２　休業日の変更又は臨時の休業日については、その都度公示する。

第４章　学籍

（入学の時期）
第 15 条　入学の時期は、学年の始めとする。ただし、再入学及び転入学については、学期の始めとすることができる。
（入学資格）
第 16 条　本学に入学することができる者は、次の各号の一に該当する者とする。
（１）高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者
（２）通常の課程による１２年の学校教育を修了した者又は通常の課程以外の課程により、これに相当する学校教育を修了した者
（３）外国において、学校教育における１２年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で、文部科学大臣の指定した者
（４）文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
（５）専修学校の高等課程（修業年限が３年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
（６）文部科学大臣の指定した者
（７）高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。）
（８）学校教育法第９０条第２項の規定により大学に入学した者であって、本学において、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者
（９）本学において、個別の入学資格審査により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、１８歳に達した者
（入学の出願）
第 17 条　本学に入学を志願する者は、入学願書に所定の入学検定料及び別に定める書類を添えて願い出なければならない。
（入学者の選考）
第 18 条　前条の入学志願者に対しては、試験を行いその成績等により選考する。
（入学手続き及び入学許可）
第 19 条　入学者の選考に合格した者は、所定の期日までに入学誓約書その他所定の書類を提出し、第４２条に規定する、所定の学費を納付しなければならない。
２　学長は、正当な事由なくして期日までに前項の手続きを完了しない者の合格を取消すことができる。
３　学長は、第１項の入学手続きを完了した者に入学式において入学を許可し、学生証を交付する。
（編入学、転入学及び再入学）
第 20 条　次の各号一に該当し、本学に入学を志願する者は次のとおりとする。

（１）大学を卒業した者又は退学した者
（２）短期大学又は高等専門学校を卒業した者
（３）専修学校専門課程を卒業した者
（４）他の大学に在学中の者で、現に在学する大学の学長による転学の承認を得た者
また、学長は次の各号一において入学を許可することができる。
（１）編入学については、編入学定員内において、選考の上、入学を許可することがでる。
（２）転入学及び再入学については、定員に欠員のある場合に限り、選考の上、相当年次に入学を許可することができる。
２　前項の規定により入学を許可された者の既に履修した授業科目及び単位数の取扱い並びに在学すべき年数については、教授会の議を経て学長が決定する。
３　前３条の各規定は、第１項の入学に準用する。
（休学）
第 21 条　疾病その他特別の事由により修学することができない者は、1 学期又は１年間（２学期）を区分として、様式第１に規定する休学願を提出し学長の許可を得て休学することができる。
２　学長は、疾病その他特別の事由により修学することが適当でないと認めるときに、教授会の議を経て、休学を命ずることができる。
（休学の期間）
第 22 条　休学期間は、１年以内とする。ただし、特別の事由があるときは、１年を限度として休学期間の延長を認めることができる。
２　休学期間は、通算して４年を超えることができない。
３　休学期間は、第１０条の修業年限及び第１１条の在学年限に算入することができない。
（復学）
第 23 条　休学期間中にその事由が消滅したときは、様式第２に規定する復学願を提出し学長の許可を得て復学することができる。ただし、復学の時期は、学期の始めとする。
（転学）
第 24 条　他の大学又は短期大学に入学又は転入学を志願しようとする者は、様式第３に規定する転学願を提出し学長の許可を得なければならない。
（転学部）
第 25 条　転学部を願い出る者は、選考し各教授会の議を経て、学長がこれを許可する。
２　転学部について必要な事項は、別に規程で定める。
（留学）
第 26 条　外国の大学又は短期大学で修学することを志願する者は、様式第４に規定する留学願を提出し学長の許可を得なければならない。
２　第３６条の規定は、前項の留学の場合に準用する。
３　第１項の許可を得て留学した期間は、第１１条に定める在学年限に含めることができる。
（願い出による退学）
第 27 条　病気その他の事由により退学しようとする者は、様式第５に規定する退学願を提出し学長の許可を得なければならない。
（除籍）
第 28 条　次の各号の一に該当する者は、教授会の議を経て、学長が除籍する。
（１）第１１条に定める在学年限を超えた者
（２）第２２条第２項に定める休学期間を超えてなお修学できない者
（３）長期間にわたり行方不明の者
（４）学費の納付を怠り、催促してもなお納付しない者

第５章　教育課程及び履修方法等

（授業科目）

第 29 条　授業科目は、基礎教育科目及び専門教育科目とする。

２　授業科目の種類及び単位数等は、別表第１及び第５のとおりとする。

（単位の計算方法）

第 30 条　各授業科目の単位は、１単位の授業科目を４５時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、おおむね１５時間から４５時間までの範囲の授業をもって１単位として単位数を計算する。

２　各授業科目の授業は、１５週にわたる期間を単位として行う。ただし、学長が本学で教育上特別の必要があると認められるときは、教授会の議を経て、これらの期間より短い特定の期間において授業を行うことができる。

（履修方法）

第 31 条　学生は、所属する学部及び学科の所定の授業科目を履修しなければならない。

２　学生は、当該年度又は当該学期に履修する授業科目を選択し、指定期間内に所定の方法により履修科目を届出なければならない。

３　履修について必要な事項は、別に規程で定める。

（単位修得等の認定）

第 32 条　単位修得の認定その他授業科目履修の認定は、試験その他の審査により行う。

２　試験及び審査の方法について必要な事項は、別に規程で定める。

（第１年次に入学した者の既修得単位の認定）

第 33 条　本学の第１年次に入学した者が大学又は短期大学を卒業又は中途退学している場合、本学で教育上有益と認めるときは、教授会の議を経て、学長が既に修得した単位から、一般教育科目、外国語科目、保健体育科目について、合計３０単位を超えない範囲において、本学で修得したものとして認定することができる。

（成績の評価）

第 34 条　授業科目の成績は、一般講義科目は、A+、A、B、C、Fの５段階、ゼミナール科目はP、Fの２段階の評語をもって表示する。

２　表示した成績は、Fを不合格としその他を合格とする。

３　第３３条、第３５条及び第３６条により認定された授業科目の成績は、認定（N）の評語をもって表示する。

４　成績評価について必要な事項は、別に規程で定める。

（他学部科目の履修）

第 35 条　学生は、他の学部に開設されている授業科目のうち定められた科目を、２４単位を超えない範囲において履修することができる。ただし、履修を希望する者は、あらかじめ学部長の許可を得なければならない。

２　前項の履修により修得した単位は、卒業に必要な修得単位数に算入することができる。

（他の大学の授業科目の履修）

第 36 条　学生は、他の大学、短期大学又は外国の大学との協議に基づき、授業科目を履修又は外国の大学に留学することができる。

２　前項の規定により履修した授業科目について修得した単位は、教授会の議を経て、学長が６０単位を限度として認定することができる。

３　本学を休学時に他の大学、短期大学又は外国の大学で修得した単位の認定については、別表第２に掲げる単位認定料を徴収する。

（教育職員免許状取得のための課程）
第 37 条　本学に教育職員免許状取得のための課程を置く。
２　本学において資格の取得できる教育職員免許状の種類及び免許教科は、別表第３のとおりとする。
３　教育職員免許状を得ようとする者は、別表第４に定める「教科に関する基礎及び専門科目」及び別表第５に定める「教職に関する科目」を履修しなければならない。
４　別表第５に定める「教職に関する科目」は、卒業に必要な単位数に算入することができない。

第６章　進級、卒業及び学位

（進級）
第 38 条　別表第１に定める所定の要件を満たした者は、教授会の議を経て、学長が進級を認める。
（卒業）
第 39 条　本学に４年以上在学し、別表第１に定める所定の単位数以上を修得した者は、教授会の議を経て、学長が卒業を認める。
２　当該学部の学生として３年以上在学した者が、別表第１に定める所定の単位数以上を優秀な成績で修得したと認めるとき、前項の規定にかかわらず教授会の議を経て、学長が早期卒業として認めることができる。
３　早期卒業について必要な事項は、別に規程で定める。
（学位）
第 40 条　学長は、卒業を認めた者に次の学位を授与し、「卒業証書・学位記」を交付する。
（１）経営情報学部　学士（経営学）
（２）グローバルスタディーズ学部　学士（グローバルスタディーズ学）

第７章　賞罰

（表彰）
第 41 条　人物及び学業の優秀な者、また本学の学生として表彰に価する功績があった場合は、教授会の議を経て、学長が表彰する。
（懲戒）
第 42 条　本学則若しくは本学で定める諸規則に違反した者又はその他学生としての本分に反する行為があった場合は、教授会の議を経て、学長が懲戒する。
２　前項の懲戒の種類は、退学、停学及び訓告とする。
３　懲戒について必要な事項は、別に規程で定める。ただし、定めた規程は、本学則と同様の取扱で公開する。

第８章　学費

（学費の種類及び額）
第 43 条　学生は、学年毎に授業料その他所定の学費を納付しなければならない。
２　学費の種類及びその額は、別表第２のとおりとする。
（学費の納付）
第 44 条　授業料及び施設費（維持費）は、年額の二分の一ずつを次の２学期に分けて納付しなければならない。
（１）春学期（４月から　　９月まで）：納期　４月中
（２）秋学期（１０月から翌年３月まで）：納期１０月中

２　図書教材費は、学年始めの月に一括して納付しなければならない。
（復学等の場合の学費）
第 45 条　春学期又は秋学期に復学又は入学した者は、当該学期分の授業料及び施設費（維持費）並びに当該学年度分の図書教材費が未納の場合は、これ等を含め一括して復学又は入学した月に納付しなければならない。
（退学等の場合の学費）
第 46 条　春学期又は秋学期の中途で退学又は除籍された者の当該学期分の学費は、徴収する。
２　停学期間中の学費は、徴収する。
（休学の場合の学費）
第 47 条　休学を許可された者又は命ぜられた者は、休学期間が１学期以上にわたる場合においてはその学期分の授業料及び施設費（維持費）は徴収しない。
２　休学を許可された者又は命ぜられた者は、休学在籍料として別表第２に定める額を納付しなければならない。ただし、休学期間が１学期以下の場合においては、休学在籍料は年額の半分を納付するものとする。
（研究生等の学費）
第 48 条　研究生、聴講生及び特別聴講学生の入学検定料、入学金及び授業料等の学費については、別に定める。
（既納の学費）
第 49 条　既納の入学検定料、入学金及び授業料等の学費は、返還しない。ただし、入学式までに入学を辞退した場合には、既納した入学手続納付金のうち、入学金を除く金額を返還する。

第９章　奨学

（奨学）
第 50 条　能力があるにもかかわらず経済的理由によって就学が困難な者及び特に学力が優れている者に対して、奨学の方法を講ずることができる。
２　奨学の方法は、奨学金の給付又は貸与とする。
３　奨学について必要な事項は、別に規程で定める。

第 10 章　研究生、特別聴講学生、科目等履修生、聴講生及び外国人留学生

（研究生）
第 51 条　本学の特定の専門事項について、研究することを志願する者がいるときは、教育研究に支障のない場合に限り、選考し学長が研究生として入学を許可することができる。
２　研究生について必要な事項は、別に規程で定める。
（特別聴講学生）
第 52 条　他の大学又は外国の大学の学生で、協議に基づき本学の特定の授業科目を履修することを志願する者がいるときは、学長が特別聴講学生として入学を許可することができる。
２　特別聴講学生について必要な事項は、別に規程で定める。
（科目等履修生）
第 53 条　本学の特定の授業科目を履修することを志願する者がいるときは、教育研究に支障のない場合に限り、選考し学長が科目等履修生として入学を許可することができる。
２　科目等履修生について必要な事項は、別に規程で定める。
（聴講生）
第 54 条　本学の特定の授業科目を聴講することを志願する者がいるときは、教育研究に支

障のない場合に限り、選考し学長が聴講生として入学を許可することができる。
２　聴講生について必要な事項は、別に規程で定める。
（外国人留学生）
第 55 条　外国人であって、外国において通常の過程による１２年の学校教育課程を修了した者又はこれと同等以上の資格ある者が、本学に入学を志願するときは、日本政府、日本政府の承認した外国政府若しくは日本駐在の外国公館の発行した身分証明書又はこれに準ずる証明書のある者に限り、選考し学長が入学を許可することができる。
２　外国人留学生について必要な事項は、別に規程で定める。

第 11 章　公開講座

（公開講座）
第 56 条　地域社会の発展に寄与し、社会人の教養を高め、文化の向上に資するため、本学に公開講座を開設することができる。
２　公開講座について必要な事項は、別に規程で定める。

第 12 章　寄付講座

（寄付講座）
第 57 条　学外の機関等から授業科目の運営に必要な経費の寄付を受け、本学の教育研究に資するため、本学に寄付講座を開設することができる。
２　寄付講座について必要な事項は、別に規程で定める。

第 13 章　履修証明プログラム

（履修証明プログラム）
第 58 条　社会人等における多様な学びの需要に応じた様々な分野の学習機会を提供するため、本学に履修証明プログラムを設置することができる。
２　履修証明プログラムについて必要な事項は、別に規程で定める。

第 14 章　施設及び設備

（厚生補導施設）
第 59 条　厚生補導のための施設として、学生寄宿舎を設けることができる。寄宿舎に関する細則は別にこれを定める。

第 15 章　雑則

（学則の改正）
第 60 条　学則の改正は、教授会の議を経て理事会が行う。
附則
１　この学則は、令和２年４月１日から施行する。
附則
１　この学則は、令和３年４月１日から施行する。
附則
１　この学則は、令和４年４月１日から施行する。
附則
１　この学則は、令和５年４月１日から施行する。

多摩大学成績評価規程

（目的）
第１条　この規程は、多摩大学学則第３４条に基づき、成績評価について必要な事項を定めることを目的とする。
（ＧＰＡ）
第２条　成績評価の評定平均値（GPA）は、次の方法で算出する。
｛（４．０×A＋，Ｐの修得単位数）＋（３．０×A の修得単位数）＋（２．０×B の修得単位数）＋（１．０×C の修得単位数）｝÷ 総履修登録単位数（「F」の単位数を含む）
（卒業）
第３条　卒業判定にＧＰＡを使用する場合、多摩大学早期卒業規程による。
（面談の実施）
第４条　成績不振者の基準は、各学期の修得単位数が４単位未満の者とし、成績不振者に対する履修指導面談、就学の意思確認面談は、各年度に１回以上行い、３月３１日までに実施する。
（退学勧告）
第５条　５年を越えて在籍し、ＧＰＡが１．０以下、かつ修得単位数が６０単位未満の学生については、就学の意思確認面談を実施し、必要に応じて退学勧告を行うものとする。
（規程の改廃）
第６条　この規程の改廃は、教授会の議を経て、学長が行う。
附　則
この規程は、平成２６年７月１日から施行する。
附　則
この規程は、平成２７年４月１日から施行する。

多摩大学通学に関する規程

（目的）
第１条　この規程は、多摩大学学生規則第２２条の規定に基づき、次の各号のいずれかに該当する通学手段について必要な事項を定めることを目的とする。
（１）徒歩又は自転車
（２）電車、バス等公共交通機関及び多摩大学（以下「大学」という。）所定のスクールバス
（３）大学から許可を得た自動二輪車
（禁止）
第２条　多摩大学では、次の各号のいずれかに該当する通学手段を禁止する。
（１）自動車（普通自動者以外の大型車両、特殊車両を含む）及び軽自動車（小型特殊等軽車両を含む）
（２）大学に未登録の二輪車（自転車を除く）
（３）その他大学が相応しくないと判断した手段
（対象）
第３条　多摩大学に在籍する全ての学生を対象とする。
２　次の各号に定める場合は対象外とする。
（１）特別な事情があり、大学から日常的に自動車通学を許可された場合
（２）学園祭等大学において行事を開催する際、大学が認めたその主催者、団体の許可を取得した場合
（３）大学事務局の許可を取得した場合
（違法・迷惑駐車）
第４条　上記規定に係らず、大学近隣地域の公共施設、道路、公有地、私有地等への違法及び迷惑駐車を禁止する。
（違反者への罰則）
第５条　この規程の第２条または第４条に違反した者は、多摩大学学則第４１条の規定に基づき学長が懲戒する。
（管理責任者）
第６条　管理責任者は事務局長とし学生課が庶務を担当する。
（規程の改廃）
第７条　この規程の改廃は、学生委員会及び教授会の議を経て、学長が行う。
附則
この規程は、平成２０年４月１日から施行する。
附則
この規程は、平成２１年４月１日から施行する。
附則
この規程は、平成２３年４月１日から施行する。
附則
この規程は、平成２４年１２月１日から施行する。

多摩大学学生懲戒規程

（目的）
第１条　この規程は、多摩大学学則（以下「学則」という。）第４１条の規定に基づき学生の懲戒について必要な事項を定めることを目的とする。
（懲戒の定義）
第２条　懲戒対象者は、学則に規定する学部学生、研究生、特別聴講生、科目等履修生、聴講生及び外国人留学生（以下「学生」という。）とする。
２　懲戒は、本学で学生の本分を全うさせるために、学校教育法及び学校教育法施行規則に基づき行う。
３　懲戒は、総合的に検討し教育的見地に基づき行う。
４　懲戒により学生に科す不利益は、懲戒目的を達成するため必要最小限とする。
（懲戒の種類）
第３条　学則第４１条第２項で規定した懲戒の種類は、次の各号の一に該当する内容とする。
（１）退学は、学生としての身分を奪う事。
（２）停学は、無期又は有期としその期間の登校を禁止する事。
　ア　停学の期間は、在学年限に含め修業年限に含めない。
　イ　停学の期間が１ヶ月以下でかつ特別の事情がある場合は、学生委員会で審議し第７条に規定する学長の決定において修業年限に含めることができる。
　ウ　有期停学は６ヶ月以下とする。
（３）訓告は、口頭及び文書により厳重な注意を行い、期限を定めて反省文の提出をさせる事。
（懲戒の基準）
第４条　前条に定める懲戒の基準は、次の各号の一に該当する内容とする。
（１）退学
　ア　本学及び社会秩序を乱し、本学の教育研究活動を妨げる行為を行った場合で特に悪質と判断した場合
　イ　学内又は学外において重大な非違行為を行った場合で特に悪質と判断した場合
　ウ　本学の規則等又は命令に違反する行為を行った場合で特に悪質と判断した場合
　エ　本学が実施する試験等において、不正行為を行った場合で特に悪質と判断した場合
　オ　その他退学を受けた者の行為を教唆若しくは幇助した場合
（２）停学
　ア　本学及び社会秩序を乱し、本学の教育研究活動を妨げる行為を行った場合
　イ　学内又は学外において悪質な非違行為を行った場合
　ウ　本学の規則等又は命令に違反する行為を行った場合で悪質と判断した場合
　エ　本学が実施する試験等において、悪質な不正行為を行った場合
　オ　その他懲戒処分をしても改善の見込みがない場合
（３）訓告
　ア　学内又は学外において非違行為を行った場合
　イ　本学の規則等又は命令に違反する行為を行った場合
　ウ　本学が実施する試験等において、不正行為を行った場合
（審議）
第５条　学部長は、学生が懲戒の対象となりうる事項があったと認められるとき、学生委員会に調査を命じる。
２　学生委員会は、事実関係の調査及び懲戒の種類の審議を行い結果を教授会へ報告する。
（調査）
第６条　学生委員会は、当該学生及び関係者等から資料の提出を求め、事情及び意見を聴くことができる。
２　学生委員会は、当該学生に弁明の機会を与える。
３　当該学生は、弁明の場において必要な証拠を提出し証人の喚問を求めることができる。また、

当該学生は、補佐人を指名し補佐を受けることができる。
４　当該学生が、弁明の場を正当な理由なく欠席したとき、弁明の権利を放棄したものとする。
５　学生委員会は、懲戒処分決定前に謹慎を命じることができる。ただし、謹慎の期間は、３ヶ月以内とする。
６　謹慎は、当該学生の行為が第４条で定める懲戒基準に該当するとき行うことができる。
７　謹慎期間は、停学期間に通算することができる。
８　謹慎期間中は、本学の教育課程の履修登録、履修、試験等の受験及び課外活動へ参加することはできない。ただし、学部長が教育指導上必要と認めた場合は、この限りではない。
９　謹慎期間中に休学又は退学を申し出た場合は、これを認めない。
（懲戒の決定及び解除）
第７条　懲戒は、教授会の議を経て、学長が行う。
２　懲戒は、様式第１に定める懲戒通知書に理由も添えて当該学生に通知する。ただし、有期停学の場合は、停学解除日も通知する。
３　無期停学の解除を行う場合は、教授会の議を経て、学長が行う。学長は、決定により停学解除を当該学生に文書で通知する。
（再審査）
第８条　懲戒を受けた学生は、事実誤認、新事実の発見又はその他正当な理由があるとき、それらを示す資料を添えて文書にし、学長に再審査の申請を行うことができる。
２　再審査の申請は、懲戒通知書の決定日から１ヶ月以内とする。
３　学長は、再審査を行うかどうか判断し教授会の議を経て決定する。
４　学長は、再審査の必要があると決定したとき、学部長に再審査を命じる。
５　学長は、再審査の必要がないと決定したとき、当該学生に文書で通知する。
６　再審査の申請を行い学長が教授会の議を経て、懲戒の決定又は解除を行うまでは、すでに決定された懲戒内容の変更はできない。
７　再審査の調査は、第６条の規定を準用する。
（停学期間中の措置）
第９条　停学期間中は、当該学生が本学の教育課程の履修登録、履修、試験等の受験、及び課外活動へ参加することはできない。ただし、学部長が教育指導上必要と認めた場合は、この限りではない。
２　停学期間中は、当該学生に対して定期的な面談及び指導を行う。
３　停学期間中に休学を申し出た場合は、これを認めない。
（退学者の再入学の禁止）
第１０条　退学の処分を受けた学生は、本学のすべての学部に再入学することができない。
２　無期停学中に退学した学生は、本学のすべての学部に原則として再入学することができない。
（事務）
第１１条　学生課は、学生の懲戒についての庶務を担当する。
（規程の公開）
第１２条　本規程は、学生の不利益等につながる重要な規程であることから、本学のホームページ、学生ハンドブック等に学則と同様の取扱で公開する。
（規程の改廃）
第１３条　この規程の改廃は、教授会の議を経て、学長が行う。
附則
この規程は、平成２５年４月１日から施行する。
附則
この規程は、平成２６年４月１日から施行する。
附則
この規程は、平成２７年４月１日から施行する。
附則
この規程は、令和２年４月１日から施行する。

懲戒の対象となる非違行為の例と懲戒処分の標準例

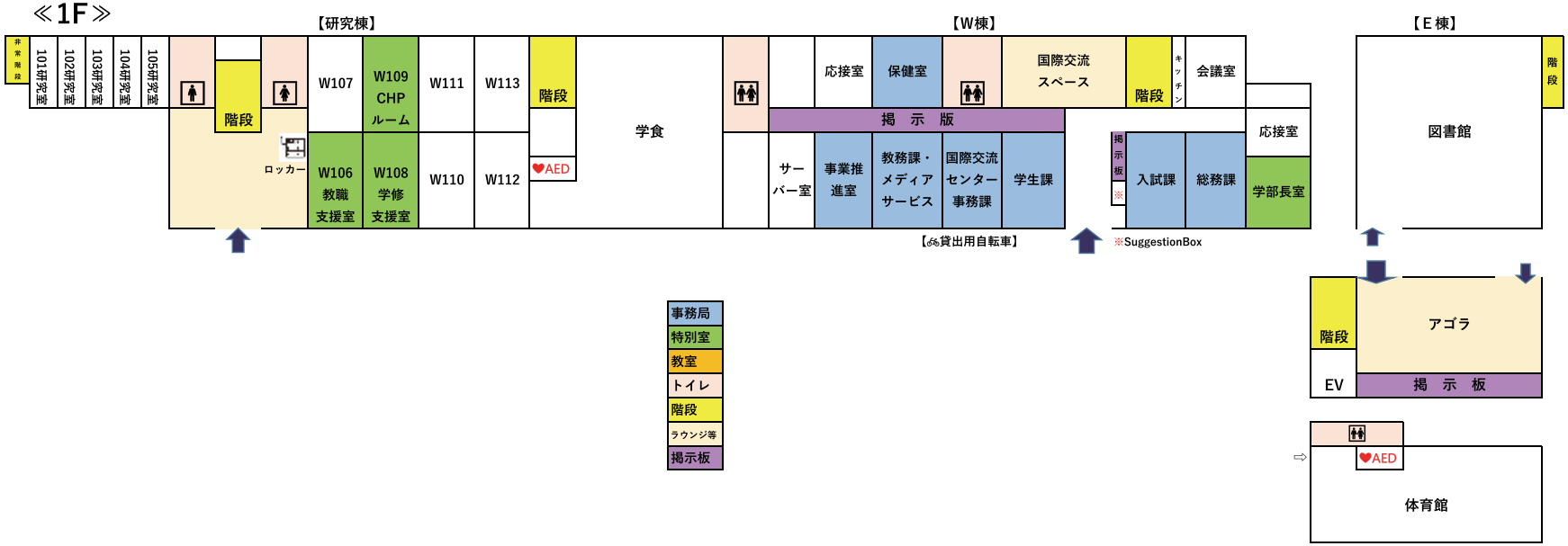
種類	行為の内容		懲戒の量定基準		
			退学	停学	訓告
犯罪行為等	殺人，強盗，放火，強制性交等の凶悪な犯罪行為又は犯罪未遂行為		○		
	麻薬，覚せい剤等の薬物犯罪（不正所持または使用）		○	○	
	暴行，傷害，万引きその他の窃盗，横領，恐喝または詐欺，賭博		○	○	○
	痴漢行為（覗き見や盗撮行為を含む），わいせつ行為（公然わいせつ，わいせつ物頒布を含む）またはストーカー行為		○	○	○
	インターネットを利用して、公序良俗に反する行為、第三者への誹謗・中傷、プライバシーの侵害、虚偽情報の発信又はソフトウェアなどの著作権及び特許権その他の知的財産権の侵害を行った場合		○	○	○
	コンピュータ又はネットワークへの不正又は不適切な使用、ネットワーク運用妨害、伝染性ソフトウェアの持込、情報漏洩、文献等の違法ダウンロード・アップロード等		○	○	○
	飲酒の強要又はアルコール飲料の一気飲み等が原因となり重大な事態に至った場合		○	○	
	未成年と知りながら強要して該当者に飲酒させた行為		○	○	○
	飲酒を拒む者に強要して当該者に飲酒させた場合		○	○	○
交通事故等	無免許運転, 飲酒運転, 暴走運転等悪質な交通法違反	死亡または重度の後遺症を負わせる人身事故を起こした場合	○		
		上記以外の人身事故を起こした場合	○	○	
	死亡または重度の後遺症を負わせる人身事故を起こした場合		○	○	○
	故意もしくは重大な過失により人身事故を伴う交通事故を起こした場合		○	○	○
	故意もしくは重大な過失により交通事故をした場合, または事故後の危険防止を怠る等の措置義務違反をした場合		○	○	○
学内の非違行為及び試験不正行為	本学の教育研究又は管理運営を著しく妨げる暴力行為		○	○	○
	本学が管理する建造物への不法侵入又はその不正使用もしくは占拠		○	○	○
	本学が管理する建造物又は器物の破壊，汚損，不正改築等		○	○	○
	本学構成員に対する暴力行為，威嚇，拘禁，拘束		○	○	○
	替え玉受験，試験問題の不正入手		○	○	
	本学が実施する試験等におけるカンニング等の不正行為			○	○
	本学が実施する試験等で監督者の注意または指示に従わなかった場合				○
	法令・条例等や本学の規則等，又は命令に違反した場合，又は学生としての本分に反した行為		○	○	○

注意：上記の「行為の内容」及び「懲戒の量定基準」は標準的な例を掲げたものであり，実際の懲戒は社会情勢等を総合的に考慮して量定を決定するものとする

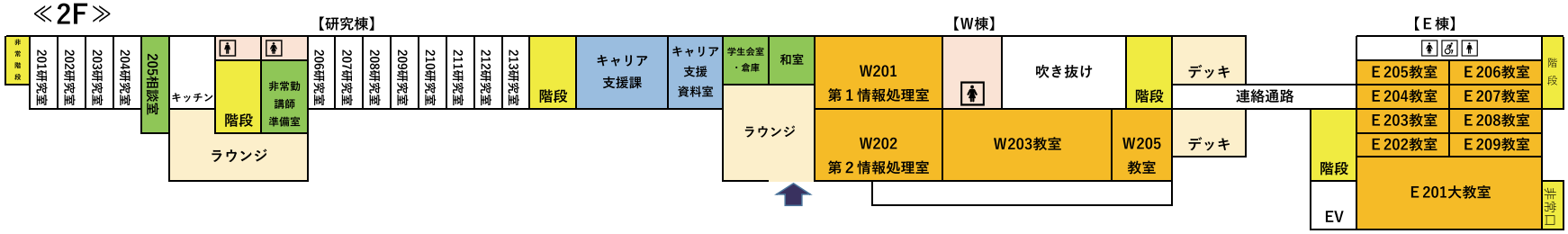
未成年喫煙をはじめ学内で頻繁に起こるトラブル事案に関しては別紙に定める

校舎図面

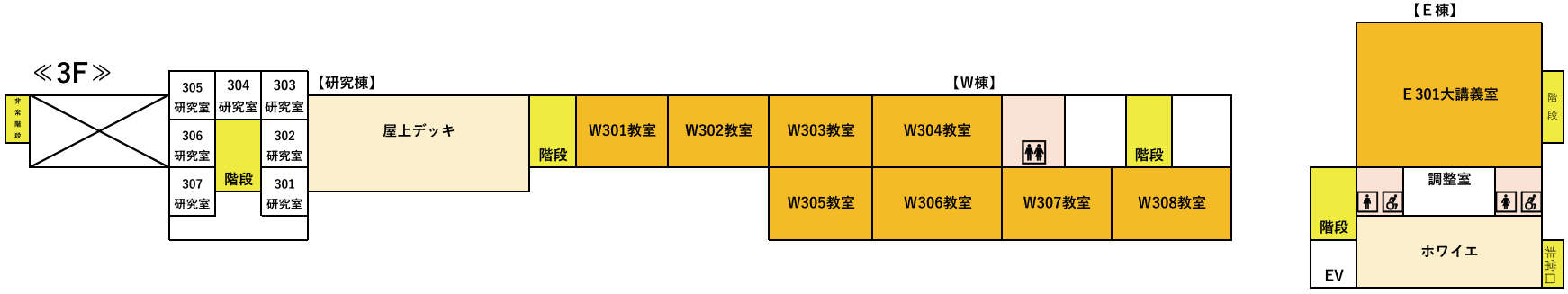
≪1F≫


【研究棟】
非常階段
101研究室
102研究室
103研究室
104研究室
105研究室
階段
ロッカー
W107
W109 CHP ルーム
W111
W113
W106 教職 支援室
W108 学修 支援室
W110
W112
階段
AED
学食
【W棟】
応接室
保健室
国際交流 スペース
階段
キッチン
会議室
掲　示　版
サー バー室
事業推 進室
教務課・ メディア サービス
国際交流 センター 事務課
学生課
掲示板
入試課
総務課
応接室
学部長室
【🚲貸出用自転車】
※SuggestionBox
【E棟】
図書館
階段
アゴラ
EV
掲　示　板
AED
体育館
事務局
特別室
教室
トイレ
階段
ラウンジ等
掲示板

≪2F≫


【研究棟】
非常階段
201研究室
202研究室
203研究室
204研究室
205相談室
キッチン
階段
非常勤 講師 準備室
ラウンジ
206研究室
207研究室
208研究室
209研究室
210研究室
211研究室
212研究室
213研究室
階段
キャリア 支援課
キャリア 支援 資料室
学生会室 ・倉庫
和室
ラウンジ
【W棟】
W201 第１情報処理室
吹き抜け
階段
デッキ
連絡通路
W202 第２情報処理室
W203教室
W205 教室
デッキ
【E棟】
E 205教室
E 206教室
E 204教室
E 207教室
E 203教室
E 208教室
E 202教室
E 209教室
階段
E 201大教室
EV
非常口

≪3F≫


非常階段
305 研究室
304 研究室
303 研究室
306 研究室
302 研究室
307 研究室
301 研究室
階段
【研究棟】
屋上デッキ
階段
W301教室
W302教室
【W棟】
W303教室
W304教室
階段
W305教室
W306教室
W307教室
W308教室
【E棟】
E 301大講義室
階段
調整室
ホワイエ
EV
非常口